

6. 両生類・爬虫類・哺乳類調査の概要

6.1 調査結果の概要

(1) 確認種数（両生類）

平成 30 年度に両生類調査が実施された 9 ダムにおいて、2 目 8 科 24 種の両生類が確認されました。「日本産野生生物目録 脊椎動物編（環境庁, 1993）」には、59 種の両生類が掲載されており、今回確認された種数は、その約 41%に相当します。

確認された両生類のうち、最も多くのダムで確認された種はニホンアマガエルであり、7 ダムで確認されました。

水辺に生息するサンショウウオ類は 9 種が確認されました。トウホクサンショウウオが東北の森吉山ダムと北陸の大川ダム、エゾサンショウウオが北海道の 3 ダム、オオサンショウウオが中国の尾原ダムで確認されました。また、東北の森吉山ダムではトウホクサンショウウオの他クロサンショウウオ、キタオウシュウサンショウウオが確認されました。

(2) 確認種数（爬虫類）

平成 30 年度に爬虫類調査が実施された 9 ダムにおいて、2 目 8 科 16 種の爬虫類が確認されました。「日本産野生生物目録 脊椎動物編（環境庁, 1993）」には、87 種の爬虫類が掲載されており、今回確認された種数は、その約 18%に相当します。

確認された爬虫類のうち、最も多くのダムで確認された種は、ニホンカナヘビ、アオダイショウであり、7 ダムで確認されました。

(3) 確認種数（哺乳類）

平成 30 年度に哺乳類調査が実施された 9 ダムにおいて、7 目 17 科 60 種の哺乳類が確認されました。「日本産野生生物目録 脊椎動物編（環境庁, 1993）」には、188 種の哺乳類が掲載されており、今回確認された種数は、その約 32%に相当します。

確認された哺乳類のうち、最も多くのダムで確認された種はジネズミ、ヒミズ、モモジロコウモリ、ノウサギ、ホンダアカネズミ、ホンドリメネズミ、ホンダタヌキ、ホンドキツネ、ホンドテン、ニホンアナグマであり、6 ダムで確認されました。

北海道のみに生息する種では、ヒメトガリネズミ、オオアシトガリネズミ、エゾユキウサギ、エゾリス、エゾシマリス、エゾモモンガ、エゾヤチネズミ、エゾアカネズミ、エゾヒメネズミ、エゾヒグマ、エゾタヌキ、キタキツネ、エゾクロテン、エゾシカが北海道の 3 ダム全てで確認されました。

(4) 重要種（両生類・爬虫類・哺乳類）

今回とりまとめを行った 9 ダムでは、両生類・爬虫類・哺乳類を合わせて 8 目 13 科 20 種の重要種^{注)}が確認されました。国の特別天然記念物に該当している種として、オオサンショウウオ、カモシカが確認されました。

(注) 重要種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を重要種としました。

- ・「文化財保護法」の特別天然記念物及び天然記念物
- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物及び緊急指定種
- ・「環境省レッドリスト 2019（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト 2019：平成 31 年 1 月 24 日報道発表資料）の掲載種

絶滅危惧ⅠA類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧（NT）：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群（LP）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

(5) 国外外来種等（両生類・爬虫類・哺乳類）

1) 国外外来種の確認状況

今回とりまとめを行った 9 ダムでは、3 目 6 科 6 種の国外外来種^{注1)}が確認されました。

確認された外来種のうち、最も多くのダムで確認された種はドブネズミ、アライグマであり、4 ダムで確認されました。

2) 特定外来生物等の確認状況

外来生物法で特定外来生物^{注2)}に指定されている種として、ヌートリア、アライグマ、ミンクの 3 種が確認されました。生態系被害防止外来種リスト^{注3)}掲載種としては、確認された外来種 6 種全てが該当しました。

(注) 国外外来種の選定基準について

- 注 1) 外来種とは、本来その生物が生息していない地域に貿易や人の移動等を介して意図的・非意図的に導入された種をいいます。外来種のうち、日本国外から持ち込まれた種を「国外外来種」といい、日本国内の種であっても本来その生物が生息していない地域に、他の場所から持ち込まれた種は「国内外来種」といいます。本資料における国外外来種とは、おおむね明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物すべてを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、選定の際に考慮していません。また、国外外来種の選定は、I-9～11 ページに掲載した文献及び I-12～13 ページに掲載した学識者による意見をもとに行っています。
- 注 2) 特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(2005 年 6 月 1 日施行)』により、輸入や飼養等が規制される生物(生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる)です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがある生物が指定されています。
- 注 3) 生態系被害防止外来種リスト(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)とは、我が国の生物多様性を保全するため、さまざまな主体の参画のもとで外来種対策の一層の進展を図ることを目的とし、環境省及び農林水産省が「生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす又はそのおそれがある生物」を生態的特性及び社会的状況も踏まえて選定した外来種リストです。リスト中には特定外来生物法で指定された生物も含まれています。また、魚類、植物、哺乳類、両生類、爬虫類、陸上昆虫類においては、国内外来種も一部選定されています。

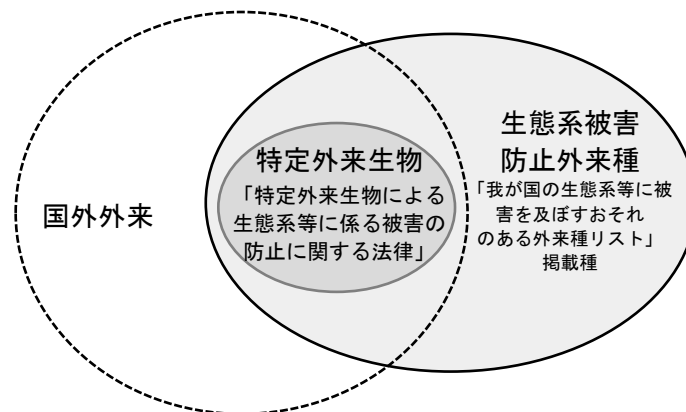


図 (参考) 国外外来種、生態系被害防止外来種、特定外来生物の関係

両生類確認種一覧（平成 30 年度）

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	学 名	北海道			東北	北陸	近畿	中国			確認 ダム 数		
					鹿ノ 子 ダ ム	十勝 ダム	札内 川 ダム	森吉 山 ダム	大川 ダム	大滝 ダム	志津 見 ダム	尾原 ダム	弥栄 ダム			
1	有尾目	サンショウウオ科	トウホクサンショウウオ	<i>Hynobius lichenatus</i>				●	●					2		
2			クロサンショウウオ	<i>Hynobius nigrescens</i>				●						1		
3			エノサンショウウオ	<i>Hynobius retardatus</i>	●	●	●							3		
4			フチサンショウウオ	<i>Hynobius naevius</i>							●		●	2		
5			コガタフチサンショウウオ	<i>Hynobius steineri</i>						●				1		
6			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>						●				1		
7			キタオウシュウサンショウウオ	<i>Onychodactylus nipponoborealis</i>				●						1		
8			バンダイハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus intermedius</i>						●				1		
-				ハコネサンショウウオ属	<i>Onychodactylus sp.</i>					○				1		
9	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>									●	1			
10	無尾目	イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>				●	●		●	●	●	6		
11		ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i>						●	●	●	●	4		
12			アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>				●	●					2		
13			ナガレヒキガエル	<i>Bufo torrenticola</i>						●				1		
14		アマガエル科	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	●	●		●	●		●	●	●	7		
15		アカガエル科	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>				●	●	●		●	●	●	6	
16			ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>							●		●	●	2	
17			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>				●	●		●	●	●	●	5	
18			エゾアカガエル	<i>Rana pirica</i>	●	●	●								3	
-				アカガエル属	<i>Rana sp.</i>									○	1	
19				トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>				●	●		●	●	●	●	5
-				トノサマガエル属	<i>Pelophylax sp.</i>						○					1
20				ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>				●	●	●	●	●	●	●	6
21			ヌマガエル科	ヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>							●	●	●	●	2
22		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i>				●	●	●	●	●	●	●	6	
23			モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>				●	●				●	●	3	
24			カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>				●	●	●	●	●	●	●	6	
確認種数					3	3	2	13	13	8	12	10	13			

注 1) ○は当該ダムにおいて種数としてカウントしていない（I-5 頁種数の計数方法参照）。

注 2) ▲▲属、□□科、××目という表記は、各下位の分類階級まで同定されていないものである。

爬虫類確認種一覧（平成 30 年度）

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	学 名	北海道		東北	北陸	近畿	中国			確認 ダム 数		
					鹿ノ子 ダム	十勝 ダム	札内川 ダム	森吉山 ダム	大川 ダム	大滝 ダム	志津見 ダム	尾原 ダム		弥栄 ダム	
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>						●	●	●	3		
2			クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>								●	●	2	
-			イシガメ属	<i>Mauremys sp.</i>								○		1	
3		ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>									●	1	
4			スッポン科	ニホンスッポン	<i>Plodiscus sinensis</i>						●	●		2	
-	有鱗目	カメ目	Testudines						○				1		
5			ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>					●	●	●	●	4	
6				タワヤモリ	<i>Gekko tawaensis</i>								●	1	
-		ヤモリ属		<i>Gekko sp.</i>								○		1	
7		トカゲ科	ニホントカゲ	<i>Plestiodon japonicus</i>								●	●	2	
8			ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>				●	●					2	
-			トカゲ属	<i>Plestiodon sp.</i>						○				1	
9		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>			●	●	●	●	●	●	●	7	
10			ナミヘビ科	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	●			●	●	●	●	●	6	
11		ナミヘビ科	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>		●		●	●	●	●	●	●	7	
-			ナメラ属	<i>Elaphe sp.</i>							○			1	
12		クサリヘビ科	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>				●	●	●	●	●	●	6	
13			シロマダラ	<i>Dinodon orientale</i>					●		●	●	●	4	
14			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>							●	●	●	3	
15			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>				●	●	●	●	●	●	6	
16			クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydus blomhoffii</i>				●	●	●	●	●	●	6
確認種数					1	1	1	7	8	6	11	13	14		

注 1) ○は当該ダムにおいて種数としてカウントしていない（I-5 頁種数の計数方法参照）。

注 2) ▲▲属、□□科、××目という表記は、各下位の分類階級まで同定されていないものである。

哺乳類確認種一覧（平成 30 年度）

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	学 名	北海道		東北	北陸	近畿	中国			確認 ダム 数			
					鹿ノ 子 ダム	十勝 ダム	札内 川 ダム	森吉 山 ダム	大川 ダム	大滝 ダム	志津 見 ダム	尾原 ダム		弥栄 ダム		
1	モグラ目（食虫目）	トガリネズミ科	ヒメトガリネズミ	<i>Sorex gracillimus</i>	●	●	●							3		
2			バイカルトガリネズミ	<i>Sorex caecutiens</i>	●	●								2		
3			オオアシトガリネズミ	<i>Sorex unguiculatus</i>	●	●	●							3		
4			トガリネズミ属	<i>Sorex sp.</i>			○							1		
4			ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>				●	●	●	●	●	●	6		
5			カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephala</i>				●						1		
6			モグラ科	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>				●	●	●	●	●	6		
7				アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>				●	●				2		
8				コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>							●	●	●	3	
-	モグラ属	<i>Mogera sp.</i>								○	○	○	2			
-	モグラ科	Talpidae					○	○	○				4			
9	コウモリ目（翼手目）	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i>		●						●	●	4		
10			キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>			●	●	●			●	●	5		
11			ヒナコウモリ科	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>	●		●							2	
12				ウスリホオヒゲコウモリ	<i>Myotis gracilis</i>			●							1	
13				カガヤコウモリ	<i>Myotis frater</i>		●								1	
14				モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>		●	●	●			●	●	●	6	
15				ドーベントンコウモリ	<i>Myotis daubentonii</i>			●							1	
-				ホオヒゲコウモリ属	<i>Myotis sp.</i>			○							1	
16				アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>									●	1	
17				ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>	●										1
18				ヒメホリカワコウモリ	<i>Eptesicus nilssonii</i>			●								1
19				チチコウモリ	<i>Barbastella leucomelas</i>		●									1
20			ウサギコウモリ	<i>Plecotus sacrimontis</i>	●		●								3	
21			ユビナゴコウモリ	<i>Miniopterus schreibersi</i>				●					●		2	
22			コテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis</i>	●	●	●	●	●						5	
23			テングコウモリ	<i>Murina leucogaster</i>		●									1	
-			ヒナコウモリ科	Vespertilionidae		○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	
-			コウモリ目（翼手目）	Chiroptera	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	
24			サル目（霊長目）	オナガザル科	ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>						●				2
25			ウサギ目	ウサギ科	エゾキウサギ	<i>Lepus timidus ainu</i>	●	●	●							3
26	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>					●	●	●	●	●	●	●	6		
27	ネズミ目（齧歯目）	リス科	エゾリス	<i>Sciurus vulgaris orientis</i>	●	●	●			●	●	●	●	3		
28			ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>			●	●	●	●	●	●		5		
29			エゾシマリス	<i>Tamias sibiricus lineatus</i>	●	●	●							3		
30			ホンドモモンガ	<i>Pteromys momonga</i>			●	●					●	3		
31			エゾモモンガ	<i>Pteromys volans orii</i>	●	●	●							3		
32			ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>			●	●	●			●	●	5		
-			リス科	Sciuridae	○				○					2		
33			ネズミ科	エゾヤチネズミ	<i>Myodes rufocanus bedfordiae</i>	●	●	●							3	
34				ミヤマムクゲネズミ	<i>Myodes rex montanus</i>			●							1	
-				ヤチネズミ属	<i>Myodes sp.</i>		○	○							2	
35		ハタネズミ		<i>Microtus montebelli</i>				●	●			●		3		
36		ホンダアカネズミ		<i>Apodemus speciosus speciosus</i>				●	●	●	●	●	●	6		
37		エゾアカネズミ		<i>Apodemus speciosus ainu</i>	●	●	●							3		
38		ホンダヒメネズミ		<i>Apodemus argenteus argenteus</i>			●	●	●	●	●	●	●	6		
39		エゾヒメネズミ		<i>Apodemus argenteus hokkaidi</i>	●	●	●							3		
-		アカネズミ属		<i>Apodemus sp.</i>	○	○	○							3		
40		カヤネズミ		<i>Micromys minutus</i>						●	●	●	●	4		
41		ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>			●	●			●		●	4			
-		クマネズミ属	<i>Rattus sp.</i>							○				1		
-		ネズミ科	Muridae	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9			
42	ネコ目（食肉目）	ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>					○	○	○	●	2			
43			クマ科	エゾヒグマ	<i>Ursus arctos vesoensis</i>	●	●	●						3		
44		アライグマ科	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus japonicus</i>			●	●	●	●	●		4			
45			アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	●	●					●	●	4			
-			アライグマ属	<i>Procyon sp.</i>						○			1			
46		イヌ科	ホンダタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>			●	●	●	●	●	●	●	6		
47			エゾタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides albus</i>	●	●	●							3		
48			ホンダキツネ	<i>Vulpes vulpes japonica</i>			●	●	●	●	●	●	●	6		
49		イタチ科	キタキツネ	<i>Vulpes vulpes schrencki</i>	●	●	●							3		
50			ホンダテン	<i>Martes melampus melampus</i>			●	●	●	●	●	●	●	6		
51	エゾクロテン		<i>Martes zibellina brachyura</i>	●	●	●							3			
52	ホンダイタチ		<i>Mustela itatsi itatsi</i>			●	●			●	●	●	5			
53	キタイイズナ		<i>Mustela nivalis nivalis</i>	●		●							2			
54	ミンク		<i>Mustela vison</i>			●							1			
-	ジャコウネコ科	イタチ属	<i>Mustela sp.</i>		○	○			○	○	○	○	7			
55		ニホンアナグマ	<i>Meles meles anakuma</i>			●	●	●	●	●	●	●	6			
-		イタチ科	Mustelidae		○	○	○	○	○	○	○	○	8			
56		ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>			●	●	●	●				3			
57		ウシ目（偶蹄目）	イノシシ科	ニホンイノシシ	<i>Sus scrofa leucomystax</i>			●	●	●	●	●	●	5		
58	シカ科	ホンショウジカ	<i>Cervus nippon centralis</i>				●	●	●	●			3			
59		エゾシカ	<i>Cervus nippon vesoensis</i>	●	●	●							3			
60		ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>				●	●	●			3			
-	-	-	ウシ目（偶蹄目）	Artiodactyla				○	○				2			
確認種数					21	22	26	26	22	20	19	22	19			

注 1) ○は当該ダムにおいて種数としてカウントしていない（I-5 頁種数の計数方法参照）。

注 2) ▲▲属、□□科、××目という表記は、各下位の分類階級まで同定されていないものである。

両生類・爬虫類・哺乳類重要種一覧（平成 30 年度）

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	学 名	①	②	③	北海道			東北	北陸	近畿	中国			確認 ダム 数
								鹿 ノ 子 ダ ム	十 勝 ダ ム	札 内 川 ダ ム	森 吉 山 ダ ム	大 川 ダ ム	大 滝 ダ ム	志 津 見 ダ ム	尾 原 ダ ム	弥 栄 ダ ム	
1	有尾目	サンショウウオ科	トウホクサンショウウオ	<i>Hynobius lichenatus</i>			NT				●	●					2
2			クロサンショウウオ	<i>Hynobius nigrescens</i>			NT				●						1
3			エゾサンショウウオ	<i>Hynobius retardatus</i>			DD	●	●	●							3
4			ブチサンショウウオ	<i>Hynobius naevius</i>			NT							●		●	2
5			コガタブチサンショウウオ	<i>Hynobius steinegeri</i>			NT						●				1
6			バンダイハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus intermedius</i>			NT					●					1
7		オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>	特天		VU								●		1
8		イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>			NT				●	●	●	●	●	●	6
9	無尾目	アカガエル科	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>			NT				●	●		●	●	●	5
10	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>			NT							●	●	●	3
11		スッポン科	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>			DD							●	●		2
12	有鱗目	ヤモリ科	タワヤモリ	<i>Gekko tawaensis</i>			NT									●	1
13	コウモリ目（翼手目）	ヒナコウモリ科	ウスリホオヒゲコウモリ	<i>Myotis gracilis</i>			VU			●							1
14			ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>			VU	●									1
15	ネズミ目（齧歯目）	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>			LP				○	○	○	●	●		2
16			エゾシマリス	<i>Tamias sibiricus lineatus</i>			DD	●	●	●							3
17		ネズミ科	ミヤマムクゲネズミ	<i>Myodes rex montanus</i>			NT			●							1
18	ネコ目（食肉目）	クマ科	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus japonicus</i>			LP				○	○	○	●			1
19		イタチ科	エゾクロテン	<i>Martes zibellina brachyura</i>			NT	●	●	●							3
20	ウシ目（偶蹄目）	ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	特天						●	●	●				3
確認種数								4	3	5	5	5	3	7	6	5	

凡例)

選定基準

①文化財保護法

特天：国指定特別天然記念物 天然：天然記念物

②絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律〔種の保存法〕（平成 5 年）

③環境省レッドリスト 2019（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）（環境省レッドリスト 2019：平成 31 年 1 月 24 日報道発表資料）

CR：絶滅危惧ⅠA 類 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種

EN：絶滅危惧ⅠB 類 - ⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種

VU：絶滅危惧Ⅱ類 - 絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧 - 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

DD：情報不足 - 評価するだけの情報が不足している種

LP：絶滅のおそれのある地域個体群 - 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの（○は LP に指定されていない地域であり種数としてカウントしていない）

両生類・爬虫類・哺乳類国外外来種一覧（平成 30 年度）

No.	目和名	科和名	種和名	学名	外来種	北海道			東北	北陸	近畿	中国			確認 ダム 数
						鹿ノ子ダム	十勝ダム	札内川ダム	森吉山ダム	大川ダム	大滝ダム	志津見ダム	尾原ダム	弥栄ダム	
1	カメ目	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	Trachemys scripta elegans	総合対策(緊急)									●	1
2	ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	ドブネズミ	Rattus norvegicus	総合対策(重点)			◎	◎			◎		◎	4
3		ヌートリア科	ヌートリア	Myocastor coypus	特定 総合対策(緊急)							◎	◎		2
4	ネコ目(食肉目)	アライグマ科	アライグマ	Procyon lotor	特定 総合対策(緊急)	◎	◎				◎		◎		4
5		イタチ科	ミンク	Mustela vison	特定 総合対策(重点)			●							1
6		ジャコウネコ科	ハクビシン	Paguma larvata	総合対策(重点)				◎	●	◎				
確認種数						1	1	2	2	1	2	2	2	2	

注) ●◎は確認（うち◎は、P6-47～P6-51 に示す分析対象種のうち、当該ダム等で今回初確認）を示す。

凡例)

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定外来：「特定外来生物法」における特定外来生物

未判定：「特定外来生物法」における未判定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）掲載種」

定着予防（侵入予防）：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。

定着予防（その他）：侵入の情報はあがるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種。

総合対策（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種。

総合対策（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種。

総合対策（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種。

産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。

6.2 生物多様性

日本の生物多様性の危機の原因の一つとして、「外来種等人為的に持ち込まれたものによる生態系の攪乱」があげられています。

両生類・爬虫類・哺乳類では、ペットや家畜等として輸入された種のほか、本来は日本に生息しない国外の生物種が侵入し、自然界へ広がっている例が数多くみられます。

国外外来種が生態的に優勢な場合、在来の種が排除されたり、置き換わったりすることがあります。また、タイワンザルとニホンザルのように自然界では起こらない交雑によって雑種が生まれ、地域で保有されている固有の遺伝子が喪失することが懸念されています。そのほか、在来の小動物や植物等を捕食することによる、地域生態系への影響についても指摘されています。

ここでは、人為的な生態系の攪乱状況を明らかにするために、国外外来種で、特定外来生物に指定されているウシガエル、シロアゴガエル、ヌートリア、アライグマ、マスカラット、ミンク、フイリマングース及び生態系被害防止外来種リスト掲載種であるミシシippアカミミガメ、ハクビシンの確認状況について整理しました。

(1) 国外外来種の分布状況（生物多様性への攪乱）

・特定外来生物に指定されたヌートリアを2ダムで、アライグマを4ダムで、ミンクを1ダムで確認

地域生態系への影響や遺伝子攪乱などが懸念されている国外外来種について、確認状況を整理しました。今回とりまとめを行った9ダムでは、特定外来生物に指定されているヌートリアが2ダムで、アライグマが4ダムで、ミンクが1ダムで確認されました。また、生態系被害防止外来種リスト掲載種であるミシシippアカミミガメが1ダムで、ハクビシンが3ダムで確認されました。ヌートリアとアライグマは確認された全てのダムで初めて確認されました。

国外外来種の確認ダム数の巡目比較

種名	区分	1 巡目調査 (80 ダム)	2 巡目調査 (82 ダム)	3 巡目調査 (96 ダム)	4 巡目調査 (109 ダム)	5 巡目調査 (20 ダム)	今回 確認
ウシガエル	特定	15 ダム [18.8%]	18 ダム [22.0%]	21 ダム [21.9%]	25 ダム [22.9%]	2 ダム [10.0%]	
シロアゴガエル	特定	3 ダム [60.0%]	6 ダム [100.0%]	6 ダム [85.7%]	7 ダム [100.0%]	1 ダム [100.0%]	
ヌートリア	特定	5 ダム [6.3%]	12 ダム [14.6%]	17 ダム [17.7%]	12 ダム [11.0%]	4 ダム [20.0%]	○
アライグマ	特定	1 ダム [1.3%]	1 ダム [1.2%]	9 ダム [9.4%]	24 ダム [22.0%]	8 ダム [40.0%]	○
マスカラット	特定	1 ダム [1.3%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ミンク	特定	2 ダム [2.5%]	2 ダム [2.4%]	4 ダム [4.2%]	3 ダム [2.8%]	1 ダム [5.0%]	○
フイリマングース	特定	1 ダム [20.0%]	2 ダム [33.3%]	4 ダム [57.1%]	3 ダム [42.9%]	0 ダム [0.0%]	
ミシシippアカミミガメ		5 ダム [6.3%]	12 ダム [14.6%]	17 ダム [17.7%]	24 ダム [22.0%]	1 ダム [5.0%]	○
ハクビシン		18 ダム [22.5%]	25 ダム [30.5%]	39 ダム [40.6%]	67 ダム [61.5%]	10 ダム [50.0%]	○

※（ ）内は各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を行っていたり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目毎の調査ダム数は同じではない。

※〔 〕内は確認ダム数の対象ダム数に対する％を示す。なお、シロアゴガエル、フイリマングースについては河川水辺の国勢調査では沖縄のみで確認されているため、比較対象ダムは沖縄のダムのみとしている。

※5 巡目調査は調査の途中である。

※アライグマにはカニクイアライグマを含む可能性がある。

※生態系被害防止外来種リストには、亜種ミシシippアカミミガメを含む種アカミミガメが掲載されている。

両生類・爬虫類・哺乳類の外来種は、食肉用や毛皮用、ペット等の目的で飼育していた個体や害虫及び害獣駆除の目的で導入された個体が野外に逸出し、野生化したものが主となっています。これらの外来種については、在来種と餌や繁殖場所をめぐって競合し、駆逐したり、在来種と交雑して遺伝的攪乱が生じたりする可能性が指摘されています。また、両生類・爬虫類・哺乳類は、食物連鎖の比較的上位に位置する種が多いことから、希少な在来固有種である昆虫類や鳥類、小動物、植物等を捕食し、島等の狭い空間ではそれらを絶滅に追いやる場合もあります。さらに、農作物への食害や、民家等への侵入といった人間活動に関する被害も報告されています。

今回とりまとめを行った 9 ダムでは、特定外来生物に指定されている種のうち、ヌートリア、アライグマ、ミンクの 3 種が確認されました。ウシガエル、シロアゴガエル、マスカラット、フイリマングースは確認されませんでした。

ヌートリアは 9 ダム中、中国の志津見ダム、尾原ダムの 2 ダムで確認されました。両ダムともに、今回が河川水辺の調査では初めての確認となっています。中国の弥栄ダムでは、3 巡目の調査で確認されましたが、前回の 4 巡目と今回の 5 巡目では確認されませんでした。

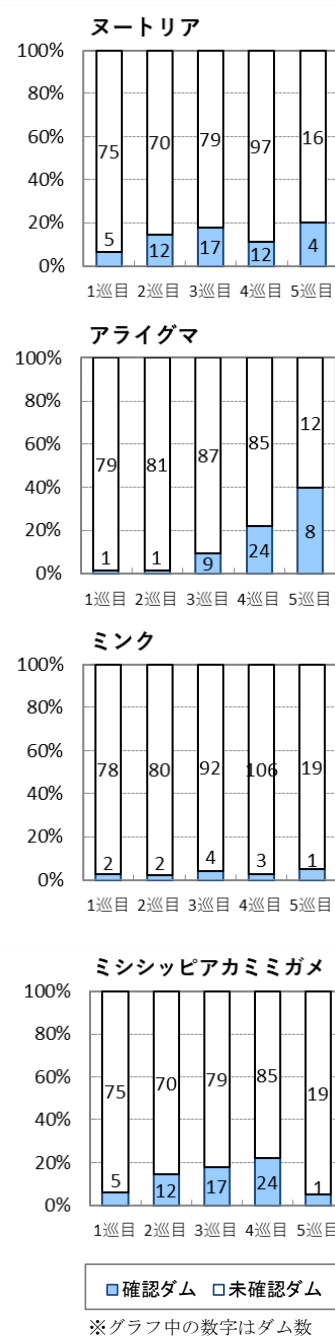
アライグマは 9 ダム中、北海道の鹿ノ子ダム、十勝ダム、近畿の大滝ダム、中国の尾原ダムの 4 ダムで確認されました。全てのダムにおいて、今回が河川水辺の調査では初めての確認となっています。過年度の調査結果をみると、4 巡目の調査結果では、24 ダムで確認されており、全国で分布が拡大しています。

ミンクは 9 ダム中、北海道の札内川ダムのみで確認されました。札内川ダムでは 3 巡目の調査で初めて確認され、4 巡目の調査では確認されませんでした。北海道の鹿ノ子ダムでは、1 巡目から 3 巡目の調査では確認されましたが、前回の 4 巡目及び今回の 5 巡目の調査では確認されませんでした。

ダム湖周辺での外来生物の確認状況としては、確認割合が横ばい又は増加傾向にある種が多く、今後も継続して分布状況を把握していく必要があります。

また、生態系被害防止外来種リスト掲載種であるミシシippアカミミガメ、ハクビシンの 2 種が確認されました。

ミシシippアカミミガメは 9 ダム中、中国の弥栄ダムのみで確認されました。弥栄ダムでは 3 巡目の調査で初めて確認され、4 巡目の調査では確認されませんでした。過年度の調査結果を見ると、確認ダムの割合が微増しています。



ハクビシンは9ダム中、東北の森吉山ダム、北陸の大川ダム、近畿の大滝ダムの3ダムで確認されました。過年度の調査結果を見ると、4巡目の調査では四国の全てのダムで確認されており、近畿地方や東北地方の北部などにも分布が拡大しています。

各外来種の由来と主な生態は、以下のとおりです。

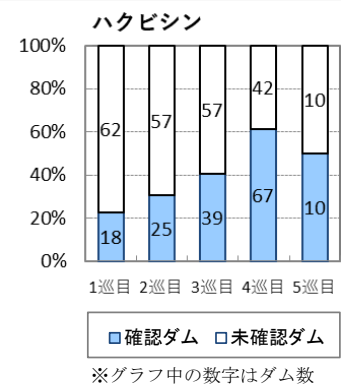
ヌートリアは南米原産で、日本には軍服用の毛皮獣としての養殖を目的として導入されました。水辺に生息し、草食性の大型哺乳類であるため、水辺の植物に対する影響が大きいという報告があります。巣穴による堤防、水田の畦やため池が破壊される可能性などが指摘されています。

アライグマは北米原産で、日本には愛玩動物として展示・愛玩動物として導入されました。その後、1962年に飼育個体が逸出し、愛知県から岐阜県へ生息域を拡大しました。その後日本各地で逸出や定着が確認され、現在までには全国で確認されています。森林や湿地帯から市街地まで様々な環境に生息し、雑食性のため農業被害とともに在来種への影響が危惧されています。

ミンクは、北米原産で、毛皮の材料とするため1928年に北海道に導入されました。養殖されていたものが逸出し、野外に定着したと考えられます。養殖魚への食害等、水産業への被害や、餌資源の奪い合いによる在来種のイタチ類への悪影響等も問題となっています。

ミシシippアカミミガメは北米原産で、日本には1950年代後半から展示・愛玩動物として導入されました。その後、1960年代後半から、野外で野生化した個体がみつかるとともに定着しました。現在では本州、四国、九州の他に、沖縄島や小笠原諸島からも生息が確認されています。河川や湖沼、水田等に広く生息し、在来種のカメ目と生息環境が競合すると考えられており、在来種への影響が危惧されています。

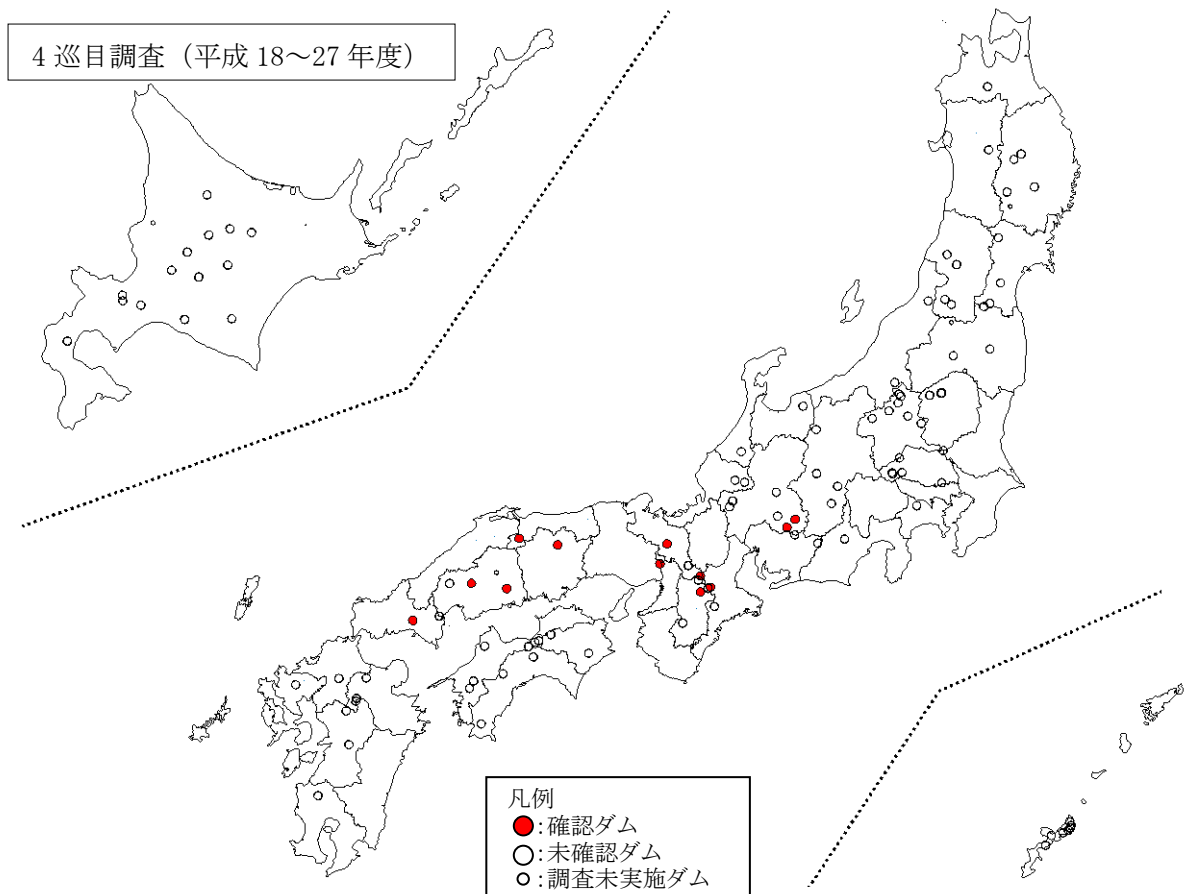
ハクビシンはヒマラヤや中国南部、台湾、マレー半島等が原産で、日本には毛皮目的に導入されました。日本列島のほぼ全域に分布が拡大、市街地から山間部まで生息し、農業被害や人家への侵入が問題となっています。



※特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(2005年6月1日施行)』により、輸入や飼養等が規制される生物(生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる)です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがある生物が指定されています。

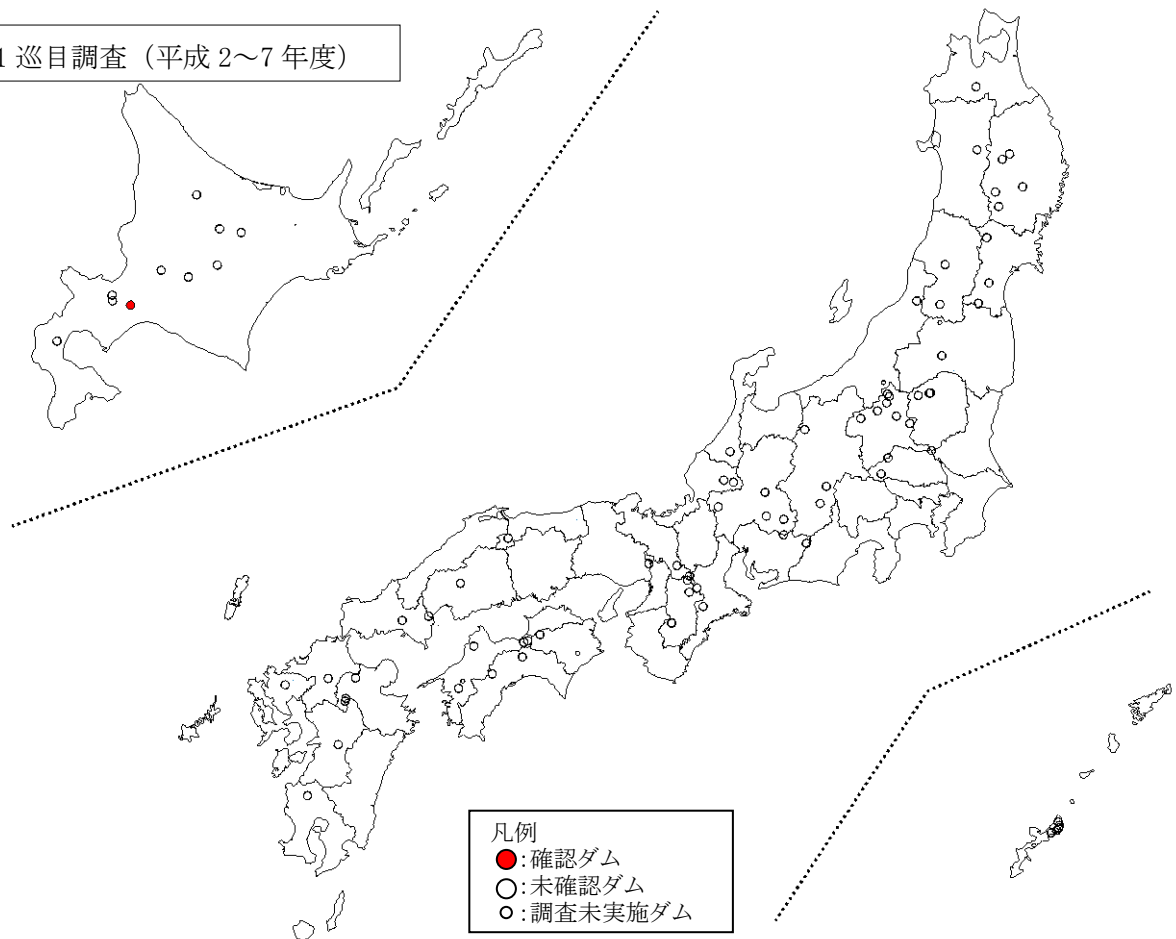
参考文献：1) 日本生態学会編(2002)外来種ハンドブック, 地人書館
2) (独) 国立環境研究所, 侵入生物データベース





ヌートリア（特定外来生物）の確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

1 巡目調査（平成 2～7 年度）



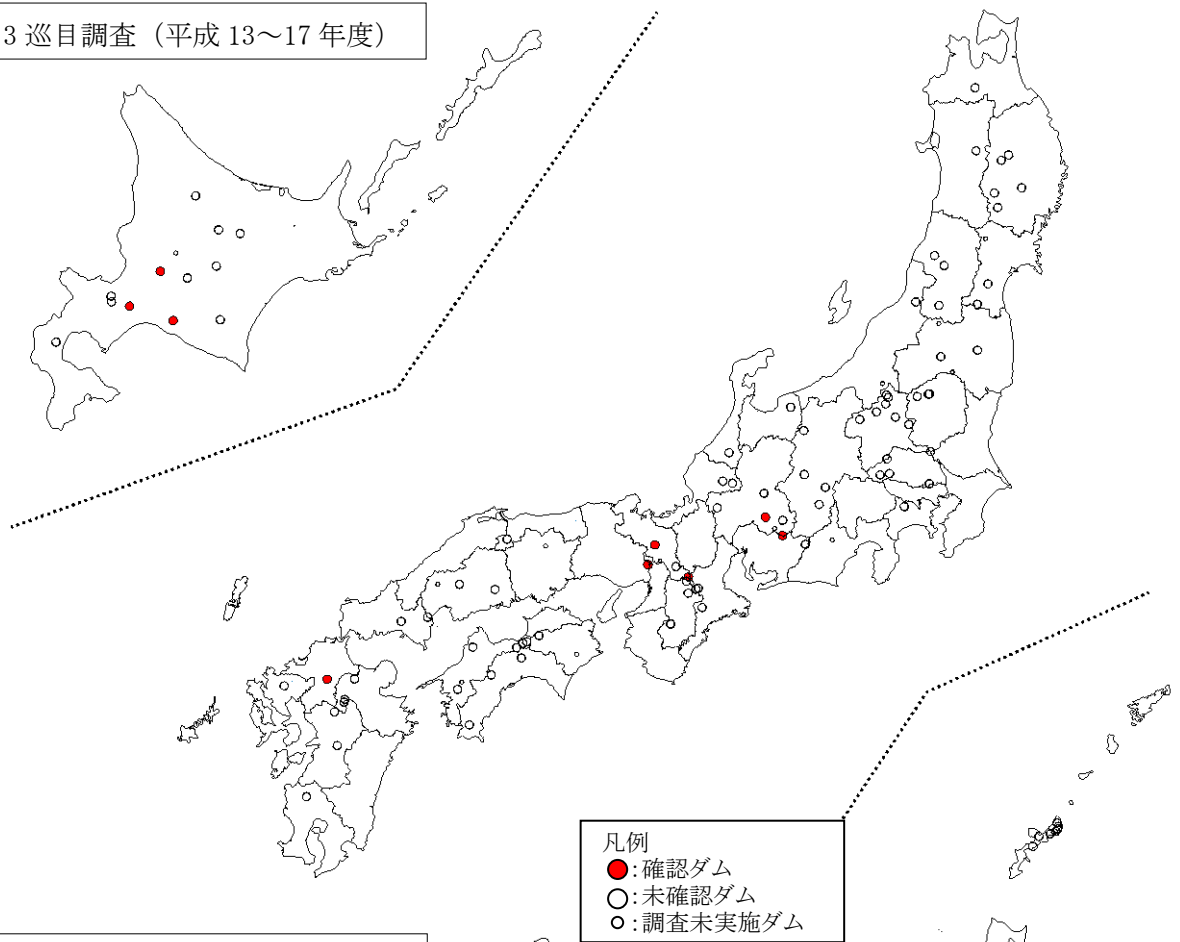
2 巡目調査（平成 8～12 年度）



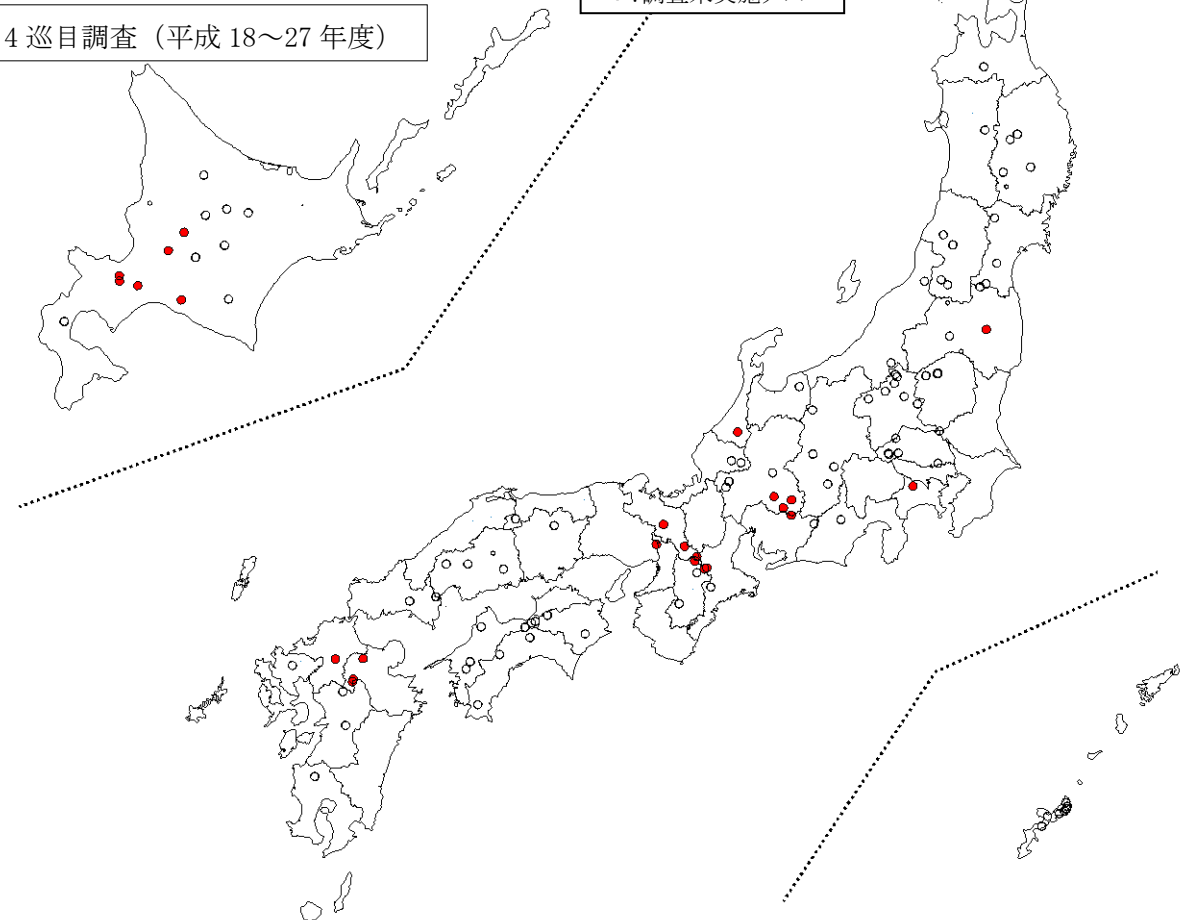
アライグマ（特定外来生物）の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

※アライグマは全国的に分布拡大している種であるため、過年度の確認状況もあわせて示した。

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

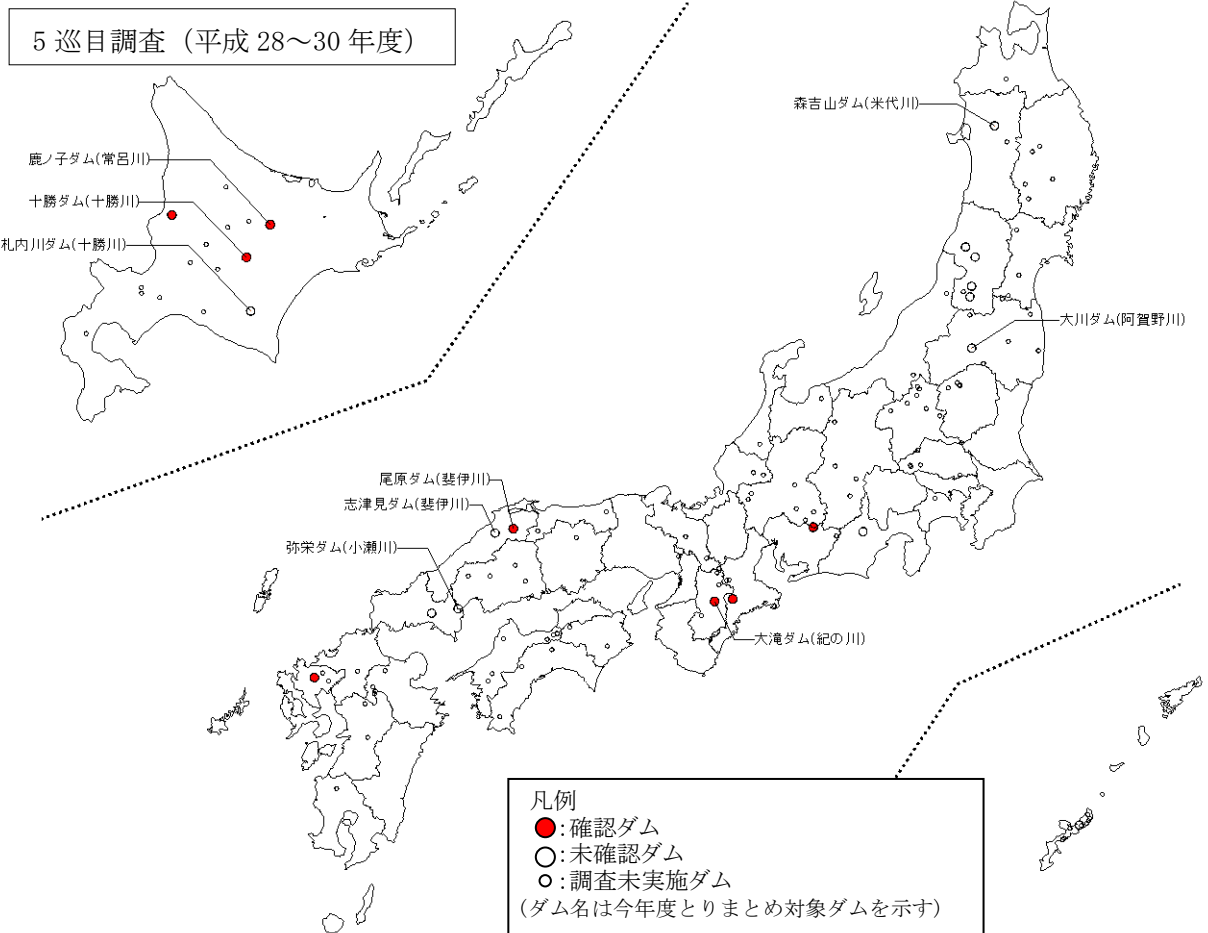


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



アライグマ（特定外来生物）の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

※アライグマは全国的に分布拡大している種であるため、過年度の確認状況もあわせて示した。



アライグマ（特定外来生物）の確認状況（5 巡目調査）

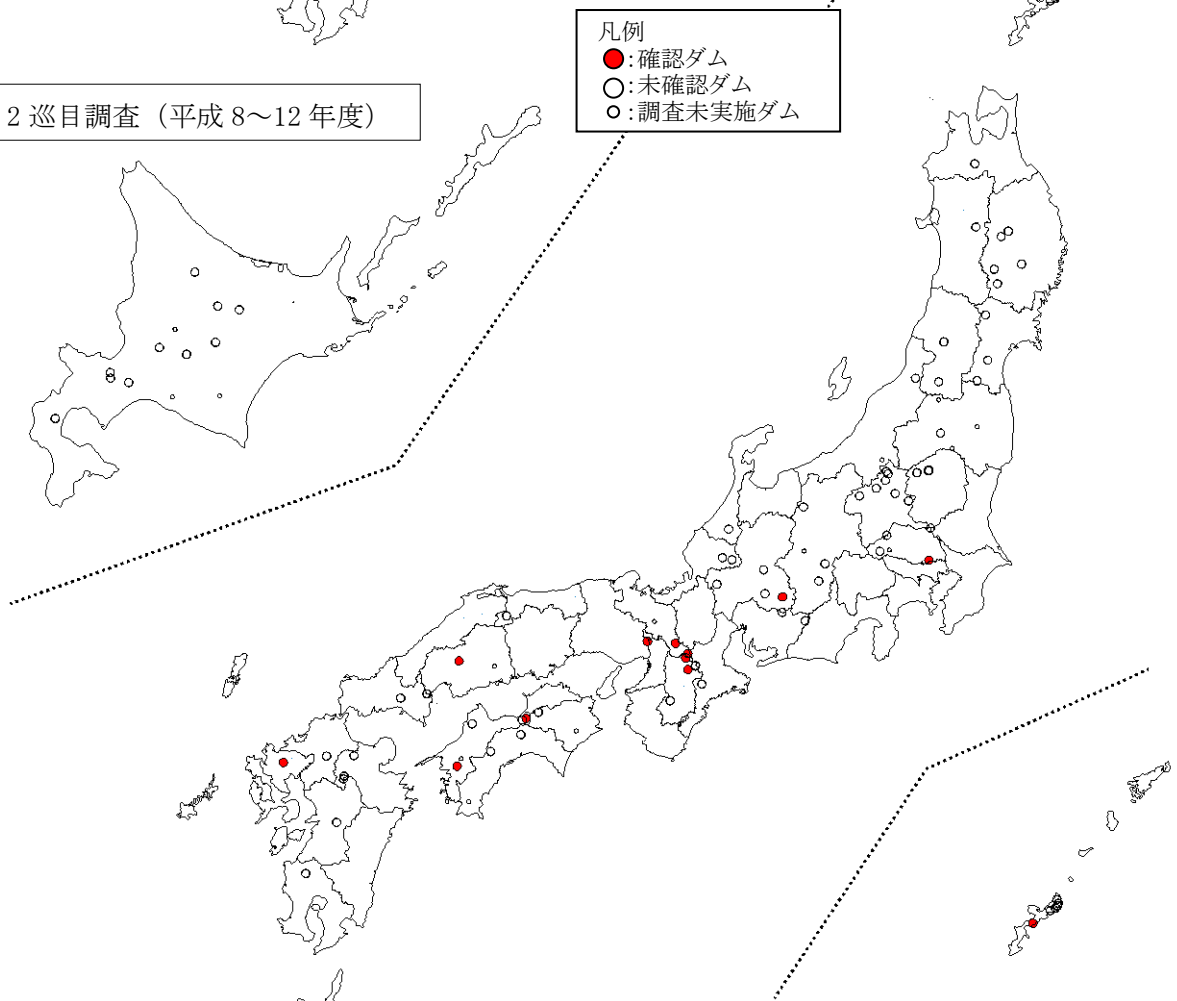


ミンク（特定外来生物）の確認状況（5 巡目調査）

1 巡目調査（平成 2～7 年度）



2 巡目調査（平成 8～12 年度）



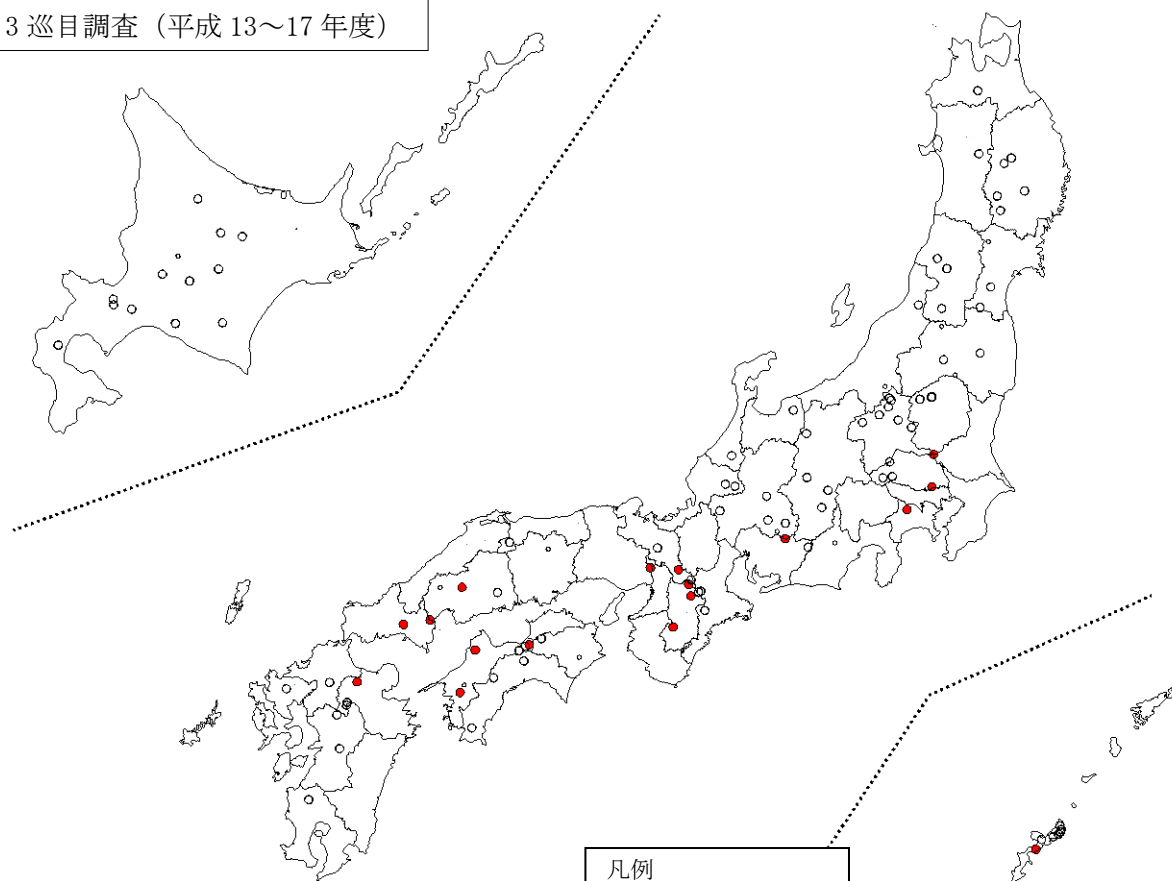
凡例
 ●: 確認ダム
 ○: 未確認ダム
 ○: 調査未実施ダム

ミシシippアカミミガメ（生態系被害防止リスト掲載種）の確認状況

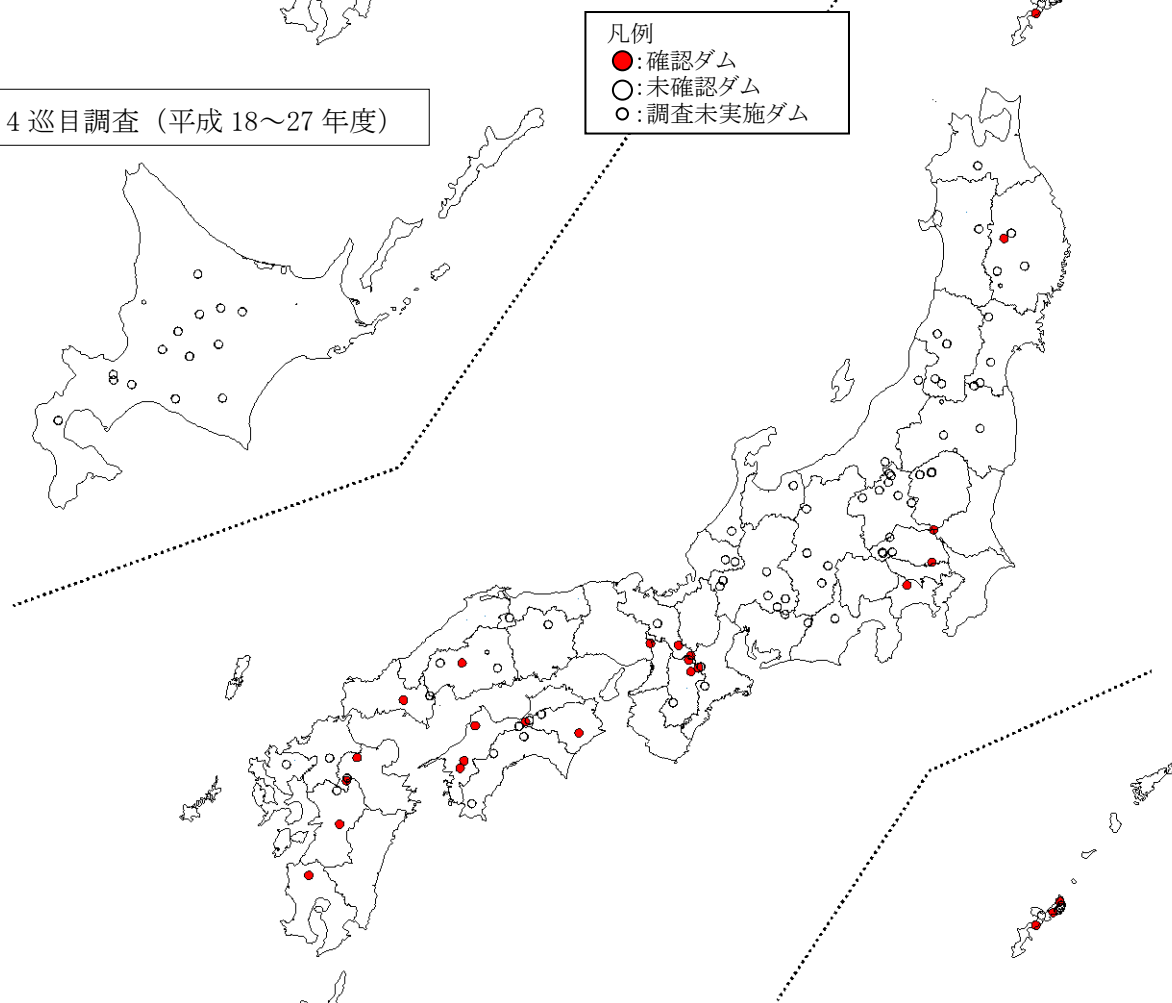
（1 巡目調査、2 巡目調査）

※ミシシippアカミミガメは全国的に分布拡大している種であるため、
 過年度の確認状況もあわせて示した。

3 巡目調査（平成 13～17 年度）



4 巡目調査（平成 18～27 年度）



凡例
 ●: 確認ダム
 ○: 未確認ダム
 ○: 調査未実施ダム

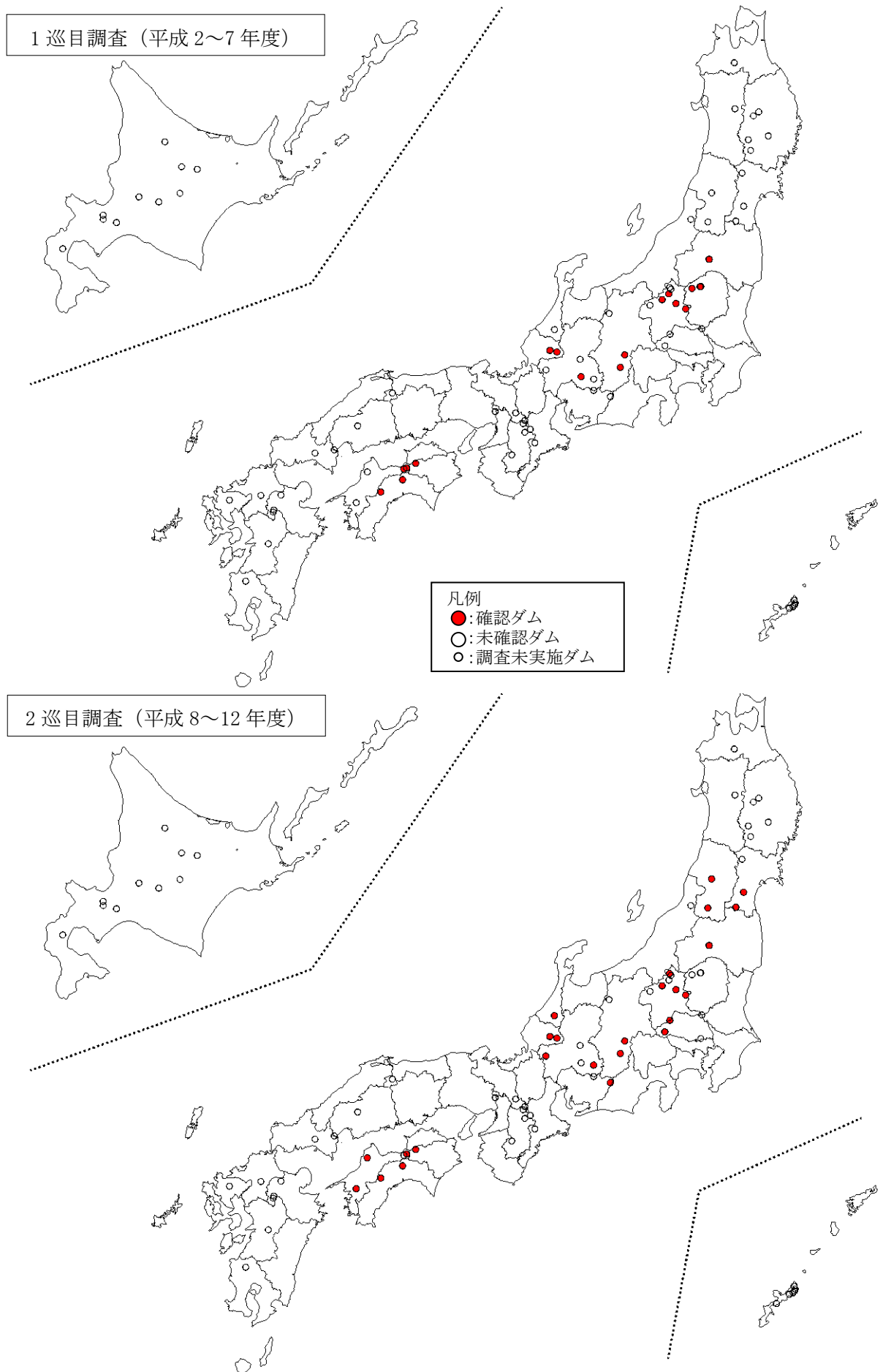
ミシシippアカミミガメ（生態系被害防止リスト掲載種）の確認状況

（3 巡目調査、4 巡目調査）

※ミシシippアカミミガメは全国的に分布拡大している種であるため、
過年度の確認状況もあわせて示した。



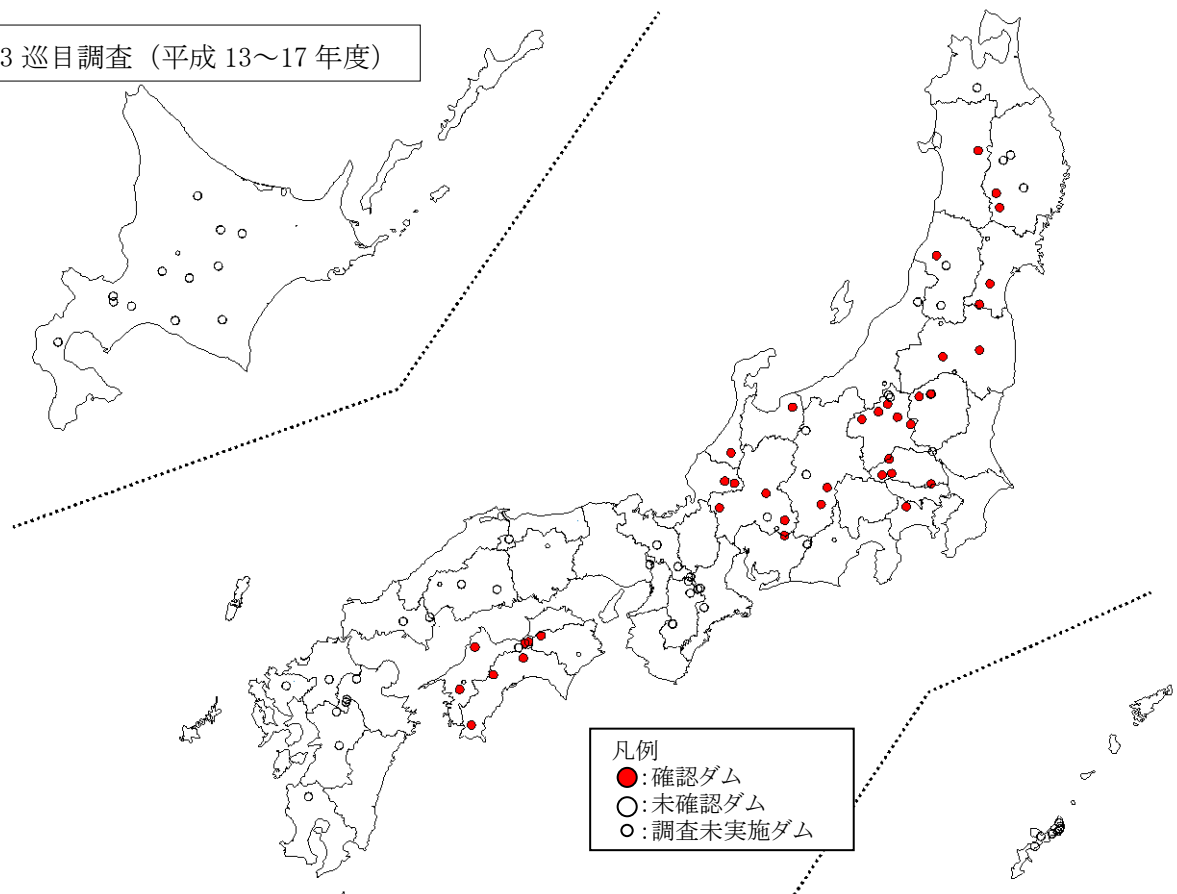
ミシシippアカミミガメ（生態系被害防止リスト掲載種）の確認状況（5 巡目調査）



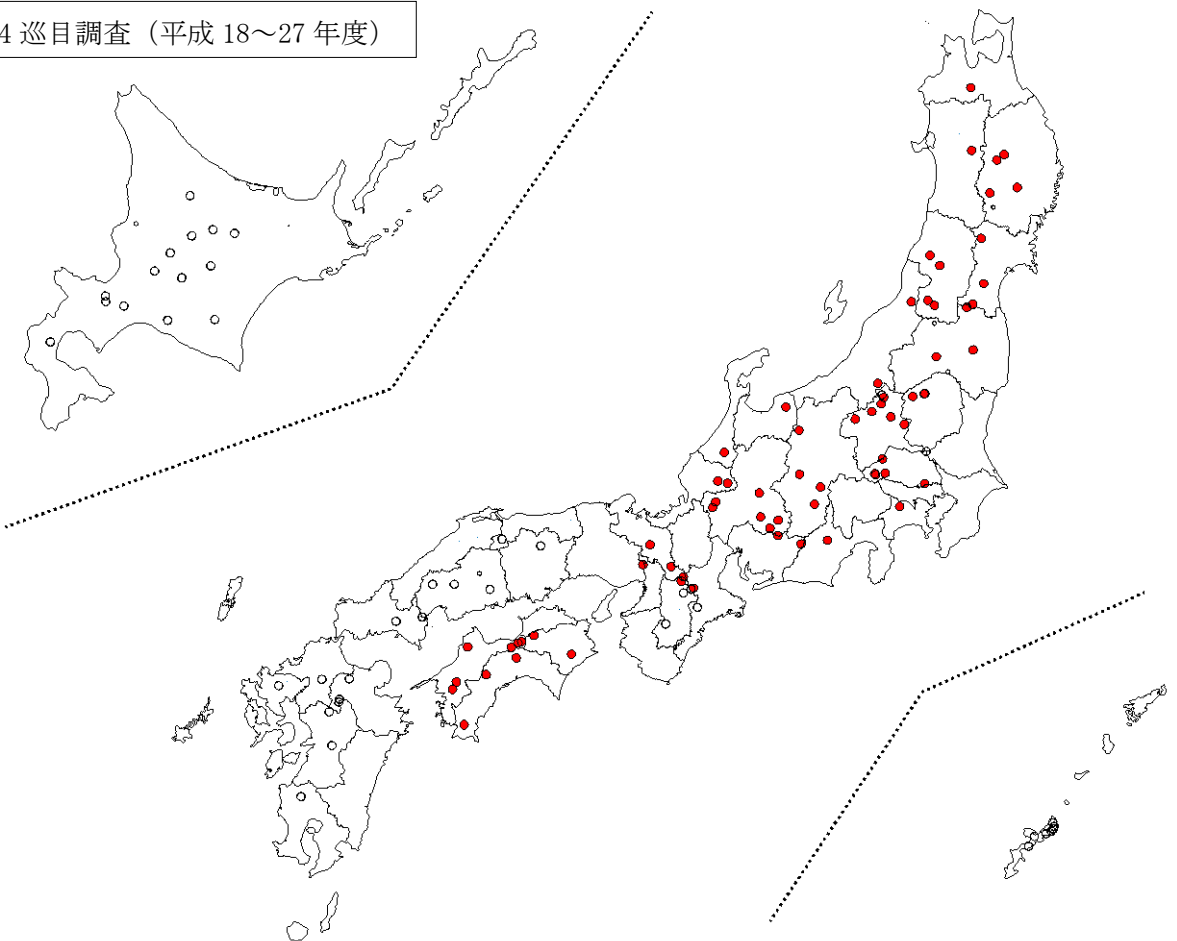
ハクビシン（生態系被害防止リスト掲載種）の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

※ハクビシンは全国的に分布拡大している種であるため、過年度の確認状況もあわせて示した。

3 巡目調査（平成 13～17 年度）



4 巡目調査（平成 18～27 年度）



ハクビシン（生態系被害防止リスト掲載種）の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

※ハクビシンは全国的に分布拡大している種であるため、過年度の確認状況もあわせて示した。



ハクビシン（生態系被害防止リスト掲載種）の確認状況（5 巡目調査）

6.3 注目すべき種の分布状況

(1) 農林業とかかわりが大きい哺乳類(サル、クマ、シカ、イノシシ)の確認状況

- ・ダム湖周辺で、農林業やダム湖周辺の植生に影響を及ぼす大型哺乳類（ニホンザル、エゾヒグマ、ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシ）を継続して確認
- ・4巡目、5巡目でニホンジカ、イノシシ（ニホンイノシシ）の生息が確認されたほぼすべてのダムについて、4巡目調査より確認地区数が増加

農林業とかかわりが大きい哺乳類の確認ダム数の巡目比較

種名	1巡目調査 (80ダム)	2巡目調査 (82ダム)	3巡目調査 (96ダム)	4巡目調査 (109ダム)	5巡目調査 (20ダム)	今回 確認
ニホンザル	38/65ダム [58.5%]	38/66ダム [57.6%]	49/77ダム [63.6%]	58/88ダム [65.9%]	8/15ダム [53.3%]	○
エゾヒグマ	8/10ダム [80.0%]	9/10ダム [90.0%]	11/12ダム [91.7%]	14/14ダム [100.0%]	4/4ダム [100.0%]	○
ツキノワグマ	22/65ダム [33.8%]	27/66ダム [40.9%]	34/77ダム [44.2%]	43/88ダム [48.9%]	9/15ダム [60.0%]	○
ニホンジカ	29/75ダム [38.7%]	36/76ダム [47.4%]	48/89ダム [53.9%]	79/102ダム [77.5%]	10/19ダム [52.6%]	○
イノシシ (ニホンイノシシ)	32/65ダム [49.2%]	42/66ダム [63.6%]	51/77ダム [66.2%]	71/88ダム [80.7%]	11/15ダム [73.3%]	○
(リュウキュウイノシシ)	5/5ダム [100.0%]	6/6ダム [100.0%]	7/7ダム [100.0%]	7/7ダム [100.0%]	1/1ダム [100.0%]	

※（ ）内は各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を行っていたり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目毎の調査ダム数は同じではない。

※〔 〕内は確認ダム数の対象ダム数に対する％を示す。

※ニホンザルの対象ダムは本州、エゾヒグマの対象ダムは北海道、ツキノワグマの対象ダムは本州、ニホンジカの対象ダムは北海道・本州、イノシシ（ニホンイノシシ）の対象ダムは本州、イノシシ（リュウキュウイノシシ）の対象ダムは沖縄のみである。

ダム周辺の自然環境の指標となる大型哺乳類のうち、近年生息域が拡大し、農業被害が深刻化している、ニホンザル、エゾヒグマ、ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシの確認状況を整理しました。

ニホンザルは、今回とりまとめ対象とした、北海道を除く6ダムのうち、近畿の大滝ダム、中国の尾原ダムの2ダムで確認されました。

エゾヒグマは、今回とりまとめ対象とした北海道の鹿ノ子ダム、十勝ダム、札内川ダムの3ダム全てで確認されました。

ツキノワグマは、今回とりまとめ対象とした北海道を除く6ダムのうち、東北の森吉山ダム、北陸の大川ダム、近畿の大滝ダム、中国の志津見ダムの4ダムで確認されました。

ニホンジカは、今回とりまとめ対象とした9ダムのうち、北海道の鹿ノ子ダム、十勝ダム、札内川ダム、北陸の大川ダム、近畿の大滝ダム、中国の志津見ダムの6ダムで確認されました。

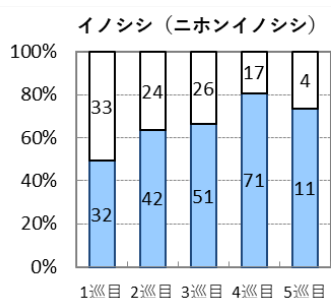
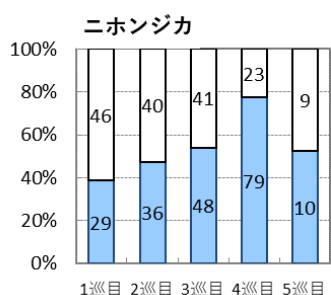
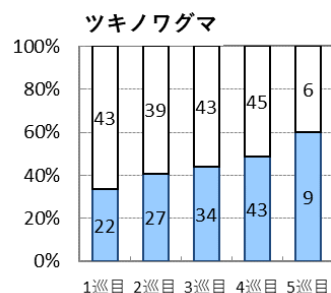
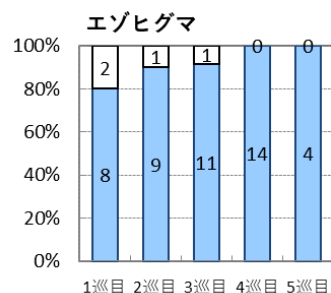
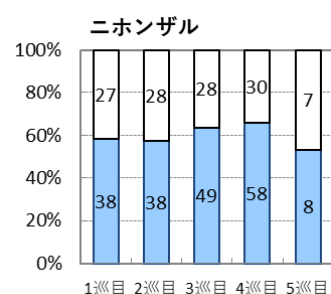
イノシシ（ニホンイノシシ）は今回とりまとめ対象とした北海道を除く6ダムのうち、東北の森吉山ダムを除く5ダムで確認されました。

ニホンザルは、本州、四国、九州に分布する日本の固有種です。常緑広葉樹林、落葉広葉樹林に生息し、雑食性で果実、種子、昆虫等を食べます。農作物の被害は、野菜や果実の一部のみを摂食して散乱させるため、大きな問題となっています。

クマ類は、エゾヒグマが北海道に、ツキノワグマが本州以南に生息しています。元々人の目にあまり触れない山地の森林を主な生息場所とし、森林が続く広い行動圏を必要とします。エゾヒグマは日本国内に生息する野生動物の中でもっとも大きく、雑食性です。ツキノワグマも雑食性ですが、エゾヒグマよりも植物質のものを多く食べると言われています。農作物の被害としては、トウモロコシ、果樹等の被害が問題となっています。また、大型の肉食獣であるため、人と遭遇した場合の事故も問題となっています。一方で、九州、四国のツキノワグマ等は、絶滅が心配されています。

ニホンジカは、イネ科草本、木の葉、堅果、ササ類等を採食し、近年は個体数の増加に伴って農作物の被害や、植林木の樹皮剥ぎ等農林業への被害や森林生態系への影響が問題となっています。

イノシシには亜種ニホンイノシシ、リュウキュウイノシシがいます。ニホンイノシシは本州、四国、九州に分布しています。里山の二次林、低山帯と隣接する水田、農耕地、平野部にも広く分布し、雑食性で、地表から地中にかけての各種の植物と動物を掘り返して採食したり、水田を泥浴びするためのヌタ場として利用したりします。このため農作物の被害や稲の倒伏等の被害、畦や河川敷の掘り返し等も問題となっています。リュウキュウイノシシは、ニホンイノシシより小型で、沖縄、奄美大島等に分布しています。



■ 確認ダム □ 未確認ダム

※グラフ中の数字はダム数

また、平成 30 年に調査を実施した 9 ダムについて、3・4 巡目と 5 巡目のニホンジカ、イノシシ（ニホンイノシシ）の確認地区割合について比較しました。これは、それぞれの種が各ダムの全調査地区に対してどの程度の割合で確認されたかを示したものです。

ニホンジカは北海道の鹿ノ子ダム、十勝ダム、札内川ダム、北陸の大川ダム、近畿の大滝ダム、中国の志津見ダムの 6 ダムで確認されました。鹿ノ子ダム、札内川ダムでは 3 巡目から継続して全地区で確認されており、ダム周辺に広く生息していることがわかります。十勝ダムは 5 巡目調査で確認地区割合が減少したものの、高い割合が継続しています。大川ダムでは、4 巡目から 5 巡目にかけて確認地区割合が増加しており、生息範囲が拡大したと考えられます。大滝ダムでは全地区で確認されました。志津見ダムでは、ニホンジカは確認されているものの他のダムより確認地区割合は低くなりました。

イノシシ（ニホンイノシシ）は北海道を除く 6 ダムのうち、北陸の大川ダム、近畿の大滝ダム、中国の尾原ダム、志津見ダム、弥栄ダムの 5 ダムで確認されました。大川ダムでは 4 巡目から 5 巡目にかけて確認地区割合が急激に増加しており、生息範囲が拡大したと考えられます。大滝ダムではダム湖周辺や環境創出箇所等、半分の地点で確認されていました。志津見ダムでは流入河川及び下流河川でも確認され、ダムの上下流に広く生息していると考えられます。尾原ダムでは全地区で確認されました。弥栄ダムでは 3 巡目調査から継続して高い割合で確認されており、5 巡目調査では全地区で確認されました。

なお、シカについては、農林業への被害のほか、森林植生への食害の影響が全国的に確認されています。シカが増加すると、立木の皮を食べて樹木を枯らしてしまうほか、森林の地表面（林床）の植生を食べることにより、シカの好まない植物のみが繁茂するなど植生が単純化したり、表土を覆う植物自体が減少したりします。このような状態になると、生態系への影響や植生変化による表土の流出が懸念されます。流出した土砂は河川やダム湖へ流入し、治水・利水というダムの機能にも影響を与える可能性があります。

平成 30 年度調査対象ダムのニホンジカ及びイノシシの確認地区割合

ニホンジカ

地方	ダム名	確認地区割合(%)		
		3巡目	4巡目	5巡目
北海道	鹿ノ子ダム	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	十勝ダム	100.0 %	100.0 %	83.3 %
	札内川ダム	100.0 %	100.0 %	100.0 %
北陸	大川ダム	0.0 %	6.7 %	42.9 %
近畿	大滝ダム	－	－	100.0 %
中国	志津見ダム	－	－	20.0 %

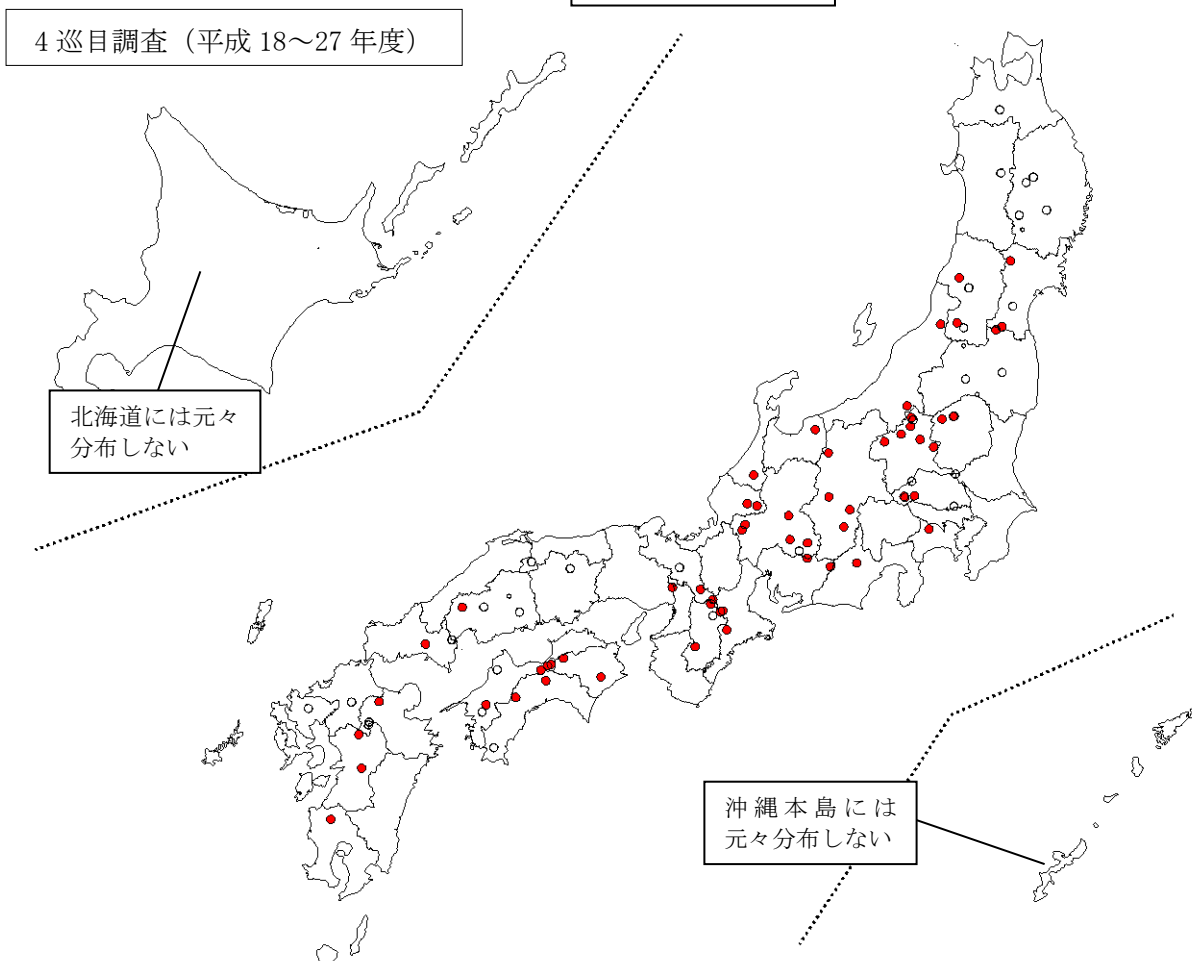
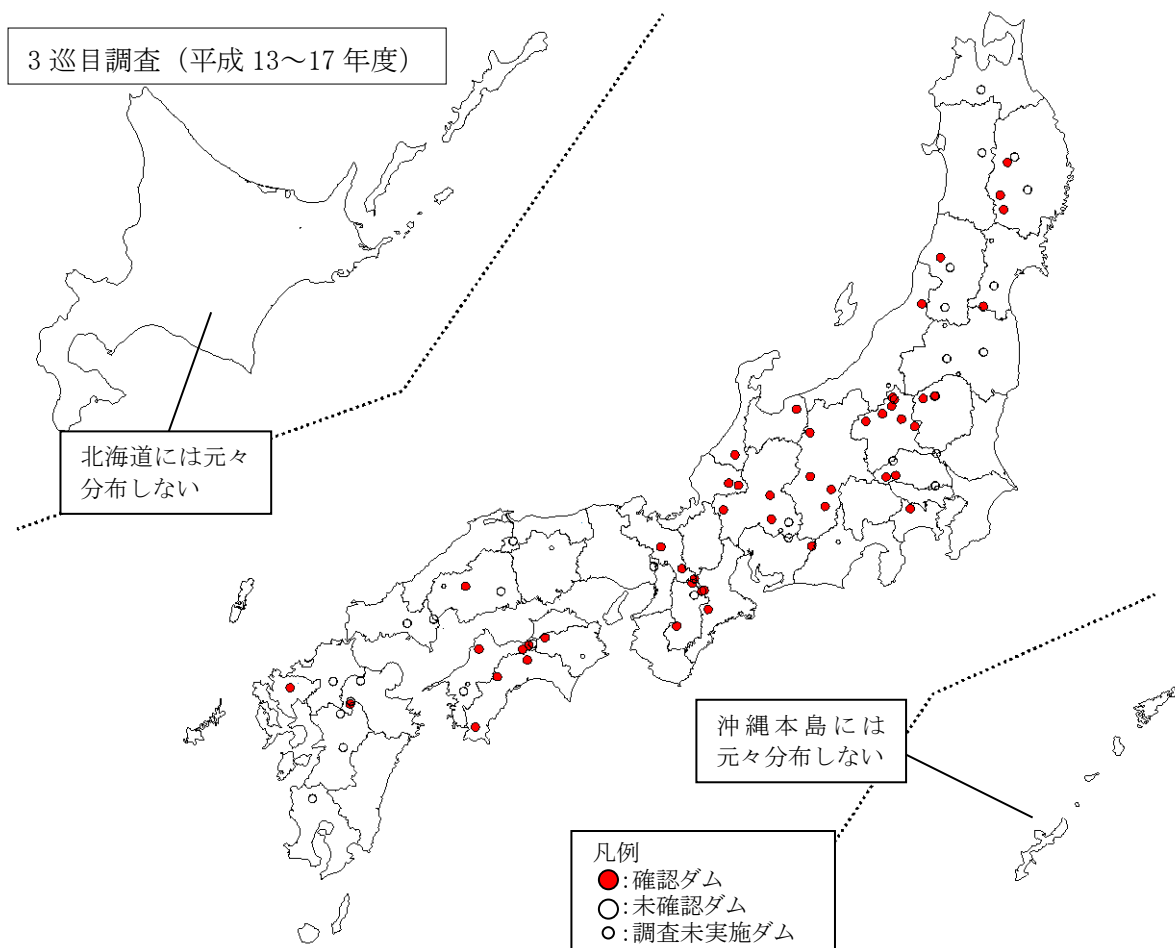
イノシシ(ニホンイノシシ)

地方	ダム名	確認地区割合(%)		
		3巡目	4巡目	5巡目
北陸	大川ダム	0.0 %	0.0 %	57.1 %
近畿	大滝ダム	－	－	60.0 %
中国	志津見ダム	－	－	80.0 %
	尾原ダム	－	－	100.0 %
	弥栄ダム	100.0 %	85.7 %	100.0 %

【凡例】－：未調査

注1) 確認地区割合＝確認地区/全調査地区数として算出。3、4、5巡目の調査地区の位置、数は同じではない。

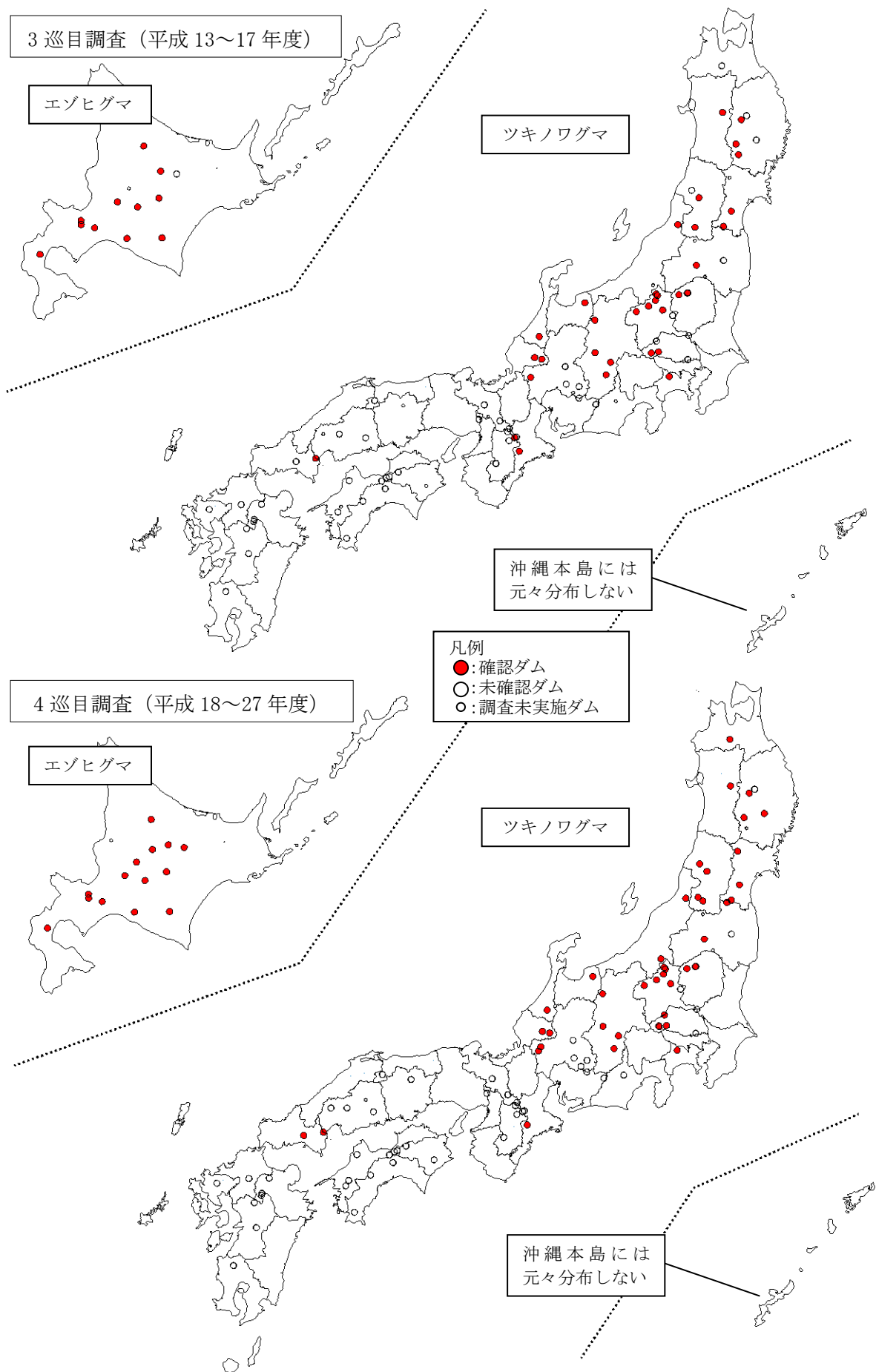




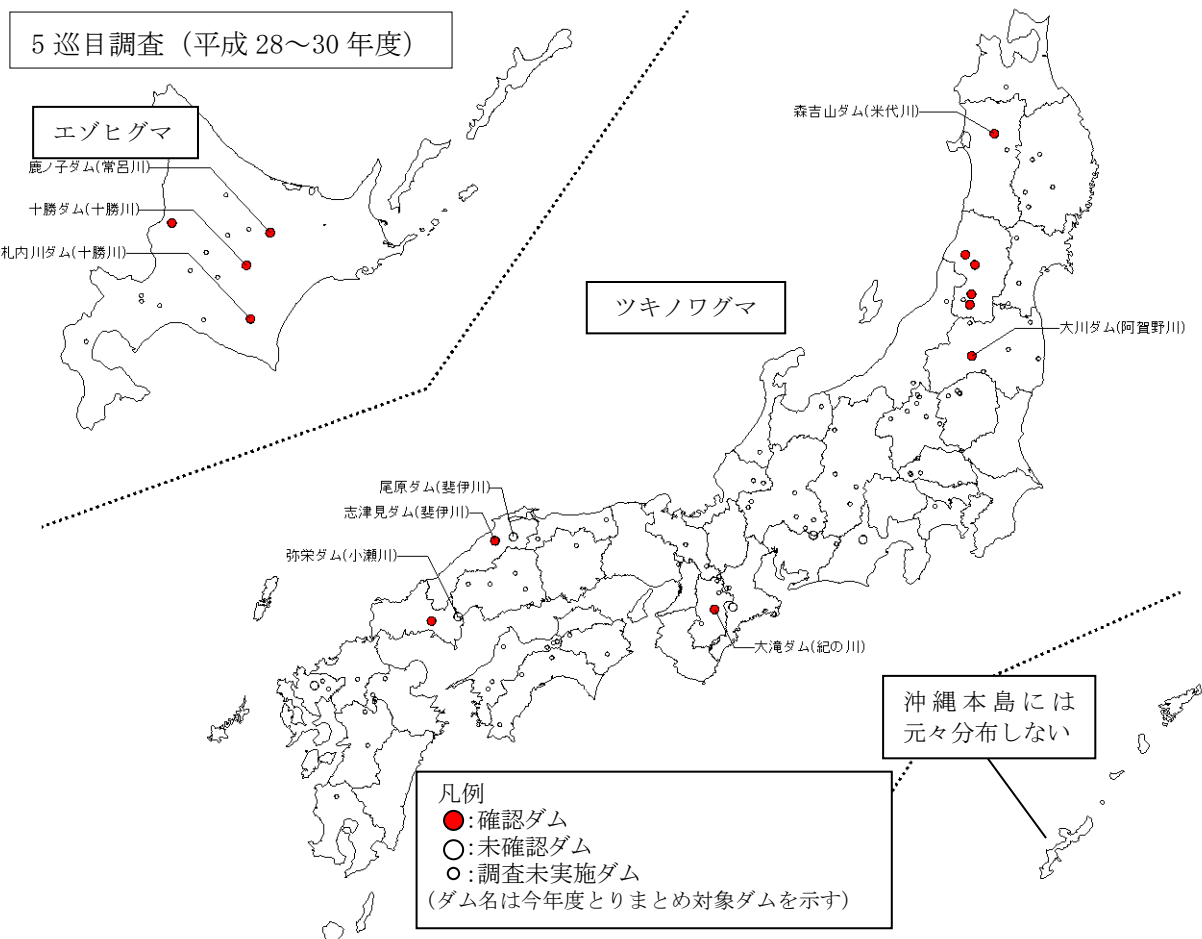
ニホンザルの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）



ニホンザルの確認状況（5 巡目調査）

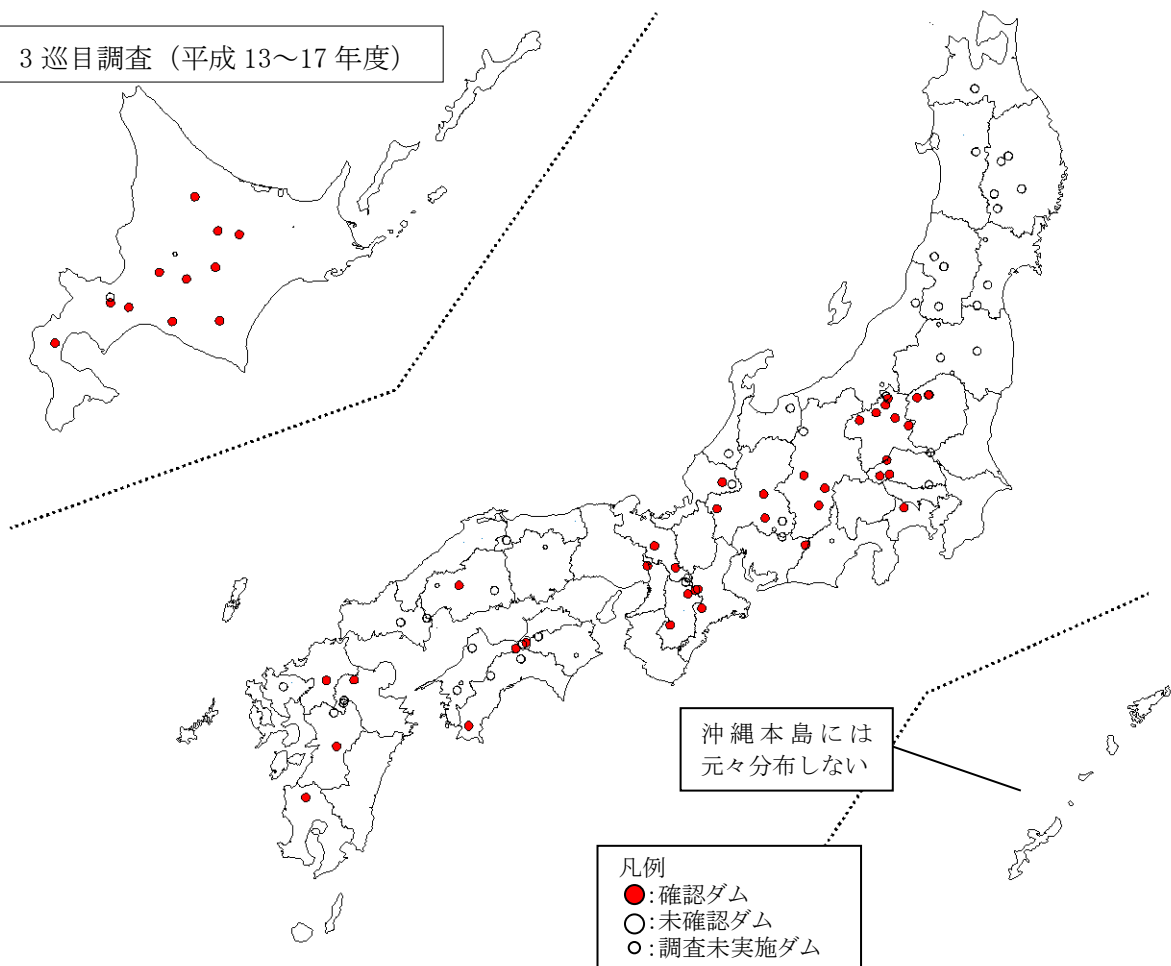


エゾヒグマ・ツキノワグマの確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)

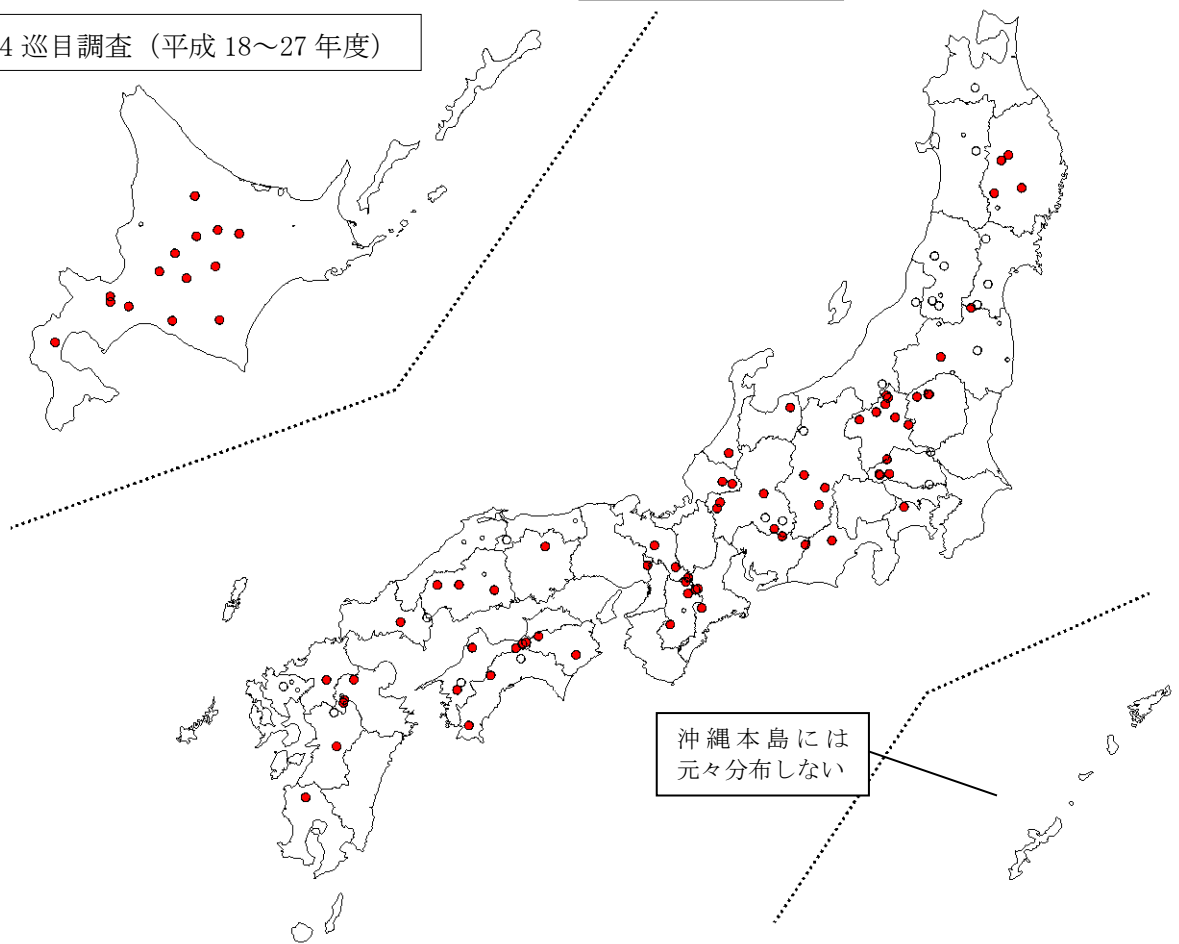


エゾヒグマ・ツキノワグマの確認状況（5 巡目調査）

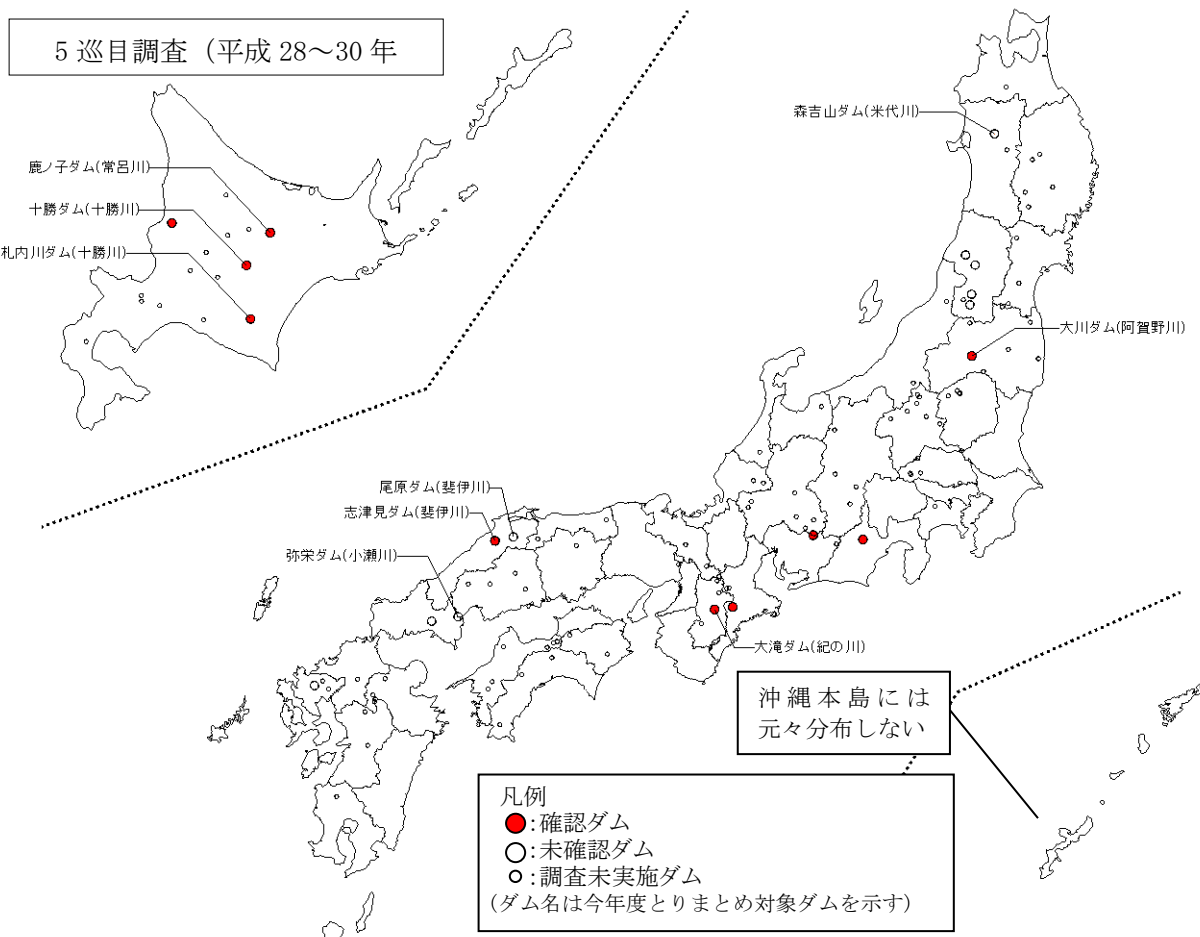
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



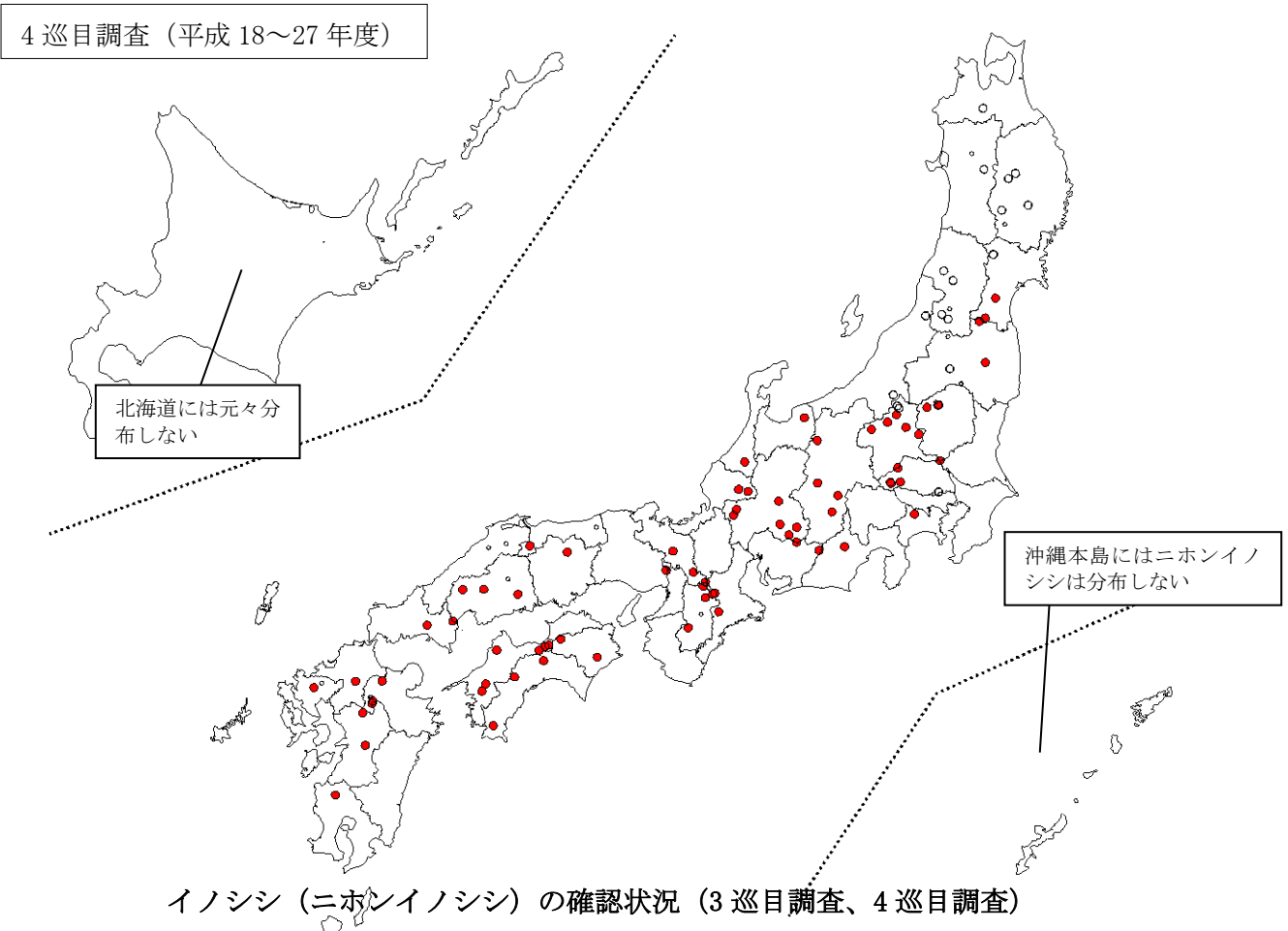
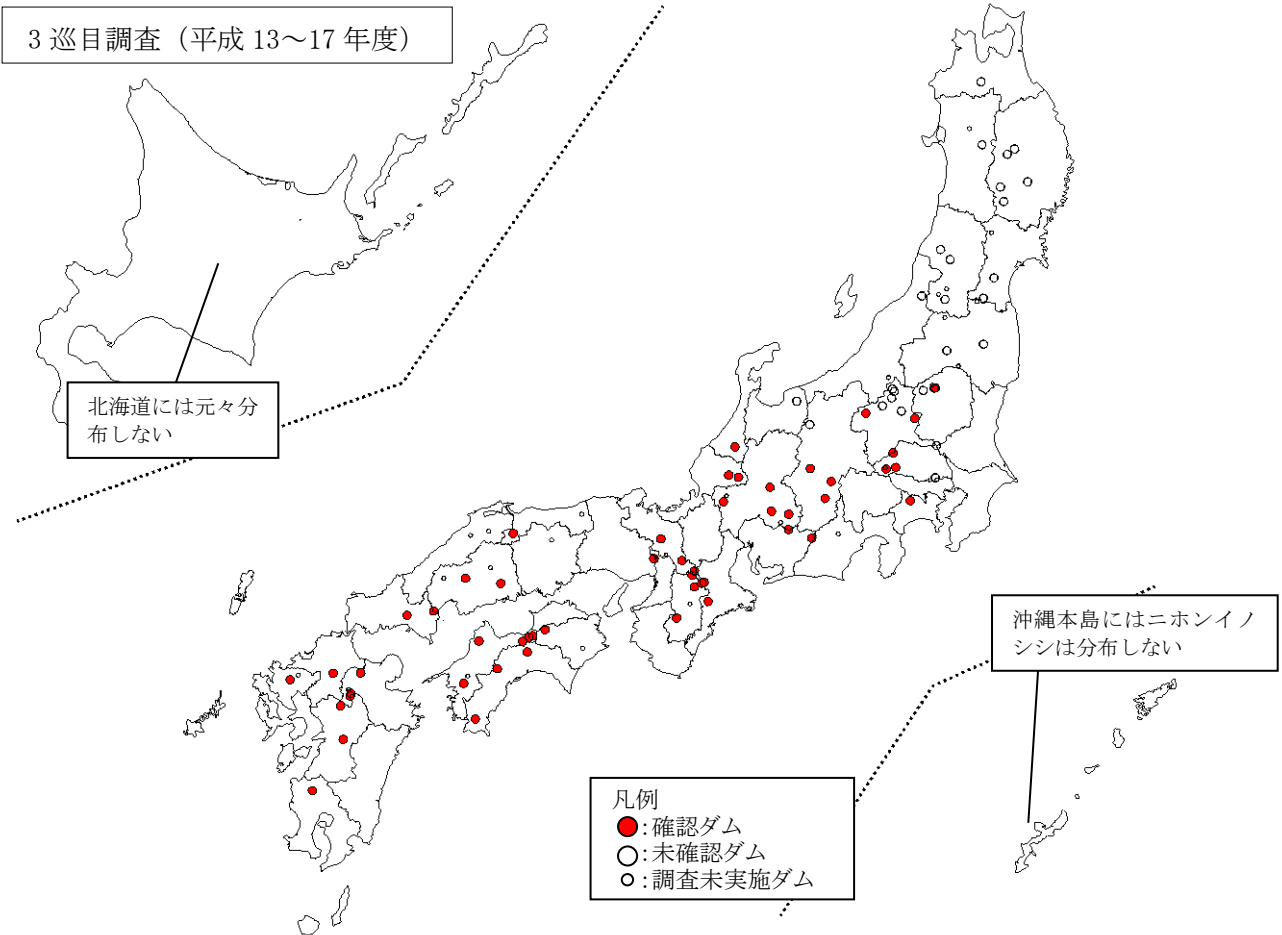
4 巡目調査（平成 18～27 年度）



ニホンジカの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）



ニホンジカの確認状況（5 巡目調査）



(2) カメ目（ミシシippアカミミガメ、クサガメ、ニホンイシガメ、スッポン）の分布状況

・中国の3ダムでミシシippアカミミガメ、クサガメ、ニホンイシガメ、スッポンの4種を確認

近年確認数が減少傾向にあるカメ目について、確認状況を整理しました。今回とりまとめを行った9ダムのうち、ミシシippアカミミガメは1ダム、クサガメは2ダム、ニホンイシガメは3ダム、スッポンは2ダムで確認され、いずれも中国のダムにおける確認でした。なお、近畿の大滝ダムではカメ目を確認されました。

カメ目の確認ダム数の巡目比較

種名	1巡目調査 (80ダム)	2巡目調査 (82ダム)	3巡目調査 (96ダム)	4巡目調査 (109ダム)	5巡目調査 (20ダム)	今回 確認
ミシシippアカミミガメ	5ダム [6.3%]	12ダム [14.6%]	17ダム [17.7%]	24ダム [22.0%]	1ダム [5.0%]	○
クサガメ	8ダム [10.0%]	10ダム [12.2%]	9ダム [9.4%]	18ダム [16.5%]	2ダム [10.0%]	○
ニホンイシガメ	15ダム [23.1%]	13ダム [19.7%]	11ダム [14.3%]	23ダム [26.1%]	6ダム [30.0%]	○
スッポン	3ダム [4.3%]	3ダム [4.2%]	9ダム [10.7%]	11ダム [11.6%]	3ダム [15.0%]	○

※（ ）内は各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を行っていたり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目毎の調査ダム数は同じではない。

※〔 〕内は確認ダム数の対象ダム数に対する%を示す。なお、ニホンイシガメの対象ダムについては、北海道、沖縄を含まない。また、スッポンの対象ダムについては沖縄を含まない。

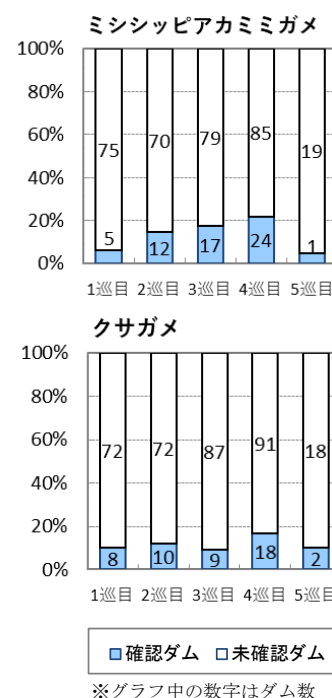
※5巡目調査は調査の途中である。

※生態系被害防止外来種リストには、亜種ミシシippアカミミガメを含む種アカミミガメが掲載されている。

今回とりまとめを行った9ダムでは、カメ目のうち、ミシシippアカミミガメ、クサガメ、ニホンイシガメ、スッポンの4種が確認されました。

ミシシippアカミミガメは、今回とりまとめを行った9ダムのうち中国の弥栄ダムでのみ確認されました。過去の調査結果を見ると、1巡目から4巡目までの調査で確認ダム数及び割合は増加傾向にあり、特に四国と九州で分布が拡大していました。5巡目の調査では、まだ調査をしたダムの数が少ないため、確認ダム数が少ないと考えられます。

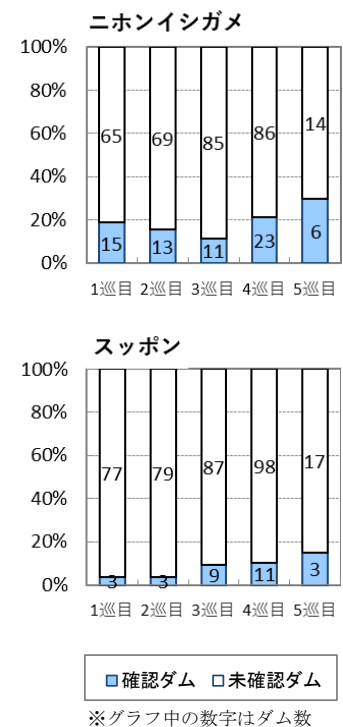
クサガメは、今回取りまとめを行った9ダムのうち中国の尾原ダム、弥栄ダムの2ダムで確認されました。弥栄ダムでは1から4巡目の調査では確認されておらず、今回が初めての確認となっています。過年度の調査結果を見ると、近畿、中国、四国の多数のダムで確認されていました。



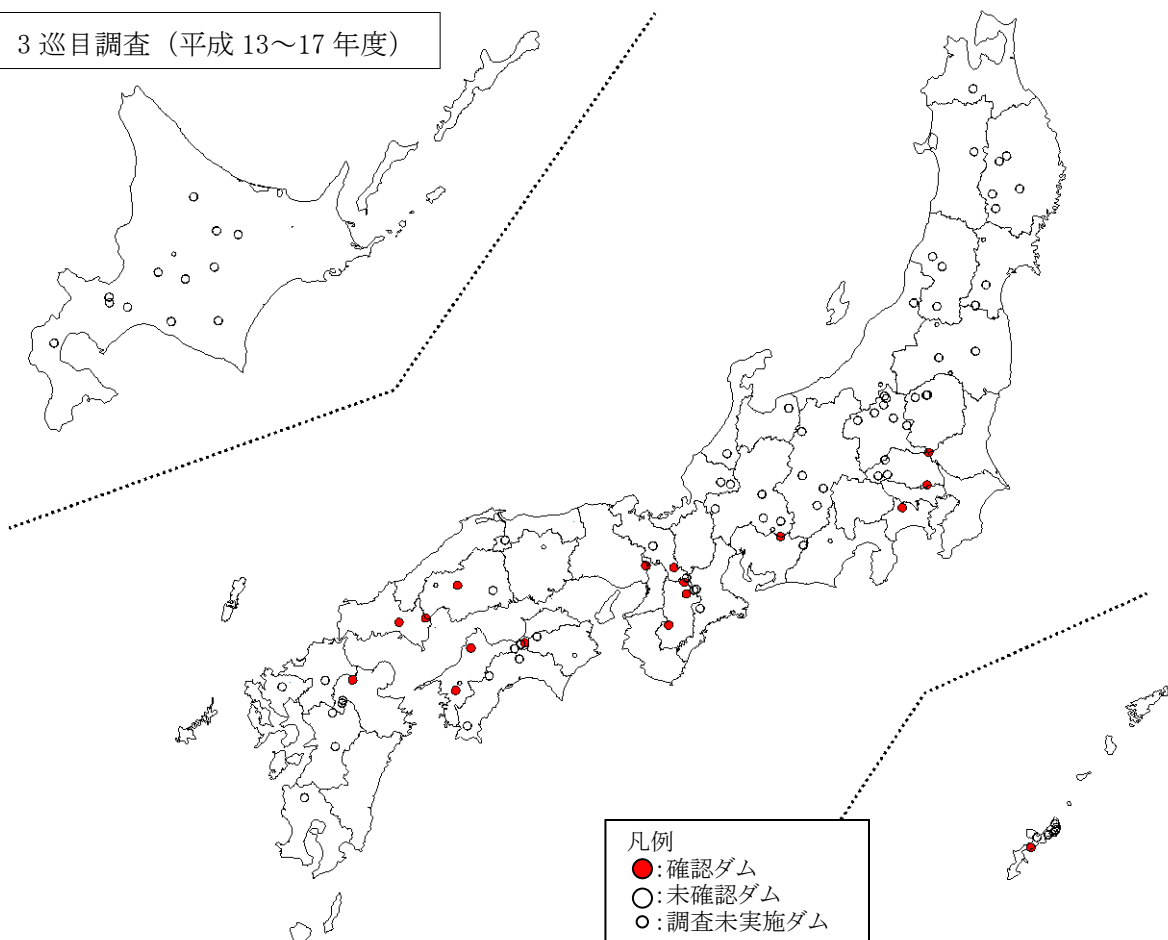
ニホンイシガメは、今回とりまとめを行った 9 ダムのうち中国の尾原ダム、志津見ダム、弥栄ダムの 3 ダムで確認されました。過年度の調査結果を見ると、1 巡目から 3 巡目までは確認ダム数が減少傾向にありましたが、4 巡目の調査では確認ダム数が大きく増加しました。

スッポンは、今回取りまとめを行った 9 ダムのうち中国の尾原ダム、志津見ダムの 2 ダムで確認されました。過年度の調査結果を見ると、2 巡目から 4 巡目までで確認ダム数が増加傾向にありました。スッポンは、外来種のシナスッポン等が分布を拡大している可能性もあるため、今後の確認状況に注意する必要があります。

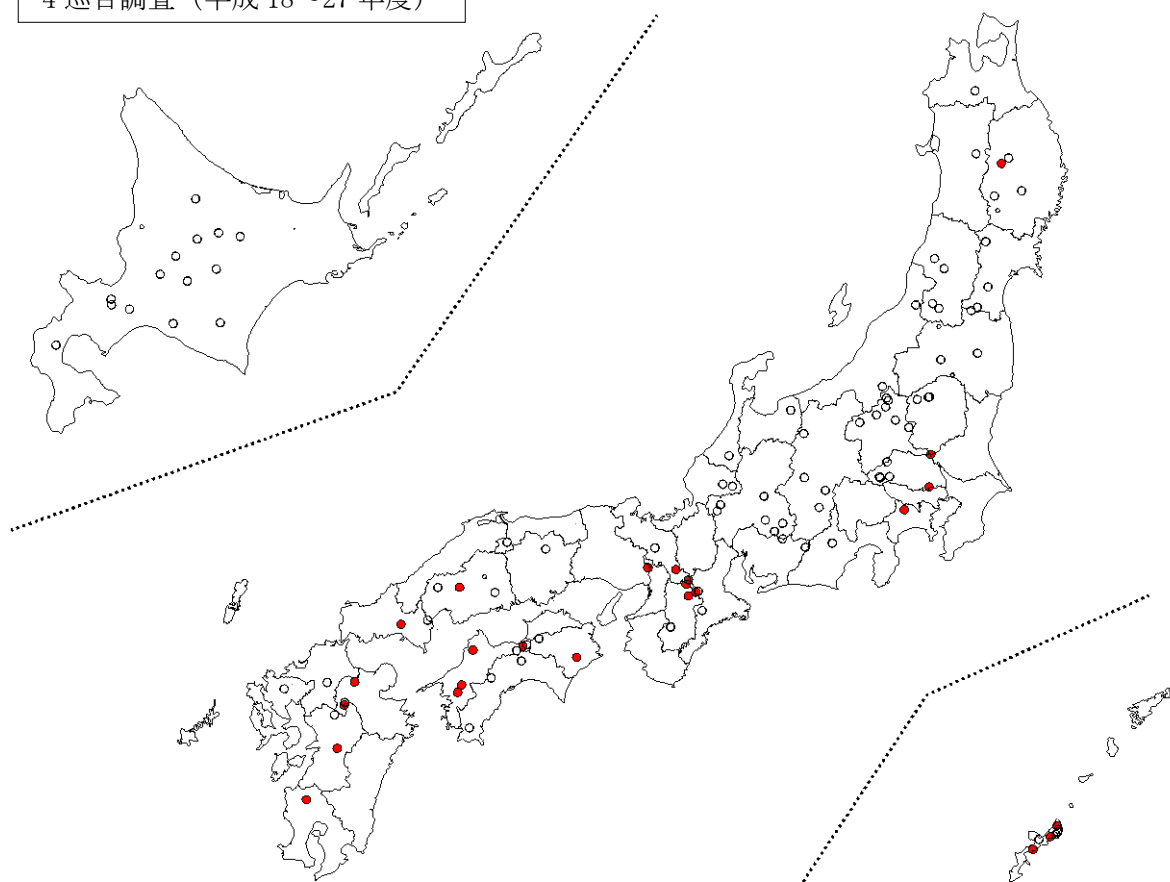
外来種であるミシシippアカミミガメ等の増加により、日本在来種のニホンイシガメの減少が懸念されています。また、調査マニュアルの改定によりカメトラップの設置が任意になったことも、カメ目の確認数が減少傾向にある一因の可能性がありま



3 巡目調査（平成 13～17 年度）



4 巡目調査（平成 18～27 年度）



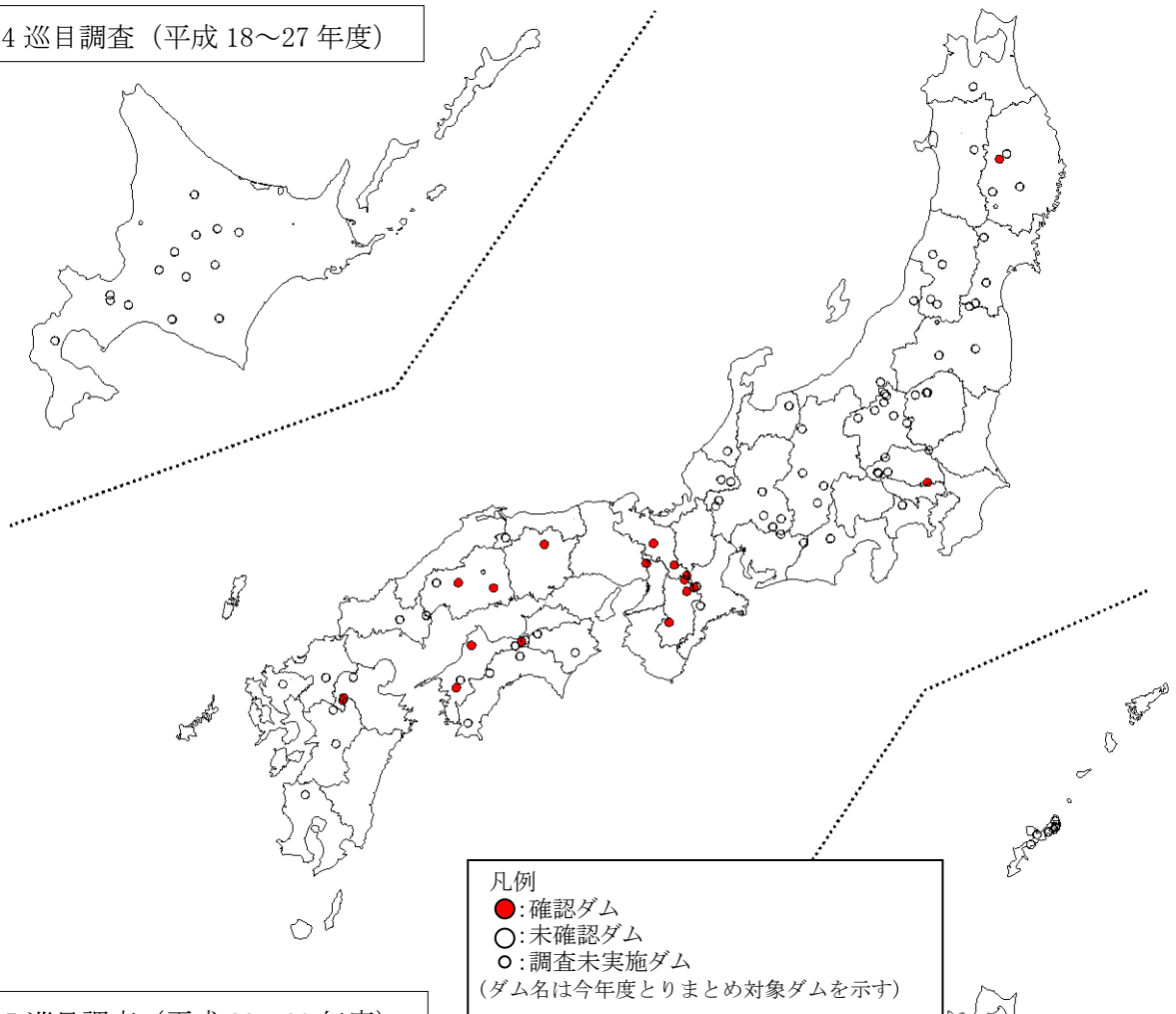
ミシシippアカミガメの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

※ミシシippアカミガメは全国的に分布拡大している種であるため、過年度の確認状況もあわせて示した。



ミシシippアカミミガメ（生態系被害防止リスト掲載種）の確認状況（5 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～27 年度）

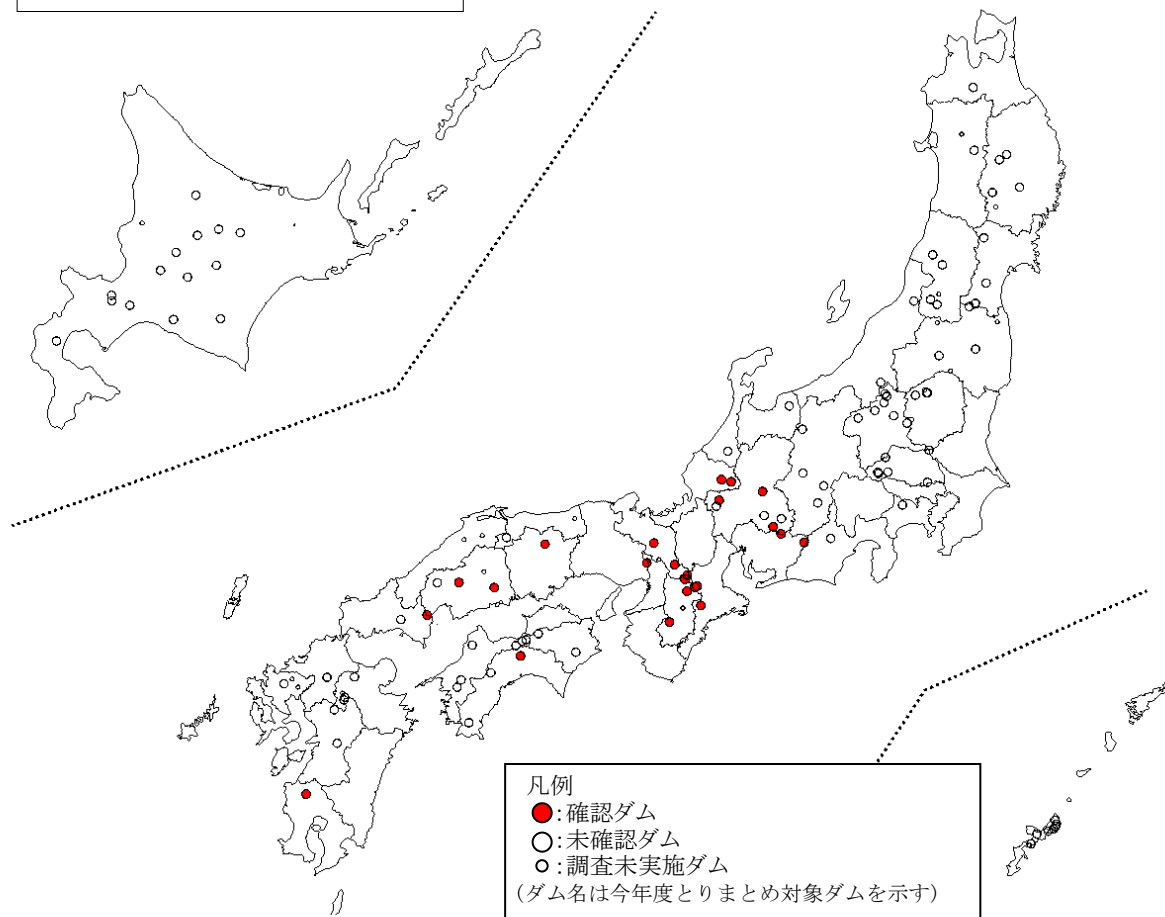


5 巡目調査（平成 28～30 年度）

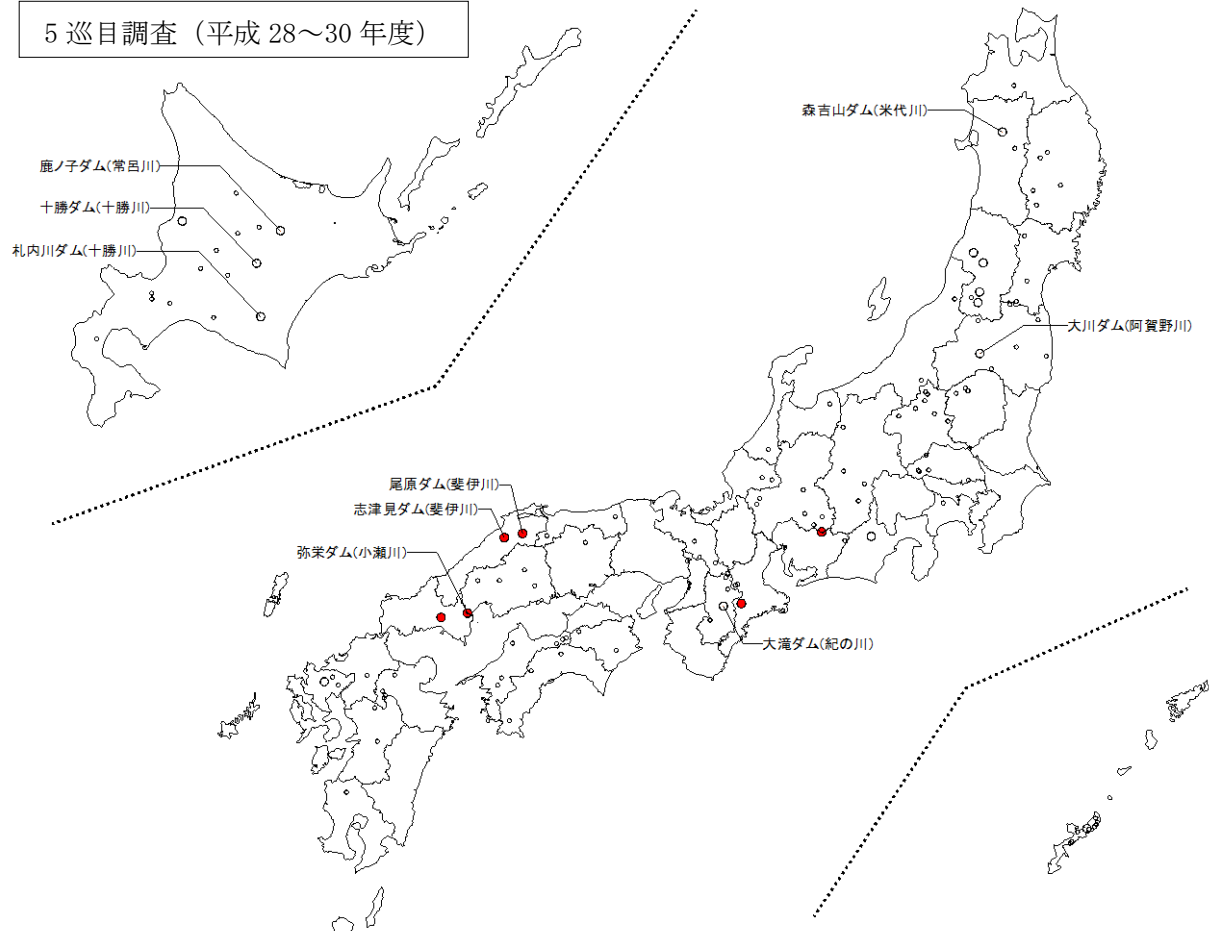


クサガメの確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～27 年度）

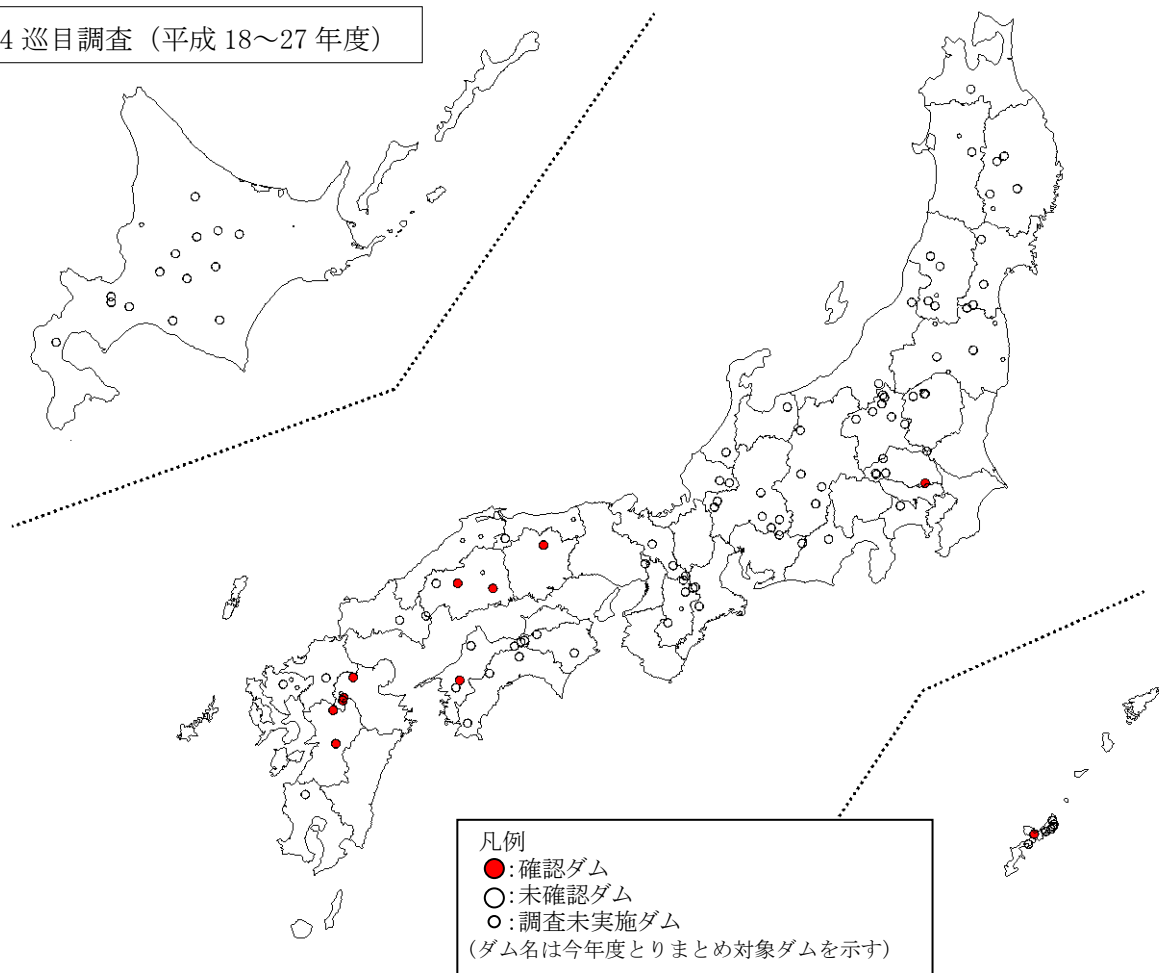


5 巡目調査（平成 28～30 年度）



ニホンイシガメの確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～27 年度）



5 巡目調査（平成 28～30 年度）



スポンの確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

6.4 ダム管理との関わり（ダム湖周辺の生物相）

(1) ダム湖周辺の自然度・健全度

ここでは、ダム湖周辺の生態系について、溪流環境の指標となる両生類及び哺乳類の確認状況を整理しました。ダム湖周辺は良好な自然が残されている場所が多く、ダム管理を行っていく上でも多様な自然に配慮していく必要があります。

なお、1 巡目から 5 巡目調査では、調査の範囲や時期、回数等の条件が必ずしも同一ではありません。また、移動性の高い種や、限られた季節にしかみられない種もあることから、1 巡目から 5 巡目調査の比較は同一ダムでの消長を示すものではなく、全国的な傾向を把握するための参考です。

1) 溪流環境の指標となる両生類・哺乳類の確認状況

・溪流環境の指標となる両生類 7 種 1 属のうち、3 ダムで計 2 種 1 属を確認

ダム湖周辺の溪流環境の指標となる両生類 7 種等及び哺乳類のカワネズミの確認状況を整理しました。両生類では、今回とりまとめた 9 ダムのうち、北海道を除く 6 ダムで、カジカガエルが確認されました。また、カワネズミは東北の森吉山ダムで確認され、北陸の大川ダムでは確認されなくなりました。

ダム周辺に生息する溪流性の両生類は、多くのダムにおいて生息可能な環境が維持されていると考えられます。

溪流環境の指標となる両生類の確認ダム数の巡目比較

種名	1 巡目調査 (80 ダム)	2 巡目調査 (82 ダム)	3 巡目調査 (96 ダム)	4 巡目調査 (109 ダム)	5 巡目調査 (20 ダム)	今回 確認
ブチサンショウウオ・ コガタブチサンショウウオ※	2/65 ダム [3.1%]	9/66 ダム [13.6%]	8/77 ダム [10.4%]	14/88 ダム [15.9%]	5/15 ダム [33.3%]	○
ヒダサンショウウオ	9/65 ダム [13.8%]	9/66 ダム [13.6%]	10/77 ダム [13.0%]	14/88 ダム [15.9%]	0/15 ダム [0.0%]	
ハコネサンショウウオ属※	16/65 ダム [24.6%]	17/66 ダム [25.8%]	24/77 ダム [31.2%]	25/88 ダム [28.4%]	5/15 ダム [33.3%]	○
ハナサキガエル	5/5 ダム [100%]	5/6 ダム [83.3%]	5/7 ダム [71.4%]	5/7 ダム [71.4%]	1/1 ダム [100%]	
ナミエガエル	5/5 ダム [100%]	4/6 ダム [66.7%]	5/7 ダム [71.4%]	5/7 ダム [71.4%]	1/1 ダム [100%]	
オキナワイシカワガエル	4/5 ダム [80.0%]	5/6 ダム [83.3%]	4/7 ダム [57.1%]	5/7 ダム [71.4%]	0/1 ダム [0.0%]	
カジカガエル	55/65 ダム [84.6%]	57/66 ダム [86.4%]	64/77 ダム [83.1%]	79/88 ダム [89.8%]	15/15 ダム [100%]	○

※巡目調査の下（ ）は、各巡目で調査をしていたダムの数を示す。各巡目に該当する年次に完成していないダムや調査未実施の巡目があるダムは、各巡目の計数に含まれていないため、巡目毎の調査実施ダム数は同じではない。

※〔 〕内は確認ダム数の対象ダム数に対する%を示す。対象ダム数は、各種の分布域を考慮したダム数であるため種毎に異なる。

※ブチサンショウウオ、コガタブチサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ属、カジカガエルの対象ダムは、北海道、沖縄を含まない。

※コガタブチサンショウウオは 4 巡目調査の途中よりブチサンショウウオから独立した種であり、以前は同じ種とみなされていたため、ブチサンショウウオとあわせて示している。なお、ブチサンショウウオは 2019 年にチュウゴクサンショウウオ（中国地方の集団）とチクシブチサンショウウオ（九州北東部の集団）が新種として独立し 3 種となった。また、ハコネサンショウウオ属についても、以前ハコネサンショウウオとされていた種より複数の種に分かれており、過年度結果では区別できないため、あわせて示している。

※ハナサキガエル、ナミエガエル、オキナワイシカワガエルの対象ダムは、沖縄のみである。

溪流環境の指標となる哺乳類の確認ダム数の巡目比較

種名	1 巡目調査 (80 ダム)	2 巡目調査 (82 ダム)	3 巡目調査 (96 ダム)	4 巡目調査 (109 ダム)	5 巡目調査 (20 ダム)	今回 確認
カワネズミ	9/58 ダム [15.5%]	4/59 ダム [6.8%]	14/68 ダム [20.6%]	20/77 ダム [26.0%]	3/15 ダム [20.0%]	○

※巡目調査の下の（ ）は、各巡目で調査をしていたダムの数を示す。各巡目に該当する年次に完成していないダムや調査未実施の巡目があるダムは、各巡目の計数に含まれていないため、巡目毎の調査実施ダム数は同じではない。

※〔 〕内は確認ダム数の対象ダム数に対する%を示す。

※カワネズミの対象ダムは、北海道、四国、沖縄を含まない。

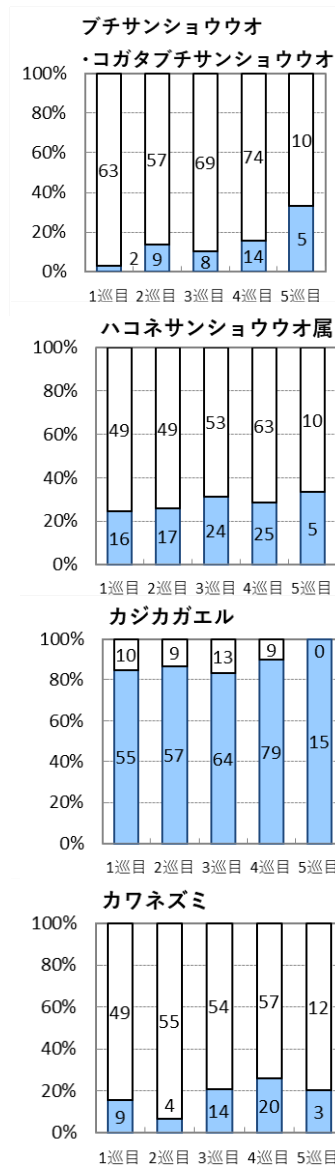
今回とりまとめを行った9ダムのうち、北海道を除く6ダムにおいて、溪流環境の指標となる両生類及び哺乳類を確認しました。今回確認されたのは、溪流環境を指標する種として選定した種のうち、両生類ではブチサンショウウオ、コガタブチサンショウウオ、ハコネサンショウウオ属、カジカガエルの4種、哺乳類ではカワネズミの1種です。

コガタブチサンショウウオは近畿の大滝ダムで確認されました。ブチサンショウウオは中国の志津見ダムと弥栄ダムの2ダムで確認されました。ブチサンショウウオは2019年にブチサンショウウオ（長崎県、佐賀県などの集団）、チュウゴクブチサンショウウオ（中国地方の集団）、チクシブチサンショウウオ（九州北東部の集団）の3種に分けられました。コガタブチサンショウウオは本州南部、四国、九州地方の山地に分布し、長い間ブチサンショウウオと同種とされていましたが、遺伝的交流がないことから別種とされました。生態はいずれも似ており、溪流付近の森林に生息し、産卵は溪流の細い流れや伏流水中などで行われます。

ハコネサンショウウオ属では、東北の森吉山ダムでキタオウシュウサンショウウオが、北陸の大川ダムでハコネサンショウウオとバンダイハコネサンショウウオが確認されました。ハコネサンショウウオ属は四国や東北などに分布する種で、従来一種とされていたものが、近年の研究により複数の種にわかれしました。キタオウシュウサンショウウオは東北地方北部に、バンダイハコネサンショウウオは東北地方南部、茨城県北東部、新潟県北部に、ハコネサンショウウオは茨城県北西部、新潟県中北部、和歌山県、山口県に囲まれた本州に分布します。なお生態はいずれも似ており、産卵は溪流の岩の隙間や下で行われます。

カジカガエルは今年度調査した9ダムのうち、北海道を除く6ダムで確認されました。過年度の調査結果でも、多くのダムで確認されており、溪流性の両生類としては最もよくみられる種だと考えられます。本種は本州・四国・九州に分布し、比較的川幅が広くて開けた溪流に棲み、流水部の石の下に卵を産みつけます。カジカガエルのダム湖周辺の経年的な状況をみると、1巡目から調査が行われている北陸の大川ダムと中国の弥栄ダムでは概ね継続的に確認されていました。

カワネズミは、今回とりまとめを行った北海道を除く6ダムのうち、東北の森吉山ダムで確認されました。森吉山ダムは今回が

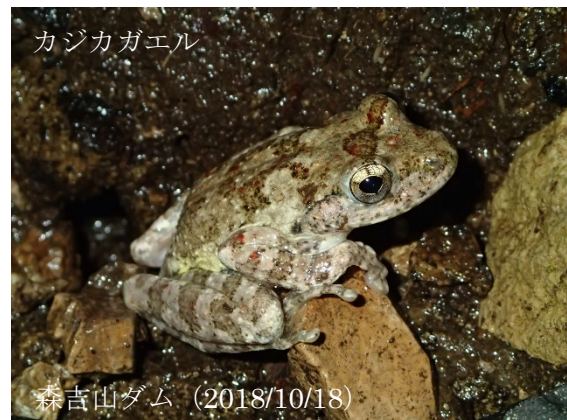


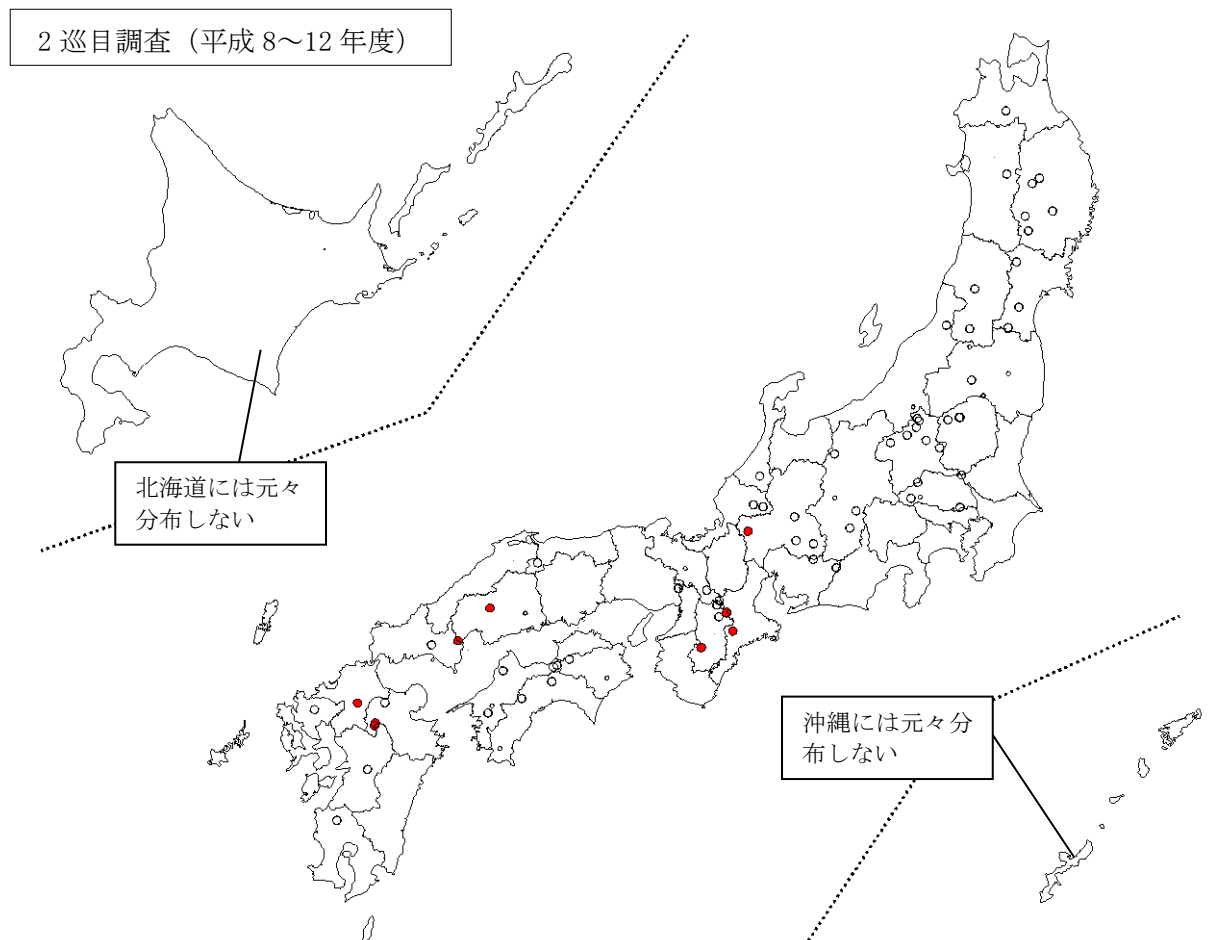
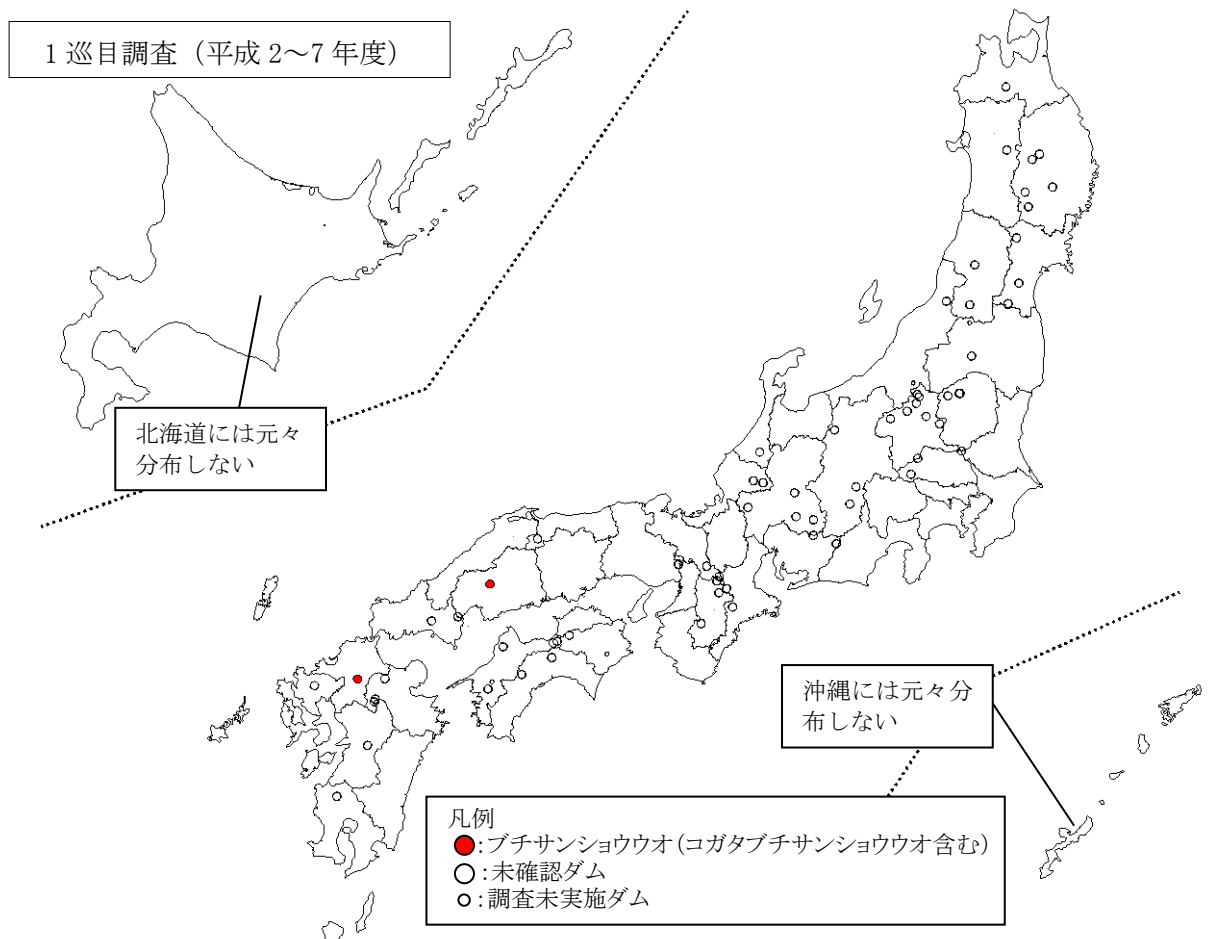
■ 確認ダム □ 未確認ダム

※グラフ中の数字はダム数

初めての調査でした。北陸の大川ダムでは、3、4巡目調査では確認されたものの、5巡目調査では確認されませんでした。カワネズミは、山間部の岩や倒木の多い溪流の近くで生息し、小魚、水生昆虫、サワガニ等を捕食します。生息が確認された森吉山ダム周辺においては、カワネズミが生息できるような溪流環境があると考えられます。一方、生息が確認されなかったダムがありますが、これは溪流環境が減少した、又は調査方法の違いが影響している可能性が考えられます。

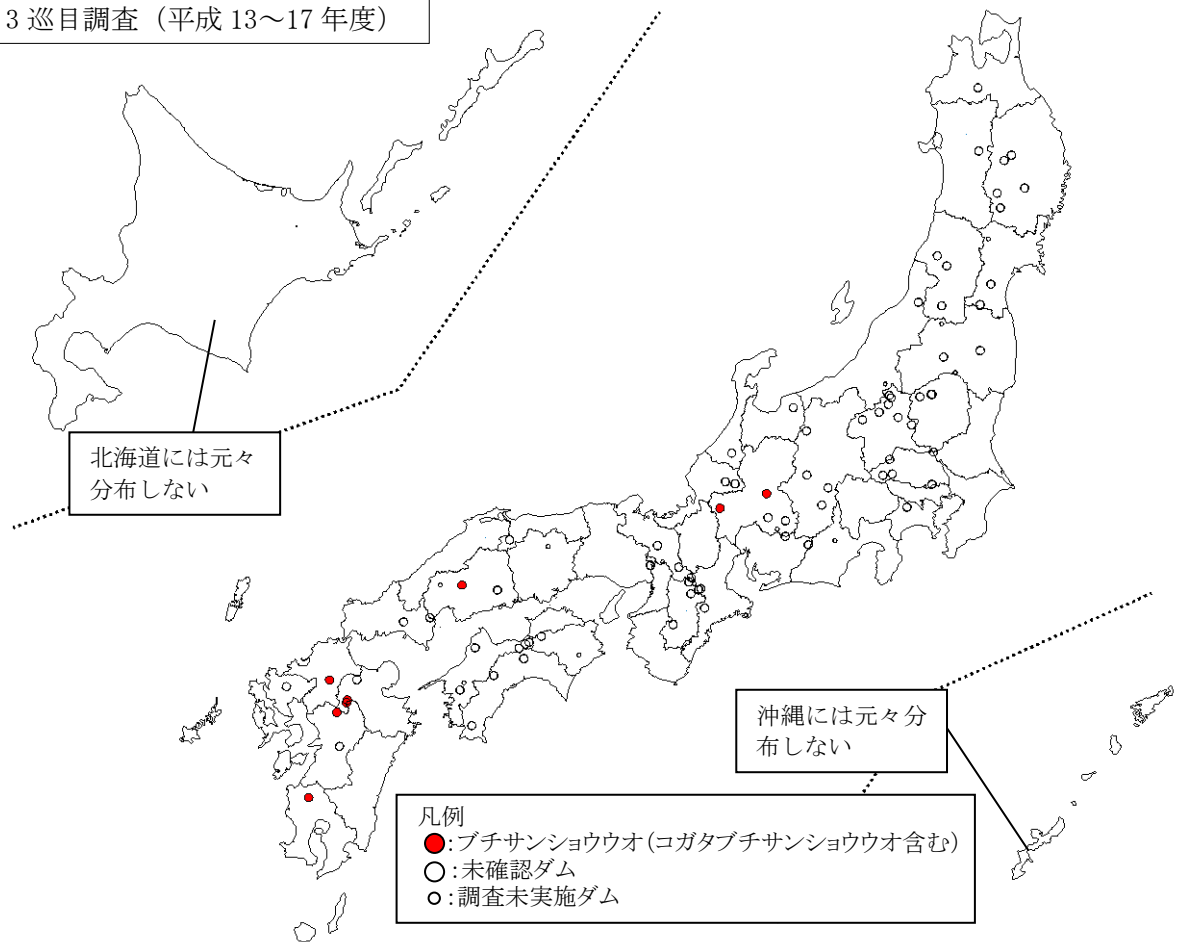
以上の確認状況より、ダム周辺に生息する溪流性の両生類は、多くのダムにおいて生息可能な環境が維持されていると考えられます。



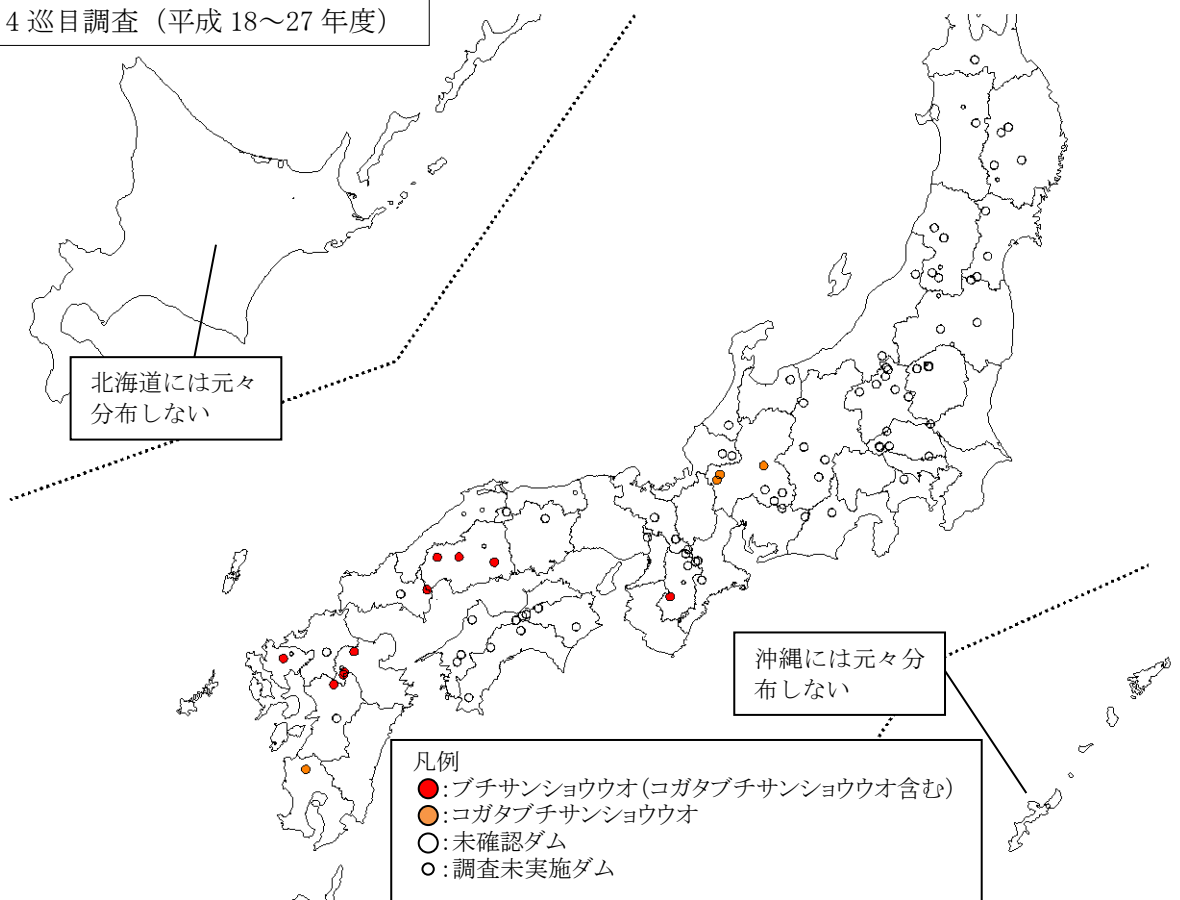


ブチサンショウウオ・コガタブチサンショウウオの確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）
 ※ブチサンショウウオ・コガタブチサンショウウオは近年複数種にわかれたため、過年度の確認状況もあわせて示した。

3 巡目調査（平成 13～17 年度）



4 巡目調査（平成 18～27 年度）

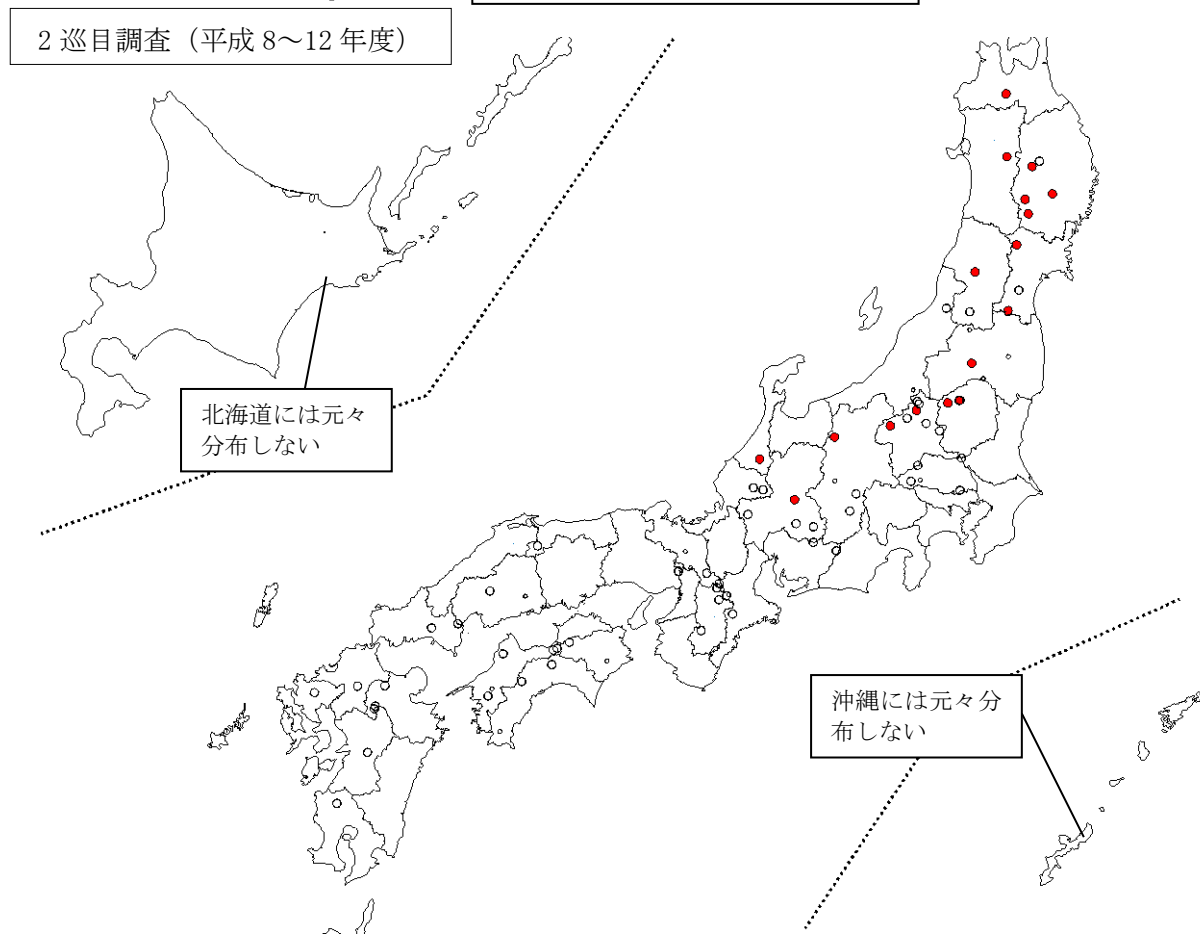
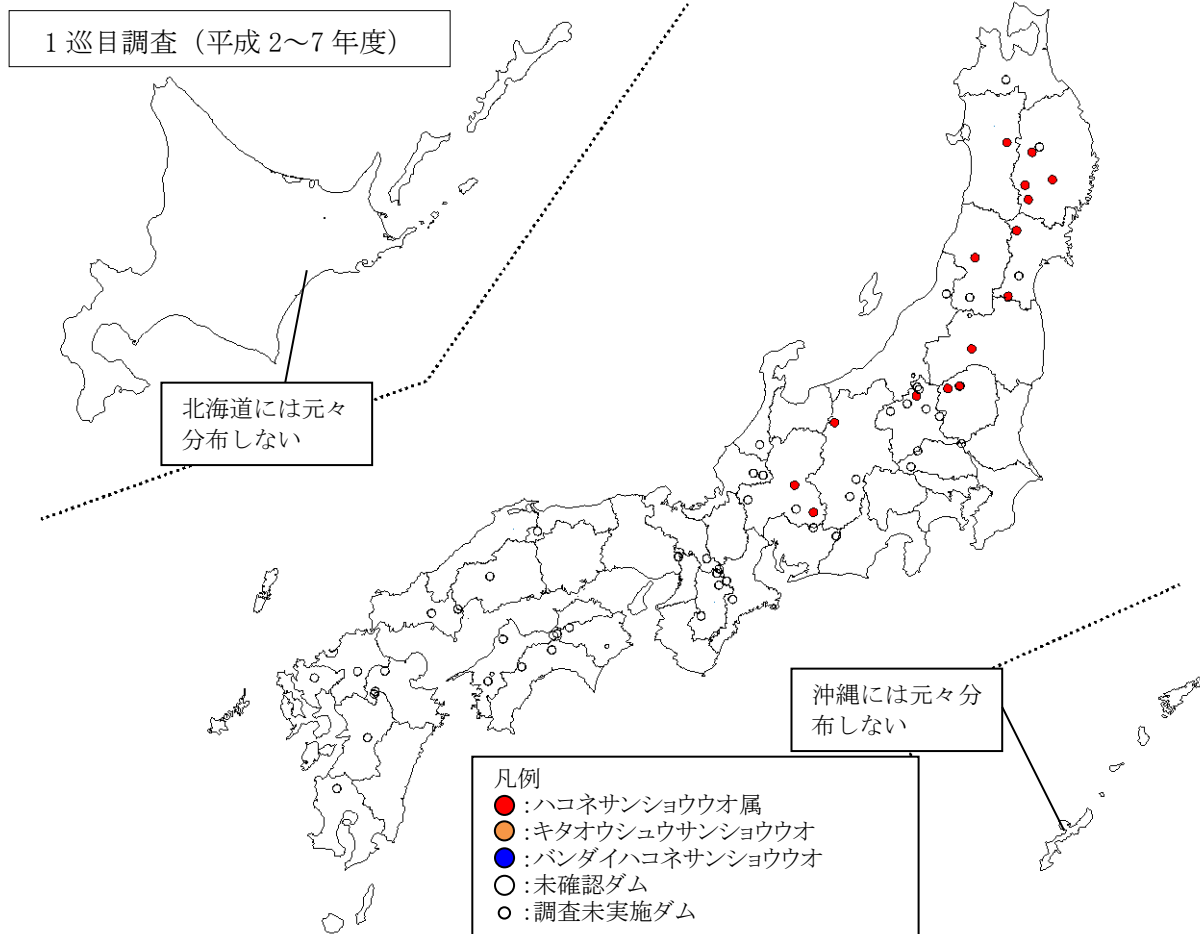


ブチサンショウウオ・コガタブチサンショウウオの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）
 ※ブチサンショウウオ・コガタブチサンショウウオは近年複数種にわかれたため、過年度の確認状況もあわせて示した。



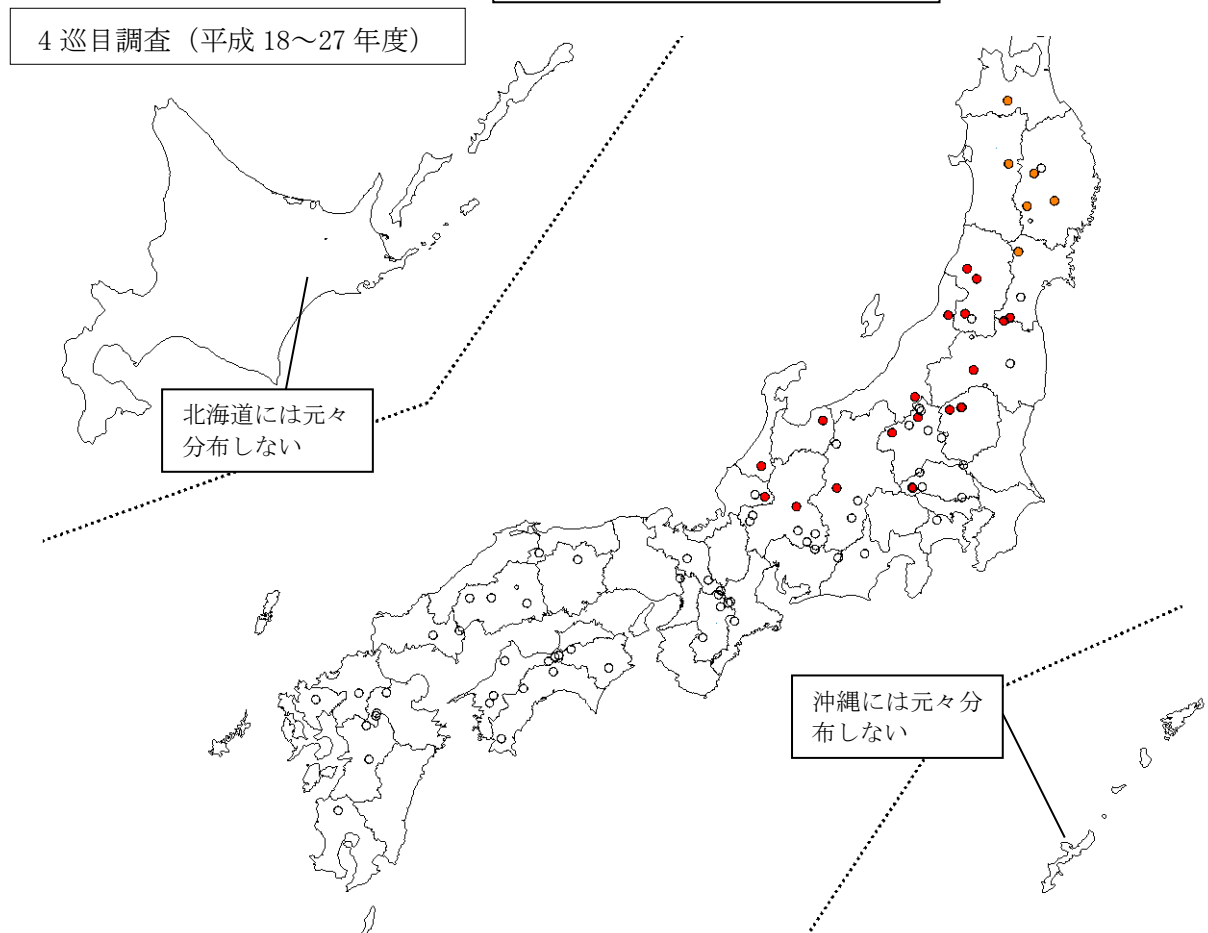
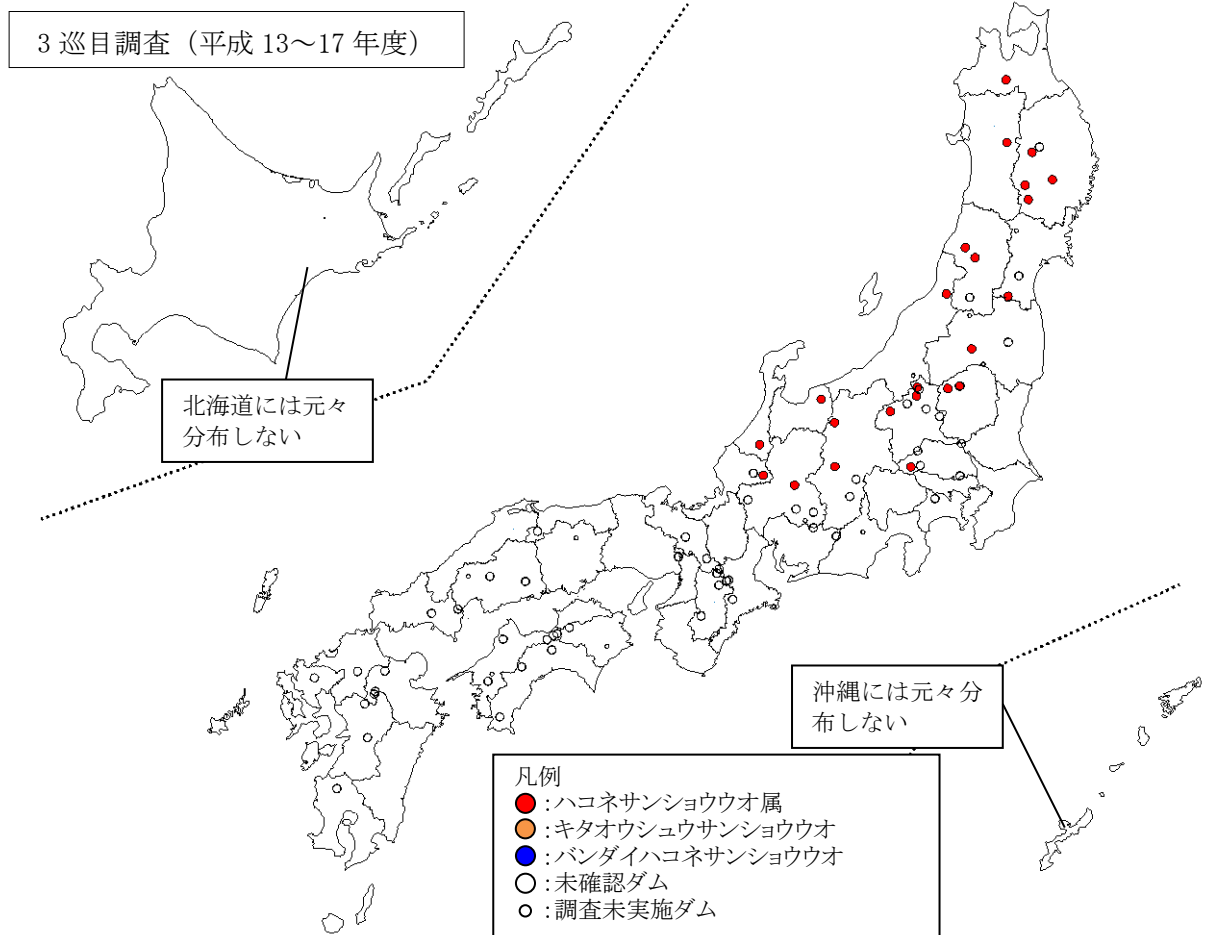
ブチサンショウウオ・コガタブチサンショウウオの確認状況（5 巡目調査）

※ブチサンショウウオ・コガタブチサンショウウオは近年複数種にわかれたため、過年度の確認状況もあわせて示した。



ハコネサンショウウオ属の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

※ハコネサンショウウオ属は従来一種とされていたものが近年複数種にわかれたため、過年度の確認状況もあわせて示した。



ハコネサンショウウオ属の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

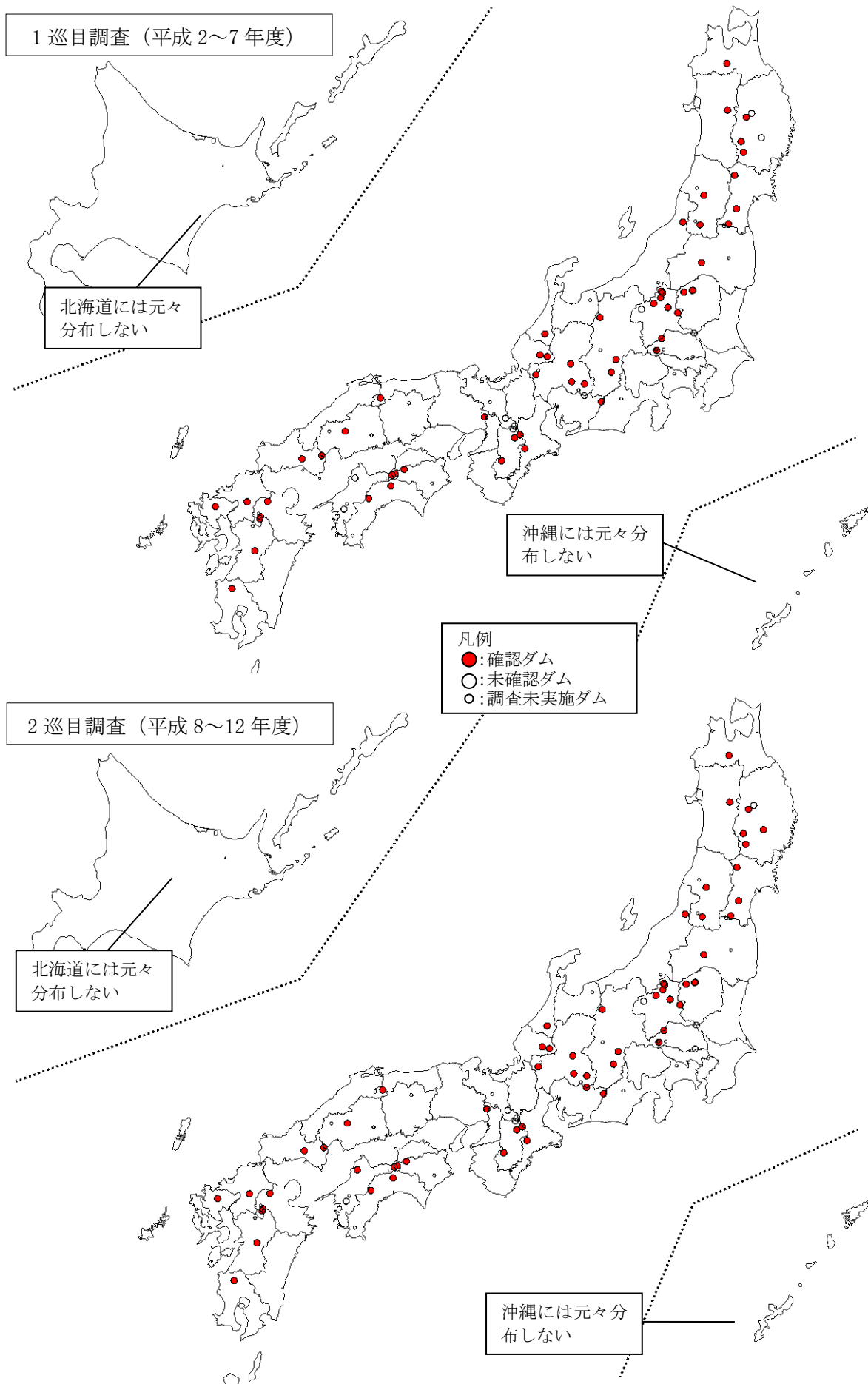
※ハコネサンショウウオ属は従来一種とされていたものが近年複数種にわかれたため、過年度の確認状況もあわせて示した。

5 巡目調査（平成 28～30 年度）



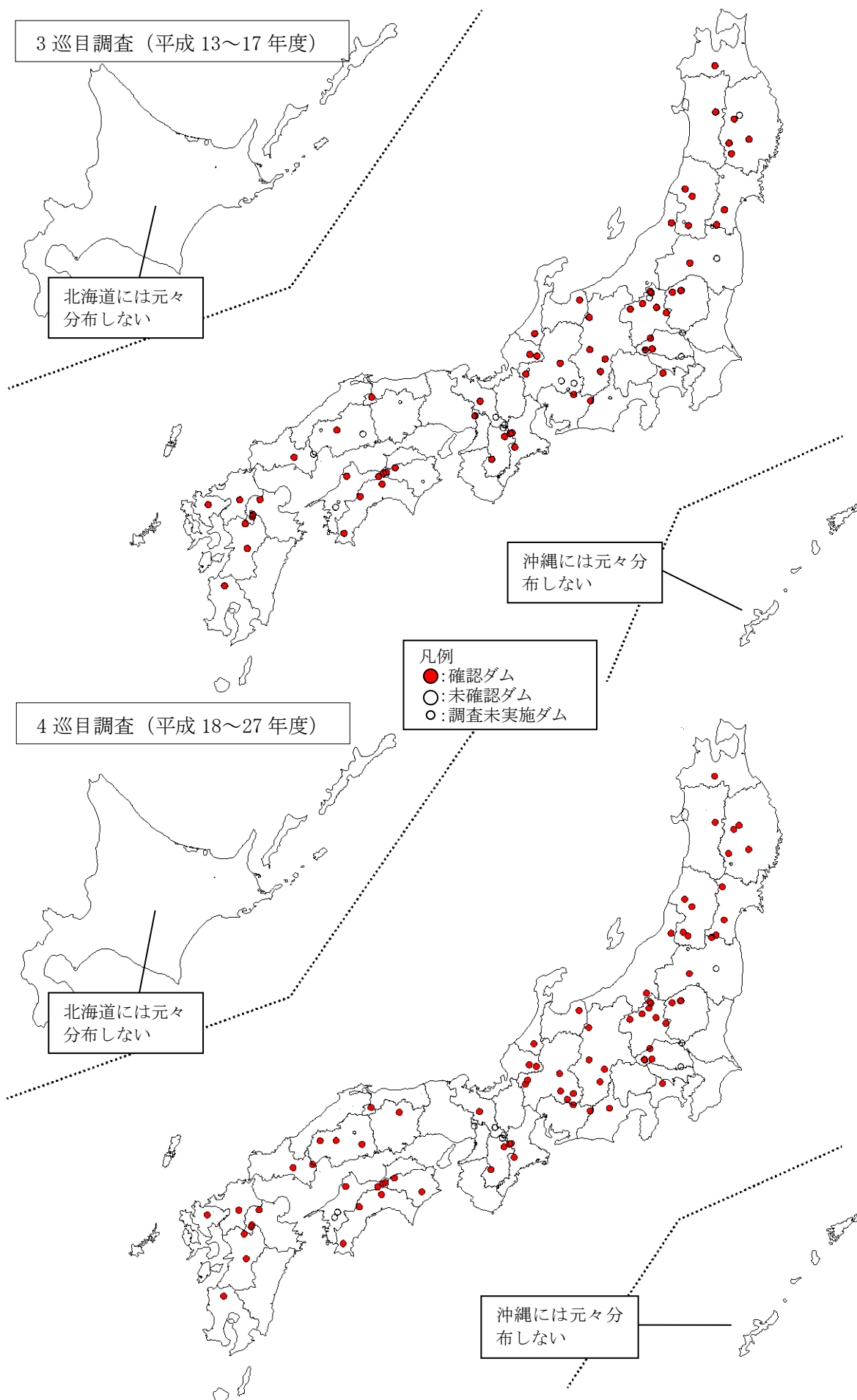
ハコネサンショウウオ属の確認状況 (5巡目調査)

※ハコネサンショウウオ属は従来一種とされていたものが近年複数種にわかれたため、過年度の確認状況もあわせて示した。



カジカガエルの確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)

※カジカガエルは全国的に分布している種であるため、過年度の確認状況もあわせて示した。



カジカガエルの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

※カジカガエルは全国的に分布している種であるため、過年度の確認状況もあわせて示した。

5 巡目調査（平成 28～30 年度）

北海道には元々
分布しない

森吉山ダム(米代川)

大川ダム(阿賀野川)

尾原ダム(斐伊川)

志津見ダム(斐伊川)

弥栄ダム(小瀬川)

大滝ダム(紀の川)

沖縄には元々分
布しない

凡例

●:確認ダム

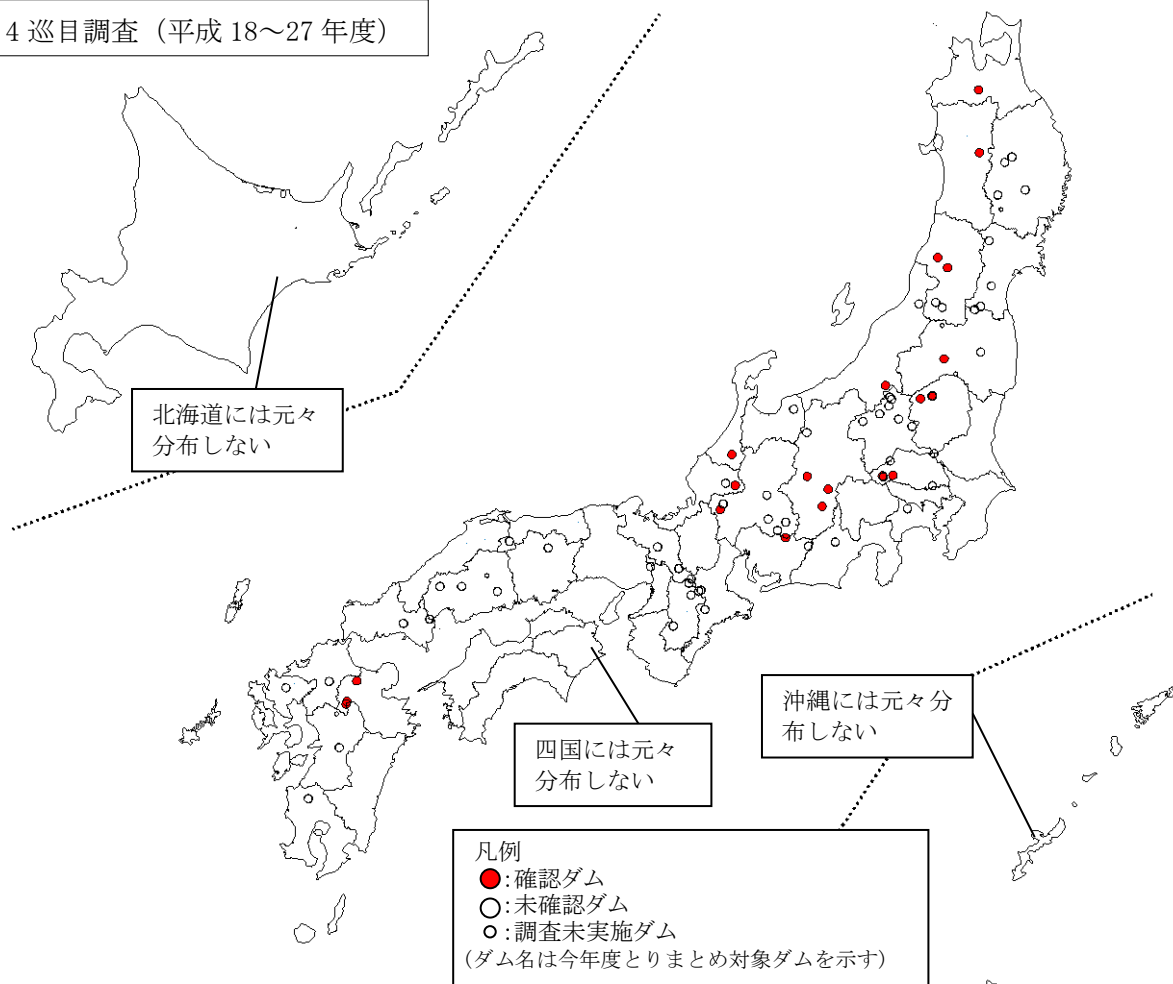
○:未確認ダム

○:調査未実施ダム

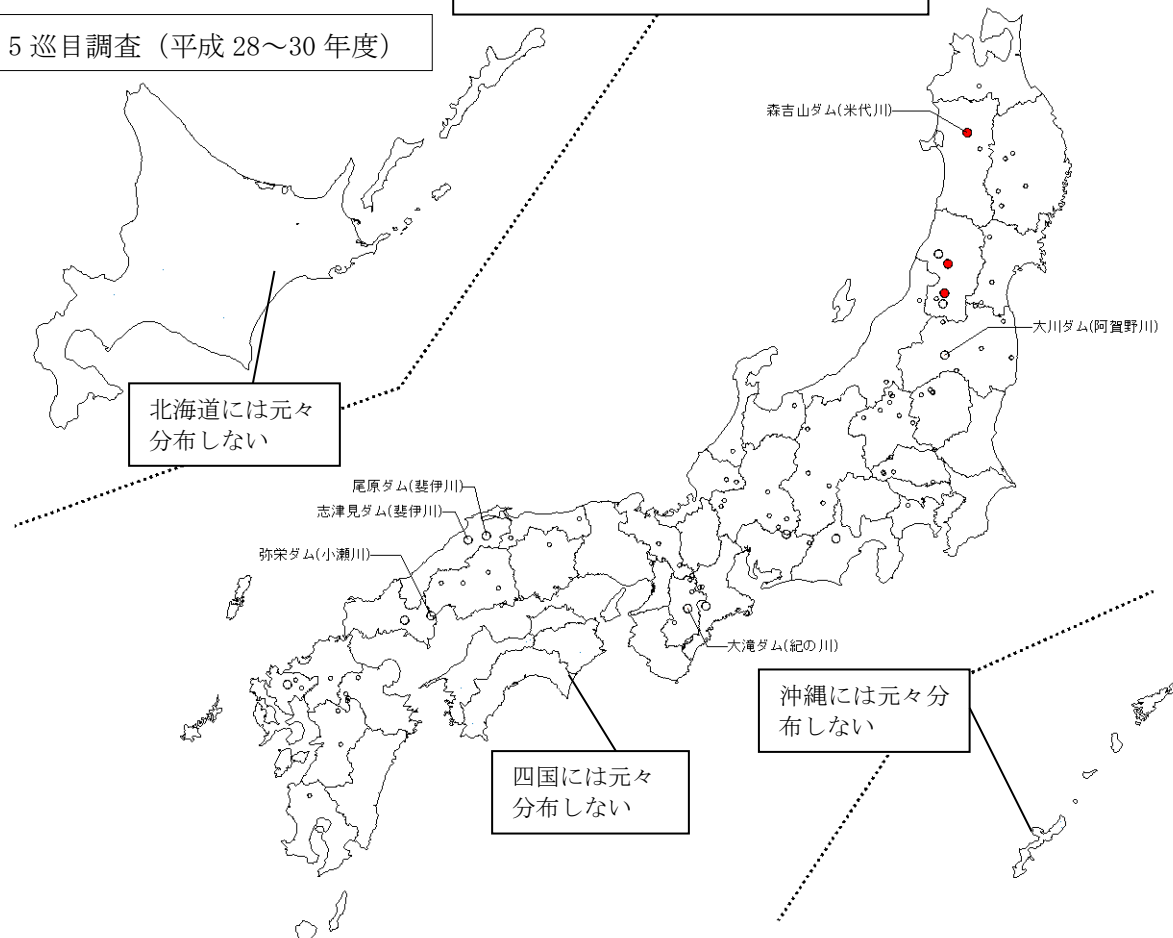
(ダム名は今年度とりまとめ対象ダムを示す)

カジカガエルの確認状況（5 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～27 年度）



5 巡目調査（平成 28～30 年度）



カワネズミの確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

(2) 新しい環境の生物相

ダムでは建設に伴い、地形の改変が行われます。また、ダム堤体や周辺道路等によって改変・消失した環境の代償として、生物の生息・生育環境の創出等も行っています。

4 巡目の調査からは、ダムによって作られた新しい環境である地形改変箇所（ダム建設に伴う一般的な地形改変箇所としては、貯水池、ダム堤体のほか、原石採取跡地、建設発生土受入地、大規模な掘削法面等があります）や、環境創出箇所（生物の生息・生育環境を創出する目的で整備されたビオトープ等）に調査地区を設定し、環境への影響、または効果を検証するため、生物の生育・生息状況を確認することとしています。ここでは、その調査結果を整理しました。

1) 地形改変箇所における確認状況

・地形改変箇所が両生類・爬虫類・哺乳類の生息場となっていることを確認

ダム建設に伴い改変された箇所における両生類、爬虫類、哺乳類の確認状況を整理しました。今回とりまとめを行った9ダムのうち、地形改変箇所の調査が行われたのは東北の森吉山ダム1地点、中国の志津見ダム1地点でした。なお、志津見ダムの1地点は環境創出箇所でもあります。

森吉山ダムでは、重要種を含む多様な両生類、哺乳類が確認されました。特に両生類はダム湖周辺と同程度の種数が確認されており、両生類が生息可能な環境が回復しつつあることが伺えます。

志津見ダムでは、1地点に地形改変箇所（高茎草地）と環境創出箇所（魚道、低水路等）が含まれます。多様な両生類、爬虫類、哺乳類が確認されており、生息環境が回復しつつあり両生類、爬虫類、哺乳類の生息場所として利用されていることが確認されました。

地形改変箇所とダム湖周辺の確認種数の比較

ダム名	地形改変箇所 内容	両生類		爬虫類		哺乳類	
		ダム湖周辺	地形改変	ダム湖周辺	地形改変	ダム湖周辺	地形改変
森吉山ダム	碎渚原石山跡	8種	6種	3種	0種	20種	9種
志津見ダム	建設発生土受入地	7種	6種	8種	4種	18種	7種

各ダムの地形改変箇所における生物の確認状況

ダム名	確認状況	
森吉山ダム (平成 24 年竣工)	【砕渕原石山跡】 森吉山ダムにおける主要な地形改変箇所であり、在来種による原石山緑化が行われ、そのモニタリング調査が行われていた。 両生類 6 種、哺乳類 9 種、合計 15 種が確認された。爬虫類は確認されなかった。地区内は一樣な環境が広がるが、平地と切土面の間に水路があり、トウホクサンショウオやヤマアカガエル等の両生類が確認された。	 写真出典：平成 30 年度森吉山ダム水辺現地調査（両生類・爬虫類・哺乳類）業務報告書 (平成 31 年 2 月)
志津見ダム (平成 23 年竣工)	【建設発生土受入地】 ダム事業に伴う建設発生土受入地点であり、大規模な地形改変箇所にあたる。地形改変にあたり、角井川についてオオサンショウオの生息に配慮した魚道整備が実施されている。地形改変箇所及び環境創出箇所である。 両生類 6 種、爬虫類 4 種、哺乳類 7 種、合計 17 種が確認された。地形改変箇所では、高茎草地においてカヤネズミが営巣し繁殖に利用されているほか、ノウサギの移動や採食に利用されている。	 写真出典：斐伊川外両生類・爬虫類・哺乳類調査業務報告書（Ⅱ．志津見ダム調査編） (平成 31 年 2 月)

2) 環境創出箇所における確認状況

・環境創出箇所が両生類、爬虫類及び哺乳類の生息場となっていることを確認

ダム建設に伴い整備された環境創出箇所（ビオトープ等）における両生類、爬虫類、哺乳類の確認状況を整理しました。今回とりまとめを行った9ダムのうち、環境創出箇所の調査が行われたのは東北の森吉山ダム4地点、北陸の大川ダム1地点、近畿の大滝ダム1地点、中国の志津見ダム1地点、尾原ダム1地点でした。なお、志津見ダムの1地点は地形改変箇所でもあります。

東北の森吉山ダム4地点は、コウモリ類の穂山トンネルとして整備されたトンネルです。全てのトンネルにおいて、春季、夏季、秋季、冬季の全てでコウモリ類が確認され、いずれのトンネルでもコウモリ類の冬眠期の利用が確認されました。

北陸の大川ダムでは、前回調査（平成22年度）と比較して、爬虫類の確認種数は減少したものの両生類、哺乳類の確認種数は増加していました。前回調査で確認された種も継続して確認されており、両生類、爬虫類、哺乳類の生息場として継続して利用されていることが確認されました。

近畿の大滝ダムでは、重要種を含む多様な両生類、爬虫類、哺乳類が確認されました。特に爬虫類、哺乳類はダム湖周辺の同程度の種数が確認されており、環境創出箇所が爬虫類、哺乳類の生息場として利用されていることが確認されました。

中国の志津見ダムでは、1地点に地形改変箇所（高茎草地）と環境創出箇所（魚道、低水路等）が含まれます。多様な両生類、爬虫類、哺乳類が確認されており、生息環境が回復しつつあり両生類、爬虫類、哺乳類の生息場所として利用されていることが確認されました。

中国の尾原ダムでは、重要種を含む多様な両生類、爬虫類、哺乳類が確認され、環境創出箇所が生息の場として利用されていることが確認されました。特に両生類はダム湖周辺と同程度の種数が確認されており、天然記念物であるオオサンショウウオの成体及び卵が確認されました。

環境創出箇所とダム湖周辺の確認種数の比較

ダム名	地形改変箇所 内容	両生類		爬虫類		哺乳類	
		ダム湖周辺	環境創出	ダム湖周辺	環境創出	ダム湖周辺	環境創出
森吉山ダム	根森田排水トンネル	8種	1種	3種	0種	20種	3種
	鷺ノ瀬旧軌道トンネル		1種		0種		5種
	鷺ノ瀬南方導水トンネル		4種		0種		10種
	碎渕橋下流右岸導水トンネル		0種		0種		5種
大川ダム	若郷湖東公園	13種	7種	6種	2種	20種	10種
大滝ダム	白屋	7種	3種	5種	4種	17種	17種
志津見ダム	建設発生土受入地	7種	6種	8種	4種	18種	7種
尾原ダム	阿井川ダム上流	7種	8種	10種	5種	18種	8種

各ダムの環境創出箇所における生物の確認状況 (1)

ダム名	確認状況	
森吉山ダム (平成 24 年竣工)	【根森田排水トンネル】 人工の排水用トンネルであり、コウモリ類の利用促進のため、とまり場や遮光幕などを設置している。延長 647m。 両生類 1 種、哺乳類 3 種、合計 4 種が確認された。爬虫類は確認されなかった。コウモリ類は 2 種が確認され、トンネル内の天井に設置されている休息施設をモモジロコウモリが利用している様子が確認された。	 写真出典:平成 30 年度森吉山ダム水辺現地調査(両生類・爬虫類・哺乳類)業務報告書 (平成 31 年 2 月)
	【鷺ノ瀬旧軌道トンネル】 コウモリ類の生息地となっている人工トンネルであり、保全措置として、抗口整備や遮光板の設置などが行われている。延長 52.5m。 両生類 1 種、哺乳類 5 種、合計 6 種が確認された。爬虫類は確認されなかった。コウモリ類は 4 種が確認された。両生類は、トンネル内にわずかに流れている水の中でトウホクサンショウウオが確認された。	 写真出典:平成 30 年度森吉山ダム水辺現地調査(両生類・爬虫類・哺乳類)業務報告書 (平成 31 年 2 月)
	【鷺ノ瀬南方導水トンネル】 コウモリ類の生息地となっている人工トンネルであり、保全措置としてトンネルの奥抗口や途中開放部の閉塞が行われている。延長 783m。 両生類 4 種、哺乳類 6 種、合計 10 種が確認された。爬虫類は確認されなかった。コウモリ類は 5 種が確認され、特にユビナガコウモリが冬眠場所として利用していた。両生類はトウホクサンショウウオやヤマアカガエル等が確認された。	 写真出典:平成 30 年度森吉山ダム水辺現地調査(両生類・爬虫類・哺乳類)業務報告書 (平成 31 年 2 月)
	【碎渕橋下流右岸導水トンネル】 コウモリ類の生息地となっている人工トンネルであり、保全措置として抗口整備が行われている。延長 373m。 哺乳類 5 種が確認された。両生類、爬虫類は確認されなかった。コウモリ類は 4 種が確認され、他のトンネルに比べてウサギコウモリが多く確認された。	 写真出典:平成 30 年度森吉山ダム水辺現地調査(両生類・爬虫類・哺乳類)業務報告書 (平成 31 年 2 月)

各ダムの環境創出箇所における生物の確認状況（2）

ダム名	確認状況
大川ダム (昭和 63 年竣工)	【若郷湖東公園】 ダム左岸に位置する公園に整備された水路で、かつては、ホテルの復元が行われた場所である。流水路周辺には湿性の植物が生える。両生類 7 種、爬虫類 2 種、哺乳類 10 種、合計 19 種が確認された。ニホンアマガエル、ツチガエル、ジムグリ等の 10 種が新たに確認され、アカハライモリ、モリアオガエル等が前回調査(平成 22)から継続して確認された。トウホクサンショウウオ、ニホンマムシ、ツキノワグマ等の 5 種は前回調査では確認されたが今回調査では確認されなかった。  写真出典:平成30年度阿賀川・大川ダム水辺現地調査(両生類・爬虫類・哺乳類)業務報告書 (平成 31 年 2 月)
大滝ダム (平成 25 年竣工)	【白屋】 旧白屋の集落跡地。現在は企業の森として植樹活動が行われている。このために、集落跡地周辺にシカの防護柵が設置されており、今後の生物相の変化が注目される。両生類 3 種、爬虫類 4 種、哺乳類 17 種、合計 24 種が確認された。重要種ではアカハライモリが確認され、外来種ではアライグマ、ハクビシンが確認された。  写真出典:紀の川ダム等管内河川水辺の国勢調査等業務報告書 両生類・爬虫類・哺乳類調査(大滝ダム) (平成 31 年 2 月)
志津見ダム (平成 23 年竣工)	【建設発生土受入地】 ダム事業に伴う建設発生土受入地点であり、大規模な地形改変箇所にあたる。地形改変にあたり、角井川についてオオサンショウウオの生息に配慮した魚道整備が実施されている。地形改変箇所及び環境創出箇所である。両生類 6 種、爬虫類 4 種、哺乳類 7 種、合計 17 種が確認された。重要種ではトノサマガエルやアカハライモリが確認され、外来種ではヌートリアの糞が多く確認された。  写真出典:斐伊川外両生類・爬虫類・哺乳類調査業務報告書(Ⅱ. 志津見ダム調査編) (平成 31 年 2 月)
尾原ダム (平成 24 年竣工)	【阿井川ダム上流】 オオサンショウウオの移植及びオオサンショウウオ道の設置が実施された箇所である。オオサンショウウオ道が設置された堰があり、水際植生が繁茂している。モニタリング調査では移植個体の継続的な生息が確認されている。両生類 8 種、爬虫類 5 種、哺乳類 8 種、合計 21 種が確認された。農業用水路内にてオオサンショウウオの成体 1 個体と卵が確認され、河川周辺ではトノサマガエル、アカハライモリ、アライグマ等が確認された。  写真出典:斐伊川外両生類・爬虫類・哺乳類調査業務報告書(Ⅲ. 尾原ダム調査編) (平成 31 年 2 月)

分析対象種の確認ダムの経年比較 (1)

地域	項目 種名・産目	ブナコガタチサンショウウオ					ヒダサンショウウオ					ハコネサンショウウオ属					オオサンショウウオ					ナガヒタキガエル					ナガレタゴガエル				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
北海道	岩見内ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	龍ノ子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	龍前ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×					
	大雪ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	忠別ダム	×	—	×	×	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—					
	金山ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	滝里ダム	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—					
	桂沢ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	造川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	豊平峡ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	豊平溪ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	安海利河ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	二風谷ダム	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—					
	十勝ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	礼内川ダム	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×					
東北	浅瀬石川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	四十四田ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	脚所ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	田瀬ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	湯田ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	胆沢ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	鳴子ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	鳴子川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	雄馬川ダム	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—					
	三巻ダム	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—					
	磨上川ダム	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	●	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	×	—					
	七ヶ宿ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	真野ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	木戸ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	森吉山ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×					
玉川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×						
白川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
長井ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	●	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	×					
郷内山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
関東	木沢ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	矢本ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	藤原ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	奈良保ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	相模ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	園座ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	品木ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	下久保ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	●	●					
	草木ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	●	●					
	渡良瀬遊水地	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	川俣ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	西沢ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	連西川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	五十里ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	二瀬ダム	×	×	×	×	—	●	●	●	—	—	×	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	●	●					
荒川調節池	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×						
滝沢ダム	—	—	×	—	—	—	—	●	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	×						
浦山ダム	—	—	×	×	—	—	—	●	—	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	●	●	—						
宮ヶ瀬ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	●	●	—						
北陸	横川ダム	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	●	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×					
	大石ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	大川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	日新ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	三國川ダム	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	●	—	—	×	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	宇奈月ダム	—	×	×	—	—	×	●	—	—	—	—	●	●	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×					
	手取川ダム	×	×	×	×	—	●	●	●	—	—	×	●	—	—	×	×	×	×	—	—	●	●	●	—	×					
	北島ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	●	×					
	美和ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	小浜ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	新豊根ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	●					
	矢野ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	小里川ダム	—	—	×	×	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×	×					
	味津川ダム	—	—	×	×	—	—	●	—	—	—	—	●	—	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	丸山ダム	×	×	×	×	—	●	●	—	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
阿木川ダム	×	×	×	×	—	●	●	—	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×						
岩里ダム	×	×	●	●	—	●	●	—	—	—	●	●	—	—	×	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×					
徳山ダム	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	×	—	—	×	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×						
横山ダム	×	●	●	—	—	×	×	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×					
蓮谷ダム	×	●	●	×	—	●	●	—	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	×					
近畿	川ヶ瀬ダム	×	×	×	×	—	●	●	—	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×					
	日吉ダム	—	×	×	—	—	×	×	—	—	—	—	×	×	—	—	×	●	—	—	—	×	×	×	×	×					
	比叡知ダム	—	×	×	—	—	×	×	—	—	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×					
	高山ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	青蓮寺ダム	×	●	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	聖堂ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	生野ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	一庫ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	大池ダム	—	—	—	●	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×					

注) 該当種がもともと生息しない地域は灰色の網掛けとし、調査ダム数として集計しない。

凡例) ●: 確認 ×: 未確認 —: 未調査 ※「巡目」については 1: 平成 2~7 年度、2: 平成 8~12 年度、3: 平成 13~17 年度、4: 平成 18~27 年度、5: 平成 28 年度~を指す。

分析対象種の確認ダムの経年比較 (2)

地盤	項目 ダム名/巡目	漂流性の指標となる水生類																				水辺環境の指標となる哺乳類									
		ハナサキガエル					ナミエガエル					オキナワシカワガエル					カジャガエル					カワネズミ									
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
北海道	岩内川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	龍ノ子ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	留萌川ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×					
	大雪ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	忠別ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×					
	金山ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	桂沢ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	漁川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	豊平峡ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	定山溪ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	美利河ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	二風谷ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×					
	十勝ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
	東北	札内川ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×				
		浅瀬川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	●				
四十四田ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
御所ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
田巻ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	●	●	●	●	—	×	×	×	×					
湯田ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
胆沢ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
鳴子ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
釜淵ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
堀川ダム		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
三巻ダム		—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×					
樽上川ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
七ヶ堰ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
真野ダム		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
大戸ダム		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
関東	森吉山ダム	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	●					
	玉川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	●	—					
	白川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	長井ダム	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●					
	寒河江ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	●	—					
	月山ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	●	●	●	—	—	×	×	●	×					
	矢木沢ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	●	●	×	×	×					
	藤原ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	奈良坂ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	相模ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	豊原ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	島本ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	下久保ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	●	●	×	×	×					
	葛本ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	渡良瀬遊水地	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×					
北陸	川俣ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	●	●	×	×	●					
	川治ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	●	●	×	×	●					
	通川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
	五十里ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	●	●	×	×	×					
	二瀬ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	荒川調節池	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×					
	滝沢ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●						
	浦山ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●						
	宮ヶ瀬ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●					
	中部	横川ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×				
		大石ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×				
		大川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×				
		日中ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
		大町ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×				
		三国川ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●				
宇奈月ダム		—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×					
手取川ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
中国		長島ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×				
		美和ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×				
		小浜ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×				
		新豊根ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×				
		矢作ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×				
		小里川ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×				
		味噌川ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×				
	丸山ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	●	●	×	×	×					
	阿木川ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	岩屋ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	徳山ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×					
	横山ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	通	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×					
	近畿	天ヶ瀬ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×				
		日吉ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×				
比叡ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—								

分析対象種の確認ダムの経年比較 (3)

道県	項目 種名	国外外来種																														
		ウナギエル					ヌーロア					アラグマ					シロアゴエル					マスカウト					ミンク					
道名・道内	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
北海道	岩尾内ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	鹿ノ子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	留萌ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	
	大雪ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	忠別ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	金山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	
	海星ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	
	桂沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	遠川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	豊平橋ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	定山溪ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×
	美利河ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	二風谷ダム	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	×	●	×	×	×
	十勝ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	札内川ダム	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	×	●	×	×	●
東北	浅瀬石川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	四十四田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	御所ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	田瀬ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	湯田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	柳子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	鳴子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	釜淵ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	堀川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	三春ダム	—	●	●	—	—	—	×	×	—	—	—	×	●	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	×	—	—	×	●	—	—
	棚上川ダム	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	七ヶ宿ダム	×	×	●	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	真野ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	木戸ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	森吉山ダム	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	
玉川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
白根ダム	×	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
長瀬川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
寒河江ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
月山ダム	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×		
関東	矢木沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	藤原ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	奈良俣ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	相模ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	園原ダム	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	品本ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	下久保ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	草本ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	長瀬瀬遊水地	●	●	●	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	川島池ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	遠西川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	五十里ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	二瀬ダム	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	荒川調節池	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	
	滝沢ダム	×	×	×	×	×	—	—	×	×	—	—	×	—	—	×	—	×	—	—	×	—	×	—	—	×	—	—	×	×	×	
浦山ダム	—	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
富ヶ瀬ダム	—	×	×	×	—	—	●	×	×	—	—	×	●	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
北陸	横川ダム	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	横石ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	大川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	大日ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	大野ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	三國川ダム	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	×	×		
	宇奈月ダム	—	×	×	—	—	×	×	—	—	—	—	×	×	—	—	×	×	—	—	×	×	—	—	×	—	—	×	×	×		
	手取川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	長島ダム	—	—	×	×	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	美和ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	小浜ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	新豊根ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	矢作ダム	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	小里川ダム	—	—	●	—	—	—	×	×	×	—	—	×	●	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	鳴川ダム	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
丸山ダム	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
阿木川ダム	×	×	×	×	×	×	●	×	×	—	—	×	×	●	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
岩屋ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
徳山ダム	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	—	—	×	×	×			
横山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
運	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×															

注) 該当種がもとと生息しない地域は灰色の網掛けとし、調査ダム数として集計しない。
凡例) ●: 確認 ×: 未確認 ー: 未調査 ※[巡目]については 1: 平成 2~7 年度、2: 平成 8~12 年度、3: 平成 13~17 年度、4: 平成 18~27 年度、5: 平成 28 年度~を指す。

分析対象種の確認ダムの経年比較 (4)

項目	種名	国外外来種															
		フイリマンダース					ミシシッピアカミミガメ					ハクビシン					
地域	ダム名/項目	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
北海道	岩尾川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	鹿ノ子川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	留萌ダム	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	
	大雪山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	忠別ダム	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	×	×	×	×	×	
	金山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	滝里ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	桂沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	漁川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	豊平峡ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	定山渓ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	美利河ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	二風谷ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×
	十勝ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
東北	札内川ダム	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×
	浅瀬石川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	四十四田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	柳所ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	田瀬ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	通田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	昭沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	鳴子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	金沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	堀川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	三倉ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	押上川ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	七ヶ宿ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	木戸ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	森吉山ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	玉川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	白川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	長井ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寒河江ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
月山ダム	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	
関東	矢本沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	浅瀬石川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	奥原保ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	相模保ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	鶴原保ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	品木ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	下久保ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	草木ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	奈良瀬遊水池	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	川俣ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	川治ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	湯西川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	五十里ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	二瀬ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	荒川調節池	—	×	×	×	×	—	●	●	●	—	×	—	—	—	—	—
	滝沢ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	浦山ダム	—	—	×	×	×	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	宮ヶ瀬ダム	—	—	×	×	×	—	—	●	●	—	—	—	—	—	—	—
	横川ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	北陸	大石ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
大川ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
日中ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
大野ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
三箇川ダム		—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
宇奈月ダム		—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
手取川ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
長島ダム		—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
美和ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
小浜ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
新豊根ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
矢作ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
小里川ダム		—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
味噌川ダム		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
丸山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
阿木川ダム	×	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	
岩屋ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
徳山ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
横山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
蓮々ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
近畿	天ヶ瀬ダム	×	×	×	×	×	—	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×
	日吉ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	比叡知ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	高山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	青蓮寺ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	聖生ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	市目ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	一瀬ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大滝ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	徳谷ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	九頭竜ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	真名川ダム	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	鮎々ダム	—	—	×	×	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	管沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
尾原ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
志津見ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
土師ダム	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×	×	
灰塚ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
石田ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
八田原ダム	—	—	×	×	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
追井ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
中国	弥栄ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×
	島地川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	早明浦ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	池田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	富郷ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	柳瀬ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	新宮ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	長安口ダム	—	—	×	×	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	—	—
	石手川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	鹿野川ダム	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	野村ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大蔵ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中筋川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	那馬溪ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下笠ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
九州	松原ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大山ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	寺内ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	巨勢川調整池	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	熊本ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	黒瀬川ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	竜門ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
	緑川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	徳田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	辺野喜ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	普久川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	安波ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	新川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	福地ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
大俣ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
羽後ダム	—	—	●	●	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	
津那ダム	—	—	●	●	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	—	—	
大井ダム	—	—	×	×	—	—											

注) 該種がもとともと生息しない地域は灰色の網掛けとし、調査ダム数として集計しない。
凡例) ●: 確認 ×: 未確認 -: 未調査 ※「巡目」については 1: 平成 2~7 年度、2: 平成 8~12 年度、3: 平成 13~17 年度、4: 平成 18~27 年度、5: 平成 28 年度~を指す。

分析対象種の確認ダムの経年比較 (5)

地域	項目 ダム名/道目	風林豪とかかわりが大きい哺乳類																				
		ニホンザル					エゾヒグマ・ツキノワグマ					ニホンジカ					イノシシ					
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
北海道	岩内ダム	×	×	×	×	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●	—	×	×	×	×	—	
	鹿ノ子ダム	×	×	×	×	×	●	●	×	—	●	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×	
	留萌ダム	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	
	大雪ダム	×	×	×	×	—	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	
	忠別ダム	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	
	金山ダム	×	×	×	×	—	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	
	桂沢ダム	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	
	桂沢ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	
	豊平峡ダム	×	×	×	×	—	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	
	定山溪ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	
	美利河ダム	×	×	×	×	—	●	●	●	—	—	×	●	●	—	—	×	×	×	×	—	
	二風谷ダム	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	
	十勝ダム	×	×	×	×	×	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	×	
	札内川ダム	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	
	東北	浅瀬石川ダム	×	×	×	×	—	●	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—
四十西田ダム		×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
御所ダム		×	×	●	×	—	×	●	●	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	
田代ダム		×	●	×	×	—	×	●	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	
湯田ダム		×	×	●	×	—	×	●	●	—	—	●	●	—	—	—	×	×	×	×	—	
田沢ダム		●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	×	×	×	—	
鳴子ダム		×	×	—	×	—	●	—	—	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
釜淵ダム		×	×	×	×	—	×	●	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
堀川ダム		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
三巻ダム		—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
森吉山ダム		—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	
玉川ダム		×	×	×	×	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
白川ダム		×	×	×	×	●	×	●	●	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	
長井ダム		—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	
寒河江ダム		×	×	×	×	×	●	●	●	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
関東	月山ダム	—	—	●	●	—	—	×	—	—	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	
	矢本沢ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	
	藤原ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	
	奈良保ダム	●	●	●	×	—	—	●	●	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	
	相模ダム	●	●	●	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	—	●	×	×	×	—	
	園原ダム	●	×	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	—	—	—	×	×	×	●	—	
	品水ダム	●	×	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	—	—	—	×	×	×	●	—	
	下久保ダム	●	●	×	×	—	—	●	×	—	—	×	×	●	—	—	×	×	●	●	—	
	草本ダム	●	●	●	—	—	×	×	×	—	—	×	×	●	—	—	×	×	×	●	—	
	渡良瀬遊水地	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
	川俣ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	—	—	—	×	×	×	—	—	
	川池ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	—	—	
	湯西川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	五十里ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	●	—	
	二瀬ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	●	×	×	×	—	
荒川調節池	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	—	×	×	×	×	—		
北陸	滝沢ダム	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	涌山ダム	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	宮ヶ瀬ダム	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	横川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—	
	大石ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
	大川ダム	×	×	×	×	×	●	×	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	●	
	日中ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	大町ダム	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
	三国川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	
	宇奈月ダム	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	
	手取川ダム	●	●	●	—	×	—	●	●	—	—	×	×	×	×	—	×	—	—	—	—	
	中部	長島ダム	—	—	●	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		美和ダム	●	×	●	—	×	●	●	—	—	—	●	●	—	—	—	●	●	—	—	—
		小湊ダム	●	●	●	—	—	×	×	●	—	—	×	×	—	—	—	●	●	—	—	—
		新島根ダム	●	●	●	—	—	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—	●	●	—	—	—
矢作ダム		●	●	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—	●	●	—	—	—	
小里川ダム		—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
味噌川ダム		—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
丸山ダム		●	●	●	—	×	×	×	×	—	—	●	×	●	×	—	×	●	●	—	—	
阿木川ダム		×	×	●	—	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	
岩屋ダム		●	●	●	—	×	●	×	×	—	—	●	●	●	—	—	●	●	—	—	—	
徳山ダム		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
横山ダム		●	●	●	—	—	×	●	—	—	—	●	×	●	—	—	●	●	—	—	—	
徳ダム		●	●	●	—	—	×	×	●	×	—	●	×	●	—	—	●	●	—	—	—	
近畿		天ヶ瀬ダム	●	×	●	—	—	×	×	×	×	—	—	●	●	—	—	●	●	—	—	—
		日吉ダム	—	—	×	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	比叡郷ダム	—	—	●	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高山ダム	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	●	●	×	—	—	×	—	—	—	—	
	青蓮寺ダム	●	●	●	—	—	×	×	●	×	—	●	●	—	—	—	●	●	—	—	—	
	室生ダム	×	●	×	×	—	×	×	×	×	—	●	●	—	—	—	●	●	—	—	—	
	布目ダム	×	×	●	—	—	×	×	×	×	—	×	×	×	—	—	×	—	—	—	—	
	一庫ダム	×	●	×	—	—	×	×	×	×	—	●	●	—	—	—	●	●	—	—	—	
	大滝ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	横谷ダム	●	●	●	—	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	
	九頭竜ダム	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	●	●	—	—	—	
	真名川ダム	●	●	●	—	—	×	×	●	—	—	×	—	—	—	—	●	●	—	—	—	
	能登ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	
	尾花沢ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	志津見ダム	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
中国	土師ダム	●	×	●	×	—	×	×	×	×	—	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	
	灰塚ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	吉田ダム	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	八田原ダム	—	—	×	×	—	—	—	×	×	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	
	塩井ダム	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	物産川ダム	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	—	
	徳島川ダム	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	—	—	
	池田ダム	●	●	●	—	—	×	×	×	×												

	種名	クサガメ					ニホンイシガメ					スッポン			
	ダム名／巡回	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	嵐山ダム	×	×	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	×	×

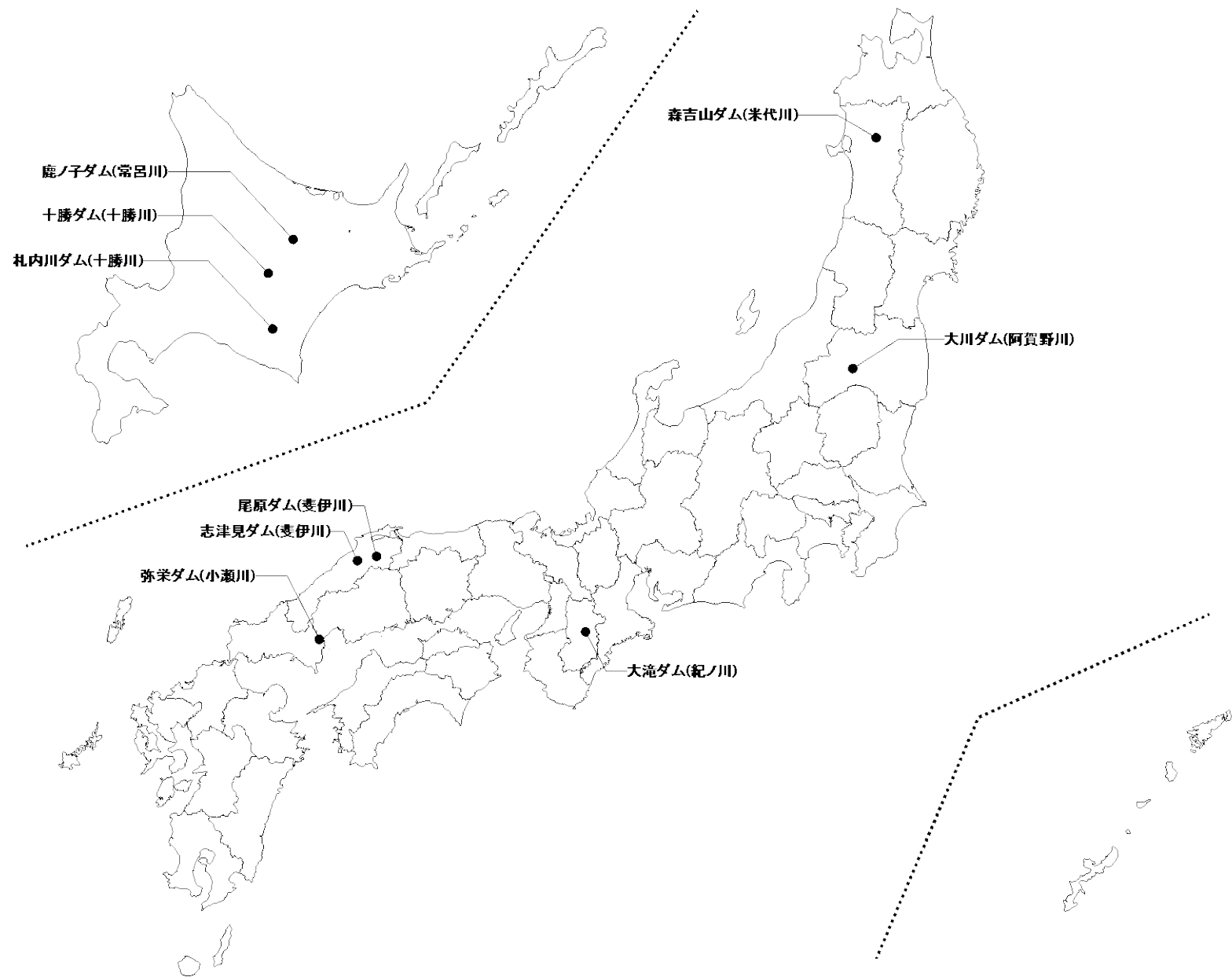
※「巡目」については 1:平成 2～7 年度、2:平成 8～12 年度、3:平成 13～17 年度、4:平成

6-65

平成 30 年度河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕とりまとめ対象ダム 現地調査実施状況（両生類・爬虫類・哺乳類）

地方	ダム名	現地調査実施日	両生類				爬虫類				哺乳類				調査地区数														
			調査時期				調査時期				調査時期				トラップ 地点数 ^注	餌	ダム湖			ダム湖周辺				流入 河川	下流 河川	その他 地形 改変 箇所	その他 環境 創出 箇所		
			春	夏	秋	冬	早春	春	夏	秋	冬	早春	春	夏			秋	冬	早春	流入 部	湖岸 部	水位変 動域	エコ トーン					樹林 内	湖岸道 路や沢 沿い
北海道	鹿ノ子ダム	平成30年5月22～24日、7月12～13日（両生類・爬虫類）7月9～13日・7月24～26日・8月27～28日（哺乳類）、10月3～5日、12月17～19日	○		○			○		○			○	○	○	○	28(シャーマン)、 28(墜落缶)	ヒマワリの種	1	－	1	－	1	1	－	1	1	－	－
	十勝ダム	平成30年5月21日～23日、7月2日～6日、8月21日～24日（哺乳類）、10月1日～5日、12月27日～28日	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	11(シャーマン)、 11(墜落缶)	生ビーナッツ	－	－	1	－	2	－	－	2	1	－	－
	札内川ダム	平成30年5月28～31日、6月25日～28日・7月3日～6日（哺乳類のみ）、8月16日～18日（哺乳類のみ）、9月18日～20日・9月25日～27日（哺乳類のみ）、12月25日～26日	○	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	12(シャーマン)、 12(墜落缶)	生ビーナッツ	－	1	－	－	－	－	2	3	－	－
東北	森吉山ダム	平成30年5月7日～11日、7月2日～7日、10月15日～19日、12月11日～14日	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	28(シャーマン)、 28(墜落缶)、 3(カメ)	ビーナッツ、サラミ、カルバス	2	1	1	1	3	－	－	3	2	1	4
北陸	大川ダム	5月23～25日・28～30日、7月9～11日、10月9～12日・18日	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	26(シャーマン)、 1(カメ)	ビーナッツ、オートミール、さなぎ粉、生魚(カメ)	－	3	－	2	4	1	－	2	1	－	1
近畿	大滝ダム	平成30年5月21日～25日、7月17日～20日、10月15日～19日、平成31年1月21日～24日	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	19(シャーマン)、 4(墜落缶)、14(カメ)	スルメ、ビーナツ、ビーナツクリーム、イワシ、アジ、魚肉ソーセージ、イカ	1	1	1	－	3	1	－	1	1	－	1
中国	尾原ダム	平成30年9月11～13日、18～20日、26～28日 10月24～26日、10月31日～11月2日		○	○				○	○				○	○		24(シャーマン)、 24(墜落缶)、18(カメ)	混合飼料	1	1	1	1	3	－	1	1	2	－	1
	志津見ダム	平成30年9月11日～13日、9月18日～20日、9月26日～28日 10月24日～26日、10月31日～11月2日		○	○				○	○				○	○		20(シャーマン)、 20(墜落かん)、 14(カメ)、14(モール)、 20(はこ畏)	混合飼料	1	－	1	3	－	1	1	2		1	
	弥栄ダム	平成30年5月28～31日、8月1～4日、10月2～5日、平成31年2月21～22日	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○		45(シャーマン)、 45(墜落かん)	肉質、植物質	－	－	－	－	1	－	2	2	－	－	－

注)トラップ地点数は全調査回の総合計



平成 30 年度 とりまとめ対象水系（ダム）位置図（両生類・爬虫類・哺乳類）
※ダム名（水系名）

